

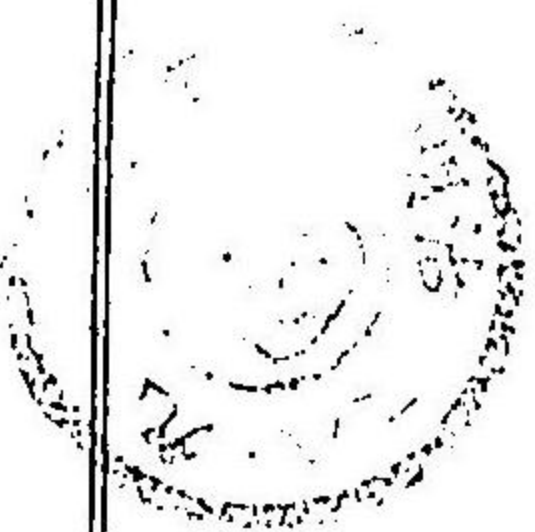
法律學士
佛國法律學士
宮城浩藏講述

刑法講義

第二册

版權
所有

特別認可
私立明治法律學校
講法會出版



刑法講義第二冊目次

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

七 二

第二章 國事ニ關スル罪

二四

第一節 内亂ニ關スル罪

二五

第二節 外患ニ關スル罪

六九

第三章 靜謐ヲ害スル罪

九七

第一節 兇徒聚衆ノ罪

九八

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

一一四

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

一五七

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪

一八三

第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所

目次

有スル罪	一九〇
第六節 往來通信ヲ妨害スル罪	二〇〇
第七節 人ノ住所ヲ侵スル罪	二一三
第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪	二二二
第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪	二二六
第四章 信用ヲ害スル罪	二三五
第一節 貨幣ヲ偽造スル罪	全
第二節 官印ヲ偽造スル罪	二九〇
第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪	三五一
第四節 私印私書ヲ偽造スル罪	三九二
第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪	四二七
第六節 偽證ノ罪	四三一

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪	四八九
第八節 身分ヲ詐稱スル罪	四九四
第九節 公撰ノ投票ヲ偽造スル罪	五〇二
第五章 健康ヲ害スル罪	五一一
第一節 阿片煙ニ關スル罪	五一二
第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪	五二〇
第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪	五二二
第四節 危害品及ヒ健康ヲ害スヘキ物品製造ノ規則ニ關スル罪	五二五
第五節 健康ヲ害スヘキ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪	五三〇
第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪	五三二

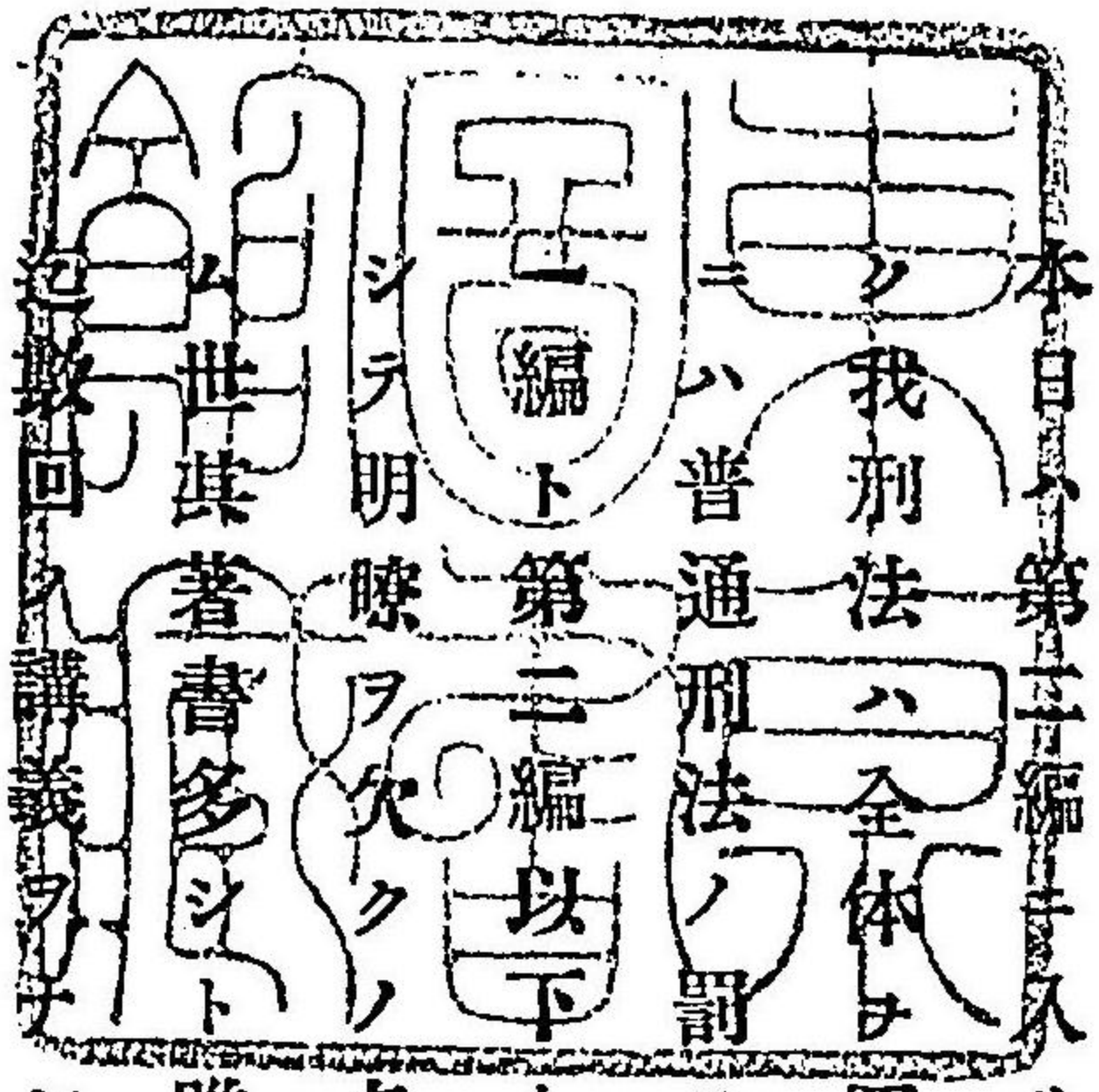
第六章	風俗ヲ害スル罪	四	五三八
第七章	死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪		五七五
第八章	商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪		五八三
第九章	官吏瀆職ノ罪		五九六
第一節	官吏公益ヲ害スル罪		全
第二節	官吏人民ニ對スル罪		五九八
第三節	官吏財産ニ對スル罪		六三六
第三編	身體財産ニ對スル重罪輕罪		六四五
第一章	身體ニ對スル罪		六四七
第一節	謀殺故殺ノ罪		全
第二節	毆打創傷ノ罪		六七五
第三節	殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪		七〇七

第四節	過失殺傷ノ罪		七三七
第五節	自殺ニ關スル罪		七三九
第六節	檀ニ人ヲ逮捕監禁スル罪		七四四
第七節	脅迫ノ罪		七四八
第八節	墮胎ノ罪		七五一
第九節	幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪		七五八
第十節	幼者ヲ畧取誘拐スル罪		七六三
第十一節	猥褻姦淫重婚ノ罪		七七四
第十二節	誣告及ヒ誹毀ノ罪		七九八
第十三節	祖父母父毎ニ對スル罪		八三〇
第二章	財産ニ對スル罪		八四五
第一節	竊盜ノ罪		全

第二節	強盜ノ罪	八八一
第三節	遺失物埋藏物ニ關スル罪	八八八
第四節	家資分散ニ關スル罪	九〇五
第五節	詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪	九〇九
第六節	贓物ニ關スル罪	九五七
第七節	放火失火ノ罪	九六二
第八節	洪水ノ罪	九八六
第九節	船舶ヲ覆没スル罪	九九一
第十節	家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪	九九九
第四編	違警罪	一〇一二

日本刑法講義第二冊

法律學士 宮城浩藏 講述
佛國法律學士



本目ハ第二編ニ入リテ講述セントス本講ノ初メニ於テ說述シタル如ク我刑法ハ全体ヲ四編ニ區別シ其第一編ニハ總則ヲ置キ第二編以下ハ普通刑法ノ罰スヘキ所爲ト之ニ該當スル刑トヲ掲ケタリ故ニ第二編以下ハ其主意異ナレリ且第二編以下ハ大ニ錯雜紛亂シテ明瞭ヲ欠クノ點少ナカラス之レカ解釋ニ當ルモノ實ニ困難ヲ極ム世其著書多シト雖モ未タ明瞭ノ解釋ヲ與ヘタル者ヲ見ス予モ亦是迄數回ノ講義ヲナシタリト雖モ尙ホ疑義ノ存スルヲ免カレス故ニ今回ヨリハ一層ノ注意ヲ加ヘ十分ナル研究ヲ以テ明瞭漏スナク一点ノ誤リナカラシメテ期ス可キナリ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

我刑法ハ第二編第三編ニ重罪輕罪ヲ規定シ第四編ニ違警罪ヲ規定シタリ斯ク重罪輕罪ハ之ヲ同一編ニ混同規定シ違警罪ハ別ニ之ヲ一編トナシタルハ違警罪ハ其性質特種ノモノニシテ充分之レカ區別ヲナシ得ルト雖モ重罪輕罪ニ至リテハ其性質同一ノモノナレハ之ヲ分離スルハ大ニ煩擾ヲ來スヲ以テ斯クハ同編ニ混同規定シタルナリ凡ソ罪ニハ公罪私罪ノ別アリ公罪トハ直接ニ社會ヲ害スル所ノモノニシテ内乱外患ニ關スル罪、兇徒聚集ノ罪、官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪ノ如キモノナリ是レ第二編ニ規定スル所ノモノナリ私罪トハ身体財産ニ對スル罪ニシテ社會ハ間接ニ害ヲ受クル所ノモノナリ即チ謀殺故殺竊盜罪ノ如キモノニシテ第三編ノ規定スル所ナリ罪ヲ別テ公罪私罪ノ二個トナスコトハ歐洲各國ノ刑法概テ同一轍ニ出

ツルカ如シ然レモ實際之レカ區別ヲナスハ甚タ困難ナリトス何トナレハ百般ノ諸罪ハ其區域劃然ト公罪私罪ノ二個ニ分カル、モノニアラサレハナリ故ニ之ヲ區別スルハ往々齟齬抵觸ヲ生シテ到底明了ナル區別ヲ得ルコト能ハス我刑法モ亦此譏ヲ免カレサルナリ内亂ニ關スル罪ノ如キ又ハ竊盜罪ノ如キハ一ハ公罪ニシテ一ハ私罪ナルコト固ヨリ明瞭ナリト雖モ或種類ニヨリテ大ニ不明ナルモノアリ彼貨幣僞造文書僞造ノ如キハ即チ是ナリトス貨幣ヲ僞造スル者ハ之ヲ使用シテ利ヲ得ントスルモノニシテ之レカ害ヲ受クル者ハ之ヲ受取リタル一私人ナリ文書僞造ノ如キモ詐欺取財ノ手段トナスモノニシテ其目的タル人ノ財物ヲ奪取スルニ在リ故ニ此等ノ罪ハ其直接ノ被害者ハ皆一私人ニシテ社會ハ間接ニ害ヲ受クルニ過キス此点ヨリ見ルハ全ク私罪ニ入ルヘキカ如クナレモ又他ノ一方ヨリ見ルハ此等ノ

罪ハ大ニ一般ノ信用ヲ害スル所ノモノナレハ公私混淆ノ犯罪ナリト
 言ハサルヘカラス我立法者ハ其一般ノ信用ヲ害スル点ニ重キヲ置キ
 テ斷然之ヲ公罪中ニ編入シタリ此他ニモ尙此ノ如キ所アリ故ニ公私
 罪ノ區別ハ素ト其性質上ヨリ出テタリト雖モ亦立法者ノ參酌ニ出テ
 タルモノト言ハサルヘカラス此ノ如ク其區域劃然タラスシテ公罪中
 ニモ私罪アリ私罪中ニモ公罪アリ諸君ハ字義ニ拘泥シテ其罪ノ性質
 ヲ誤ル勿レ

以上ノ如ク公罪私罪ノ別ヲ爲スコトハ甚々難クシテ且ツ公私混合ノモ
 ノアルニ拘ハラヌ我立法者ノ公罪私罪ノ區別ヲ爲シタルハ是レ偏ニ
 其分類ノ明了ナルヲ欲シテナリ或學者ハ公罪私罪外ニ中間ノ罪ヲ規
 定シテ罪ヲ別テ三個ト爲サントシタリ斯クノ如クスルハ總テノモ
 ノ皆中間ノ罪ニ入ルヘキノ結果ヲ生ス故ニ何レニシテモ一利一害ハ

到底免カルヘカラスシテ之レガ是非ヲ決スルハ容易ノ業ニアラサル
 ナリ

儲公罪私罪ノ別ヲ爲スヨリシテ如何ナル結果ノ生スルヤヲ見シニ此
 區別ハ甚々不都合ナル結果ヲ生ス蓋シ立法者ノ意想外ニ出ツルモノ
 ナラン即チ私罪ヲ犯スノ手段トシテ公罪タル貨幣偽造文書偽造罪ヲ
 犯スコトアリ私罪ハ或場合ニ在テハ罰セラレス此場合ニ之レカ手段タ
 ル公罪ヲ罰スルヤ否ヤ例ヘハ子タル者文書ヲ偽造シテ父ノ財産ヲ詐
 取シタルキノ如キ是ナリ此場合ニハ其目的タル詐欺取財ハ罰セラレ
 サルヲ以テ之レカ目的タル文書偽造罪モ亦其刑ヲ免カルヘキカ如シ
 ト雖モ然ルコトヲ得サルナリ何トナレハ詐欺取財ハ私罪ナルヲ以テ宥
 恕全免ヲ得ルモ文書偽造罪ハ公罪ニシテ社會一般ヲ害スル所ノモノ
 ナレハ全免スルコトヲ得サレハナリ

同シク父ヲ詐欺シタルノ所爲ニシテ一ハ全免ヲ得テ一ハ全免ヲ得ス
トハ豈奇怪ナラスヤ是レ公罪私罪ノ別ヲ爲シ而シテ文書偽造罪ヲ公
罪中ニ編入シタルヨリ生スル結果ナリトス然ラハ即チ私罪ノ手段ト
シテ公罪ヲ犯スルハ常ニ右ト同一ノ論決ヲ與フルヲ得ルヤ即チ公罪
ノ部分ハ常ニ之ヲ罰スルヲ得ルヤト曰フニ決シテ右ト同一ノ論決ヲ
與フル能ハサル場合アリ例ヘハ姦通ノ爲メ文書ヲ偽造シタリトセン
ニ此場合ニハ文書偽造罪ヲ論スルヲ得ス何トナレハ姦通罪ハ告訴
ヲ俟テ始メテ受理スル所ノモノナルニ若シ公罪即チ文書偽造ニ付キ
公訴ヲ起スヲ得ルモノトスルハ是ヨリシテ姦通罪ヲ明白ニスル
ニ至リテ姦通罪ハ親告ヲ俟ツモノトシテ被害者ノ名譽ヲ保護スル法
律ノ精神ハ遂ニ何レノ處ニカ消散スルニ至ル可ケレハナリ故ニ此場
合ニハ檢察官ハ起訴スルヲ得サルナリ是ヲ以テ私罪ノ手段タル公

罪ト雖モ亦其罪ノ種類ニヨリテハ之ヲ同一ニ論スルヲ得ス其詳細
ニ至リテハ各本條ニ入りテ之ヲ辯セン

第一章 皇室ニ對スル罪

皇室ニ對スル罪ヲ第一章ニ規定シタルモノハ是レ本罪ハ最モ社會ニ
大ナル關係ヲ有スル所ノモノナレハナリ其皇室ニ對スルト云フ表題
ハ其意義甚タ廣キニ失ス何トナレハ皇室ニ對スルト云フハ財產身
体共ニ包含スルカ如クナレモ本章規定スル所ハ天皇三后皇太子及ヒ
皇族ノ御身ニ對スル危害ノ罪ノミニシテ其財産ニ對スル罪ニ至リテ
ハ本章之ヲ規定セサレハナリ

儲本章ノ解釋ハ之ヲ明了ニスルハ余ノ屑シトセサル所ナリ何トナレ
ハ若シ之レカ解釋ヲ嚴密ニスルハ却テ不敬ヲ醸スノ恐レアルヲ以
テナリ故ニ余ハ本章ニ付テハ通常一般ノ釋解ヲ以テ簡單ニ通過セン

トス元來皇室ニ對スル罪ノ規定ハ各國立法者ノ共ニ苦ム所ナリト云フ何トナレハ若シ事緻密ニ涉レハ却テ不敬ノ恐レアリ且ツ臣子タル者嚴密ニ之ヲ規定スルハ其欲セサル所ナレハナリ

第一百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

佛國刑法及ヒ我刑法草案ハ本條ノ罪ヲ子孫其祖父母父母ニ對スル罪ト同一ニ規定シタリ然レモ此ノ如クナルキハ往々不都合ノ場合アルヲ以テ本刑法ハ茲ニ本章ノ刑ヲ規定シタルナリ而シテ其理由ノ如キハ余ハ敢テ之ヲ茲ニ辯明セス諸君宜ク之ヲ良心ニ問ハ、自カラ其理由ノ明白ナルヲ得ヘシ

天皇トハ今上皇帝ヨリ上リテ太上天皇ヲ稱シ奉リ三后トハ皇后皇太后太皇太后ヲ稱シ奉リ皇太子トハ立太子ノ式ヲ行ハセラレテ立タレ

タルモノナリ其天皇中ニ太上天皇ヲ包含セシメタルモノハ太上天皇ハ常ニ天皇ノ名ヲ有スルヲ以テナリ然ラサレハ皇太后ヲ擧ケテ太上天皇ヲ擧ケサルノ理ナキナリ皇太子中ニハ皇太孫ヲ包含スルヤ否ヤ曰ク包含セス法律上ニテハ皇太孫ナシ何トナレハ立太子ノ禮アリテ立太孫ノ禮ナケレハ也故ニ皇太子中ニハ皇太孫ヲ包含セス皇太子妃ハ如何本條之ヲ明記セサルヲ以テ第十八條ニ入ルヘシ

諸本條危害ヲ加ヘ云々トハ其意義漠然トシテ甚々明了ナラス其大体ヲ言フ片ハ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタルトハ第三編第一章ニ記載スル所ノ罪ヲ指スナリ然レモ第三編第一章ノ罪ハ悉ク之ヲ含蓄スルト云フニアラス過失殺傷ノ如キハ本條ニ之ヲ包含セサルナリ蓋シ過失ハ人類ニ免カルヘカラサル所ノモノニシテ若シ是レヲモ尙ホ本條ニ包含スルモノトナス片ハ我刑法ハ野蠻刑法ト云ハサルヘカラサル

ナリ又誹毀ノ罪ハ第一百七條ニ包有スル所ノモノナレハ本條ニハ之ヲ包含セス其他ハ如何是レ不明ノ点ナリ立法者ハ之レカ解釋ヲ裁判官及ヒ講法家ニ委シタリ蓋シ之ヲ綿密ニ規定スルヲ立法者ノ爲スヲ欲セサル所ナレハナリ今余モ亦一々之ヲ玆ニ辯明セス是亦余ノ大ニ爲スヲ屑シトセサル所ナレハナリ諸君乞フ之ヲ諒セヨ

危害ヲ加ヘントシタル者トハ如何是亦明瞭ナラス蓋シ危害ヲ加ヘトハ既遂犯ヲ言フモノナリ左レハ危害ヲ加ヘントシタルトハ未遂犯ヲ指スモノナルヲ明カナリ然ラハ則チ豫備ハ如何凡ソ犯罪ハ決心豫備、實行ノ三元素ヨリ成ルモノナリ而シテ法律ノ問フ所ノモノハ獨リ實行以上ニアリ本條加ヘントシタルトハ實行以上即チ未遂犯ヲ指シテ豫備決心ハ之ヲ問ハサルカ或論者ハ曰ク本條ノ加ヘントシタルノ語ハ第一百十三條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ云々トアルト其

文体ヲ同フスルヲ以テ未遂犯ヲ指シテ豫備決心ハ之ヲ包含セサルナリト是レ單ニ文字上ノ論議ニシテ固ヨリ取ルニ足ラサルナリ佛文案ニハ豫備ヲ罰スルヲ明記シタリ又國事ニ關スル罪ハ第二百二十五條ニ於テ其豫備陰謀ヲモ罰スルニ非スヤ又第二百二十三條ニハ政府ヲ變乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタルモノハ内乱ト同シク論スルヲ以テ其豫備陰謀モ罰セラル、ニアラスヤ内乱ヲ起スノ目的ヲ以テ當路ノ人ヲ謀殺スルノ豫備スラ尙之ヲ罰ス豈恐レ多クモ天皇三后皇太子ニ對シ奉リ危害ヲ加ヘントシタルノ豫備ヲ罰セスシテ可ナランヤ

決心ハ如何豫備己ニ之ヲ罰ス決心亦之ヲ罰セサルヘカラサルナリ佛文案案ニハ明カニ陰謀云々ト規定シタリ刑法ノ決心ヲ罰スルノ精神ヲ知ルヘキナリ内乱罪ニモ陰謀即チ決心ヲ罰ス但陰謀トハ二人以上協議スルノ意義ヲ有スレトモ本條ノ決心ハ一人ト雖モ尙ホ之ヲ罰ス

何トナレハ陰謀ノ文字ヲ用ヒスシテ加ヘントシタルトノ汎博ノ文字ヲ用ヒタレハナリ然レモ決心ハ素ト是レ人ノ思想上ノコトニシテ一ニ道德法ノ支配ニ任シテ法律ノ關涉スヘキモノニアラサルヲ以テ其決心ヲ罰スルニ付テハ自ラ制限ナキコト能ハス即チ未遂犯ノ章ニ於テ述ヘタル如ク決心ニシテ單ニ思想上ニ止マリ未タ無形的ノ區域ヲ脱セサルキハ是レ未タ社會ヲ害セサル所ノモノナレハ其事ノ大小輕重ヲ問ハス人類裁判權ノ關涉スヘキモノニ非サルヲ以テ之ヲ罰スルヲ得サルナリ然ラハ即チ決心ヲ罰スルハ如何ナル場合ナリヤ決心ノ結果無形的ノ區域ヲ離レテ有形的ノ範圍ニ移リタルノ時ナリトス此時ハ已ニ社會ヲ害シ得ルノ實ヲ具フルニヨリ已ニ法律ノ支配スヘキ範圍中ニ入ルナリ故ニ決心ヲ罰スルニハ必ス其結果外形ニ顯ハレ有形上ノ現象ヲ具ヘテ人類裁判權ノ社會ヲ害スルモノナリト認メ得ヘキモ

ノナラサルヘカラス單ニ思想無形ノ裡ニアル決心ハ之ヲ罰スル能ハサルナリ然ラハ則チ如何ナル場合ニ於テ決心ノ結果外形ニ顯ハレタリト云フコトヲ得ヘキカ曰ク他人ニ對シテ發議シタル時はナリ例ヘハ言語筆紙ヲ以テ已レノ意志ヲ他人ニ對シテ發表シタル時ノ如キナリ然レモ決心外形ニ發表スト雖モ己レ人ニ謀議シタルニアラスシテ單ニ偶然ニ其決心ノ發露シタルキノ如キハ未タ決心ノ外形上ニ發表シタルモノト云ヒ得サルヲ以テ之ヲ罰スルヲ得サルナリ之ヲ罰スルハ己レ人ニ心議セントシテ決心ヲ發表シタルキナリトス而シテ此ノ如キキハ其謀議ノ用ヒラルト否トヲ問ハス之ヲ罰スルナリ其詳細ハ己ニ未遂犯ノ章ニ於テ之ヲ述ヘタレハ茲ニ之ヲ省ク

以上論述セル如ク本條ノ罪ハ決心豫備皆之ヲ罰ス而シテ其刑ハ既遂未遂犯ト同ク皆ナ死刑ナリ是レ甚タ酷ニ過クルカ如シ然レモ我皇室

ハ萬國ニ徹シテ其比ヲ見サル所ニシテ毫末モ其尊嚴ヲ汚スヘカラス
我立法者ハ後世亂臣賊子ノ生センコトヲ恐レテ其罪根ヲ未然ニ絶タン
ト欲シテ斯クハ規定シタルナリ

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ三月
以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

本條ノ不敬ノ所爲トハ甚々明了ナラサルモノニシテ其區域判然セス
然レモ第百四十一條(官吏侮辱)第二百六十三條(神祠佛堂等ニ對スル不
敬罪)第三百五十八條第三百五十九條(誹毀罪)第四百二十六條第十一項
(神祠佛堂等ノ汚損)第十二項(罵詈訕笑)ノ諸罪ト同一ノ性質ヲ有スル罪
ニシテ其範圍此レヨリ廣シ且ツ誹毀侮辱罵詈ノ罪ノ如キハ或ハ公然

ト云ヒテ其犯罪ノ場所ニ第三者アルヲ要シ第三者アラサルハ罪ト
ナラスト云フカ如キ或ハ面前或ハ刊行ノ文書圖書ヲ以テナスヲ要ス
ト云フカ如キ種々ノ條件即チ犯罪構成ノ原素一定セリト隨モ本條ノ
不敬罪ハ何等ノ條件ヲモ要スルコトナクシテ其場合ヲ限ラサルナリ故
ニ右諸條ニ掲クル所ノ所爲アルニ於テハ固ヨリ本條ノ不敬罪タルノ
ミナラス其他凡テ皇室ノ尊嚴ヲ汚スニ足ル所ノ所爲ハ皆不敬罪タル
ヘシ而シテ其果シテ不敬罪ヲ構成スルヤ否ヤヲ定ムルハ一ニ裁判官
ノ判定ニ任スルモノトス
以上ノ如ク本條不敬ノ所爲トハ其區域甚々廣大ナリト雖モ然レモ其
範圍無限ニ涉リテ苟モ皇室ニ對シ敬禮ヲ失スル者ハ皆此罪ヲ成スト
云フニアラスシテ自カラ其間ニ制限ナキコト能ハス即チ其有意ニ出ツ
ル者ト無意ニ出ツル者ト行犯ニ係ル者ト不行犯ニ係ル者トヲ區別セ

サルヘカラス其無意ニ出ツル者ト不行犯ニ係ル者トハ本條ノ問フ所ニアラス若シ此等ノ者モ尙ホ之ヲ問フコトヲ得ルトセハ我刑法ハ實ニ古今末曾有ノ野蠻刑法タラサルヲ得サルナリ蓋シ其無意ニ出ツルモノハ過失即チ意志ナクシテ偶然不敬ノ結果ヲ生シタルモノニシテ其所爲ニ付テハ責任アラス己ニ責任アラストセハ何人ニ對シテモ其責ニ任セサルハ動カスヘカラサルノ大原則ナリトス不行犯ニ係ルトハ當サニ行フヘクシテ行ハサルカ爲メニ不敬トナルモノニシテ皇室ニ對シ應サニ爲スヘキノ敬禮ヲ爲サス即チ車駕通御ノ際敬禮ヲ行ハサルカ如キ場合はナリ我邦ノ臣民トシテ皇室ニ對シ奉リ敬禮ヲ盡サルカ始キハ其情最モ惡ムヘシト雖モ此ノ如キ瑣末ノ事ヲ罰スルハ却テ皇室ノ尊嚴ヲ傷フルモノニシテ我立法者ノ認ムル所ニアラサルナリ

皇陵ニ對シ不敬ノ所爲云々皇陵トハ山陵ニシテ天皇三后皇太子ノ御墳墓ヲ謂フ不敬ノ所爲トハ前ニ掲ケタル諸條中第二百六十三條及ヒ第四百二十六條第十一項ノ罪ト同一ノ性質ヲ有スルモノヲ謂フ茲ニ最モ議論ノ生スヘキ点ハ歷代ノ天皇ニ對シ奉リ不敬ノ所爲アル場合ハ本條ノ包含スル所ナルヤ否ヤノ問題はナリ

此問題ヲ決スルニハ刑法第三百五十九條(誹毀罪)ニ就テ之ヲ論スルヲ便トス刑法第三百五十九條ニ曰ク死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得スト故ニ通常ノ場合ニ於テ死者ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス之ヲ罰スルニ非スシテ唯誣罔ニ出テタル片之ヲ罰スルナリ但シ之ヲ罰スルハ死者ノ子孫ノ告訴ヲ俟ツ(第三百六十一條)夫レ我刑法ハ死者ニ對スルノ誹毀モ之ヲ罰スト雖モ是レ死者ヲ被害者ナリト見做シタルニアラス死者ハ

素ト被害者タルヲ得ス何トナレハ吾人カ犯罪ノ被害者トナルハ吾人
 カ有スル所ノ權利ニ妨害ヲ受クレハナリ權利ナキハ妨害ナシ而シ
 テ權利ハ生命ト共ニ生シ又死ト共ニ消滅スル者ナリ故ニ已ニ死スル
 ノ人ハ如何ナル權利ヲモ有スルコトナク從ヒテ害ヲ受クルコトナシ其被
 害者トナリ得サルコトハ爭フヘカラサルノ道理ナリ故ニ我刑法ハ死者
 ヲ誹毀シタル者ヲ罰スト雖モ死者ヲ被害者ナリトシテ之ヲ保護セン
 カ爲メニ然ルニ非ス第三百五十九條ノ死者ヲ誹毀シタルトノ文字ハ
 不穩當ト謂ハサルヘカラス然ラハ則チ之レカ被害者タル者ハ何人ヲ
 死者ノ子孫若クハ親屬ノ現ニ生存スル者はナリ即チ死者ヲ誹毀スル
 片ハ其子孫若クハ親屬ノ名譽ヲ毀損スヘキ者ナレハ法律ハ此等ノ人
 ノ權利ヲ保護セントシテ誹毀者ヲ罰スルナリ既ニ死者ヲ誹毀スル者
 ハ其生者タル子孫若クハ親屬ノ權利ヲ害スルモノナルコトヲ知り得タ

リ之ヲ推セハ即チ別ニ本條ニ明文ナシト雖モ歷代ノ天皇ニ對シ奉ル
 不敬ノ所爲ハ即チ御在世ノ天皇ニ對シ奉ル者ニシテ本條ヲ以テ之ヲ
 罰ス可キモノナルコト勿論ナリ或ハ曰ク若シ歷代天皇ニ對シ奉ル不敬
 ノ所爲モ尙ホ事實ノ有無ヲ問ハス本條ヲ以テ之ヲ罰スル片ハ彼歴史
 編纂ニ貴重ナル直筆ハ遂ニ世ニ其跡ヲ絶チテ真正ナル歴史ヲ得ルコ
 能ハサルヘシト是レ蓋シ至重ノ問題ナリ然レモ之ヲ茲ニ辯明スルハ
 恐多キコトナルヲ以テ今復タ誹毀罪ニ就テ其大略ヲ左ニ講述セン
 通常ノ誹毀罪ニ於テハ生者ニ對スル誹毀ハ其事實ノ有無ヲ問ハス之
 ヲ罰ス若シ死者ヲ誹毀シタル者ニモ尙ホ之ヲ適用スル片ハ歴史ノ眞
 正ヲ保存スルコト能ハサルヲ以テ茲ニ一ノ便宜法ヲ設ケ死者ニ對スル
 誹毀ハ誣罔ニ出タル片ニアラサレハ之ヲ罰セストナシ以テ死者ノ子
 孫ノ名譽ヲ保護スルト同時ニ歴史家ノ直筆ヲ保護シタルモノナリ然

レ是レ一ノ姑息法タルヲ免カレス蓋シ其誣罔ナルヤ否ヤヲ判定スル者ハ裁判官ナリ裁判官何人ノ法律ノ思想ハ精密ナルモ法律ノ學問ハ該博ナルモ未タ以テ悉ク他技ニ涉ルモノト謂フヘカラス然ラハ則チ何ニ由リテ歴史家ノ種々ナル材料ヲ以テ種々ナル參考ヲ積テ歴史専門ノ智識腦髓ヲ以テ作製シタル所ノ歴史ヲ看破シテ具サニ其誣罔ナルヤ否ヤヲ判斷スルヲ得ルヤ裁判官ノ判定コソ却テ誣罔ナルノ結果ヲ生スルニ至ルヘシ例ヘハ山陽ノ編ム所ノ外史ハ誣罔ナリトノ爭起リタリトセン歟裁判官ノ判定果シテ事實ノ真正ヲ得ルヤ將タ山陽ノ編ム所真正ナルヤ吾人ハ寧ロ山陽ノ筆ニ信ヲ置クナルヘシ是ニ由テ之ヲ觀レハ此法ハ己ムヲ得サルニ出テタルモノトハ云ヒナカラ其實用ナキモノナリ左レハ近時佛國ニテハ其誣罔ニ出ツルト否トヲ以テ罪ヲ判定スルノ主義ヲ改正シテ編者ノ意誹毀ニアリタルヤ否ヤ

ニ付キ其罪ヲ判定シ若シ惡意ヲ以テナシタルハ誹毀罪トナシ然ラサルハ之ヲ罰セストナシ以テ裁判官ノ判定スルヲ得ヘキ區域ニ付キ之ヲ規定シタリ至當ノ規定ト謂フヘシ以上論スル如ク誣罔ニ出タルト否トヲ以テ誹毀罪トナルヤ否ヤヲ決スルハ甚タ不都合ナリト雖モ然レモ我刑法ノ嚴格ナル之ヲ如何トモスルヲ能ハス乃チ裁判官ノ認メテ誣罔ニ出テタリトスルハ誹毀罪トナリ若シ誣罔ナラサルハ惡意ニ出テタリト雖モ之ヲ罰スルヲ得サルナリ此誹毀罪ノ規定ハ本條ノ歷代ノ天皇ニ對シ奉ル不敬ノ所爲ニ適用スルヲ得ルヤ曰ク適用スルヲ得ス何トナレハ誹毀罪ニ於テハ前段論スル如ク若シ誣罔ナラサルハ假令惡意ニ出ツルモ之ヲ罰スルヲ得ス之ニ反シテ歷代ノ天皇ニ對シ奉ルハ不敬ノ所爲トシテ本條ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラス其宜ク忌ムヘキモノハ之ヲ

忌ミ宜ク憚ルヘキモノハ之ヲ憚リ強テ先王ノ德ヲ傷クルノ所業ヲ爲スヘカラサルハ臣子ノ分トシテ當サニ然ルヘキ所ナレハナリ然レモ之ヲ以テ史家歴史編纂ノ直筆ヲ妨害スルモノト云フヘカラス其不敬ノ所爲ト稱スルハ惡意ヲ以テ故サラニ言ヲ設ケ忌ムヘキノ事ヲ記スルニ當リ故サラニ穩當ナラサル言語ヲ用非ルカ如キノ謂ニシテ此等ハ臣子ノ分トシテ忌ムヘク慎ムヘキモノナリト雖モ若シ之ヲ舉ケサルルキハ其眞ヲ傳フルニ由ナキキハ損益變更スル所ナク直筆以テ事實ヲ序述スルハ史家固有ノ本分ニシテ之ヲ不敬ノ所爲ト日ヲ同フシテ語ル可カラス法律ハ之ヲモ尙ホ罰セント言フニ非サルナリ故ニ歷代ノ天皇ニ對シ奉ル不敬ノ所爲ヲ以テ本條ハ之ヲ罰スト雖モ決シテ史家直筆ノ良德ヲ妨クルモノト言フヘカラサルナリ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危

害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

本條ハ皇子皇孫其他ノ皇族ニ對シ奉ル罪ヲ規定シタルモノニシテ其第百十六條ニ異ナル所ハ其刑ノ稍々輕キト既遂ト未遂トニ因テ其刑ヲ異ニシタルノ点ナリトス其他ハ第百十六條ニ於テ解説シタル所ト異ナルヲナシ

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條モ亦第百十七條ニ於テ解説シタル所ト同一ノ意ナルヲ以テ別ニ講說スルノ必要ナシ

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

本條ハ總則ニ於テ重罪ニ處セラレ、者ハ法律上當然ノ結果トシテ監

視ニ付セラレ輕罪ノ監視ニ至リテハ之ヲ科スルモノト科セサルモノトアリテ第三十八條ニ輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ストアルニ基キ始メテ之レカ適用ヲナシタルモノナリ輕罪ニ監視ヲ附スルト否トハ其罪ノ性質ニ因ルモノナルヲハ已ニ述ヘタル所ニシテ本章皇室ニ對スル罪ノ如キハ危險ノ最モ大ナルモノニシテ最モ監視ニ付スルノ必要アルモノナリトス以下各章中同一ノ條アルハ皆此理由ニ因ル

第一章 國事ニ關スル罪

本章ノ罪ヲ分テ二節トナシ第一節ハ内亂ニ關スル罪ニシテ第二節ハ外患ニ關スル罪ナリトス此諸罪ハ皆直接ニ社會ノ組織ニ害ヲ及ホスモノニシテ此講義ノ初メニ於テ述ヘタル所ノ國事犯ナリ然レモ本章表題ハ甚タ廣キニ過ク何トナレハ單ニ本章ニ規定シタル者ノミハ國

事犯ニシテ他ニ國事犯ナシト云フヘカラサレハナリ夫レ第二百三十三條以下公選ノ投票ヲ偽造スル罪モ亦國事犯ニシテ特別法ナル新聞條例、集會條例、出版條例中ニモ亦國事犯アリ例ヘハ演說文書等ヲ以テ人心ヲ激動セシメ政府ヲ顛覆セントスル如キ者はナリ且ツ本章中ニアル者ハ悉ク國事犯ナリト云フヘカラス第一節内亂ニ關スル罪ハ國事犯ニ相違ナシト雖モ第二節外患ニ關スル罪ハ純粹ノ理論ヨリ之ヲ觀ルキハ國事犯ニ非サルナリ故ニ表題ニ國事ニ關スル罪トアレモ之ヲ以テ國事ヲ此ニ限リタルニ非ス佛文草按ハ第二章ニ國ノ内部ノ安寧ニ對スル罪ヲ掲ケ第三章ニハ國ノ外部ノ安寧ニ對スル罪ヲ掲ケタリ諸君文字ニ拘泥シテ本章ノ罪ハ純粹ノ國事犯ナリト誤解スヘカラ

第一節 内亂ニ關スル罪

本節ノ罪ハ純粹ノ國事犯ナリ内乱トハ如何我刑法之レカ定解ヲ與ヘサレモ内乱トハ内國乱ル、ノ義ニシテ即チ内國動乱ノ有様ヲ指スモノナリ然レモ此定義ニ依ルモハ第二百一十一條以下ニ至リテ忽チ不都合ヲ感スヘシ何トナレハ此定義ニ依ルモハ兇漢相集テ暴舉暴動ヲナシ人家ヲ燒毀シ財産ヲ劫掠シ以テ人民ノ安寧ヲ妨害シ國家ヲ騷擾シタルモハ内乱ヲ起シタリト言ヒ得ルカ如ク又暴舉暴動ヲ爲サ、ルモ妄語謬說ヲ流布シテ以テ人心ヲ惑乱シ國家ヲ紛擾スルニ至リタルモ亦内乱ヲ起シタリト言ヒ得ルカ如ク而シテ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルノ目的ヲ以テ兵ヲ舉クルモ尙國家ヲ騷擾スルニ至ラサルモハ内乱ヲ起シタリト言ヒ得サルカ如クナレトモ第二百一十一條已下規定スル處ハ全ク之ニ反スレハナリ故ニ内乱トハ内國戰爭ト云フヲ以テ通解ナリトス即チ兵ヲ舉ケテ政府ニ抗敵スル

ノ義ナリ故ニ兇漢ノ相集テ暴舉暴動ヲナスカ如キ又ハ妄語謬說ヲ流布シテ人心ヲ惑乱スルカ如キハ其實國家ヲ騷擾スルノ結果ヲ生スルモ決シテ内乱ヲ起シタリト云フヲ得サルナリ内乱罪ヲ構成スルニハ必ス政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルノ目的ヲ以テ兵ヲ舉ケ若クハ兵ヲ舉ケントシタル者ナルヲ要スルナリ其詳細ハ正條ニ入リテ之ヲ辯明セン

第二百一十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルヲ目的ト爲シ内乱ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス
- 二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタルハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ二原素ヲ要ス

第一 内乱ヲ起シタル所爲アルコト

第二 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルノ目的ヲ有スルコト

第一、内乱ヲ起ストハ如何ナルコトナルヤ内乱ノ文字甚タ不穩當ナリトス蓋シ假令兵器ヲ執リ武力ヲ以テ政府ニ抗抵スルモ未タ以テ政憲ヲ乱サ、ルコトアリ之ニ反シテ兵器武力ニ依ラサルモ尙ホ政憲ヲ乱スコトアリ元來内乱トハ事ノ結果ニ就テ之ヲ言ヒタルモノニシテ即チ國家

擾亂ノ事實アリテ始メテ内亂アリト言ヒ得ルナリ然ルニ本條ノ所謂内亂ハ國家擾亂ノ事實アルト否トヲ問ハス唯其擾亂スヘキ所爲即チ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スヘキノ所爲アルトキハ直ニ本條ヲ以テ罰セラレ其他ノ目的方法ヲ以テナシタル所爲ハ假令内國ヲ騷擾スルモ本條ヲ以テ罰セラレサレハナリ佛文章按ニハ内國戰爭、暴舉、暴動ノ文字ヲ使用シタリ其後司法省ニテ成リタル草按及ヒ本刑法ニ於テハ以上ノ三語ハ削除セラレテ内亂ノ文字トナリタレモ是レ唯以上ノ三語ヲ内亂ノ文字ニ換ヘタル迄ノモノナレハ本條内亂トハ以上ノ三語ヲ包含スルモノナルコト知ルヘシ故ニ右三所爲ニシテ若シ第二條件ヲ具備スルハ本條ヲ以テ之ヲ罰スヘシ以上論スル如ク本條ノ罪ハ其所爲アルヤ直ニ之ヲ罰スルヲ以テ其既遂罪ト認ムルノ点他ノ罪ニ異ナル所アリ他ノ罪例ヘハ謀殺故殺ノ如

キハ犯人其目的ヲ達シタルハ即チ被害者ノ生命ヲ絶チテ復タ生カスヘカラサルニ至テ初メテ既遂罪トナルモノナリ今此例ヲ推スルハ本條ノ罪モ亦犯人其目的ヲ達シタルハ即チ内國戰爭ノ手段ニ依リ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シタルノ事實現出シタル時ニ非ラサレハ既遂罪ト云フヘカラサルカ如シ然レモ法律ハ内乱ノ罪ニ限り其目的ヲ達シタル時ヲ待テ既遂罪トセスシテ其目的ヲ達スルノ手段タル内乱ヲ起シタル時ヲ以テ既遂罪トセリ是レ其故何ソヤ凡ソ内乱ノ罪ハ其目的ヲ達スルノ想像スヘカラサルモノナリ何トナレハ犯人若シ内國戰爭ニ勝利ヲ得テ其目的ヲ達スルハ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊スルヲ以テ政府ハ己レノ手ニ歸シ官吏ハ己レノ隸屬トナリ此刑法ヲ以テ罰スヘカラサルニ至レハナリ故ニ内乱ノ罪ハ其目的ヲ達シ得ヘカラサルモノニシテ内乱ノ所爲アリタルハ己ニ此罪ノ極度ニ達

シ既遂タルヘキモノナリ是レ内乱罪ニ付テハ法律ニ於テ其既遂ト認ムル点ノ他ノ罪ト異ナル所以ナリ去レハ第二百二十四條ニ前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ本刑ヲ科ストアルハ内乱ノ罪ハ未タ其目的ヲ遂ケサル時ニ於テ尙ホ本刑ヲ科スト云フニ過キサルナリ

第二、本條ノ罪ヲ構成スルニハ政府ヲ顛覆シ云々ノ目的ナカルヘカラス此目的ハ實ニ緊要ノモノニシテ此目的コソ暴舉暴動又ハ内國戰爭ヲシテ内乱ノ罪タラシムル所以即チ國事ニ關スル罪タラシムル所以ナリトス何トナレハ此目的アリテ始メテ社會ニ直接ノ害ヲ與フルモノニシテ若シ此目的ナキ時ハ暴舉暴動ノ目的ハ政府若クハ人民ノ財產ヲ強奪スルニ在リト雖モ官命ヲ拒ミ法律ヲ遵守セサルニアリト雖モ又其暴舉暴動ノ結果如何ニ大ナリト雖モ又實ニ内國ヲ擾乱シタリト雖モ未タ以テ本條ノ罪トナスニ足ラス是等ハ或ハ兇徒聚衆ノ罪ト

ナリ又ハ他ノ罪トナルヘキナリ故ニ此政府ヲ顛覆シ云々ノ目的ハ本條ノ罪ヲ構成スルニ於テ己ムヘカラサルノ一原素ニシテ其有無ハ本條ノ罪ノ有無ヲナスモノトス

政府ヲ顛覆シ云々政府ヲ顛覆スルトハ兵力ニ依リテ現政府ヲ覆シ更ニ新政府ヲ立テ或ハ新政体ヲ施ス等ノ一ヲ謂フ邦土ヲ僭竊スルトハ日本國又ハ其屬國ノ一部分ヲ天皇ノ管轄ヨリ押領シテ我國ノ制度ヲ遵奉セス自ラ制度ヲ立ツル如キヲ謂フ其他朝憲ヲ紊乱スルトハ其意甚タ廣クシテ皇嗣ノ順位ヲ變換セントシ若クハ皇室ノ權利ヲ滅殺セントスルカ如キ苟モ我國ノ憲法制度ヲ變セントスルモノヲ謂フ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊スルトハ朝憲ヲ紊乱スルモノ、重ナル者ヲ例示シタルノミ租税ノ減額ヲ目的トシテ政府ニ抗敵シタル者ハ如何是等ハ國事犯ニアラスシテ單ニ暴動ノ罪トナルモノナリ其理由ノ如キ

ハ他日講述スルコトアルヘシ

以上論スル如ク其目的ト所爲トアルハ純粹ノ國事犯ニシテ本條ヲ以テ罰セラル此目的ヲ有スルハ國事犯ニシテ此目的ヲ有セサルハ國事犯トナラスト區別シタルハ何故ナルヤト云フノ点ハ既ニ本講義ノ初メニ於テ詳述シタル所ナレハ今茲ニ贅セス又國事犯罪ハ他ノ罪ニ比シテ其刑重キハ何故ナルヤト云フノ点モ亦本講義ノ初メニ於テ述ヘタル所ナリ然レモ今茲ニ一言スヘキモノハ國事犯ハ豫備陰謀モ尙之ヲ罰シテ其罪重シ是レ其重クスヘキノ理由アリテ之ヲ重クシタリ已ニ立法者ハ國事犯罪ハ他ノ罪ヨリモ重キモノト認メタルニ拘ハラズ國事犯罪ニハ服役ナキノ刑ヲ科シ他ノ普通ノ罪ニハ却テ服役アル刑ヲ科シタルハ是レ其理由貫徹セサルニ非スヤトノ点是ナリ一見スルハ其理由貫徹セサルカ如ク甚タ不都合ナリト雖モ然レモ凡

ソ刑ハ服役ノ有無ニ由テ其輕重ヲ區別スル者ニ非ス服役アル刑ヲ科スルト服役ナキ刑ヲ科スルトハ是レ一ニ其罪ノ性質ニ因ルモノナリ故ニ國事犯罪ニ服役ナキ刑ヲ科スルハ國事犯罪ヲ他ノ罪ヨリ重キモノト認メタル理由ト矛盾スルモノトハ云フヘカラサルナリ

第二項以下ハ明了ニシテ別ニ講述スヘキ必要モ無ケレモ尙一二ノ疑点ヲ辯シ置クヘシ先ツ茲ニ辯スヘキモノハ本條編纂ノ甚タ不穩當ナルヲナリトス前段己ニ論シタル如ク本條ノ罪ヲ構成スルニハ二條件ヲ要シ而シテ其政府ヲ顛覆云々ノ目的ハ最モ必要ノモノニシテ若シ此目的ナキハ他ノ罪トナルモ本條ノ罪トナラス其内乱ノ所爲ニハ種々ノ方法アリテ本條一、二、三、四ニ規定シタルカ如シ今四ニ規定シタル所ノ附和隨行シ又ハ雜役ニ供シタル者ノ如キモ亦此政府ヲ顛覆シ云々ノ目的ヲ有スルヲ要スルヤ本條第一項ノ規定ニ依レハ政府ヲ顛

覆シ云々ヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス下アルヲ以テ附和隨行シ又ハ雜役ニ供シタル者モ亦此目的ヲ有スルヲ要シ若シ此目的ヲ有セサルハ本條ヲ以テ罰スルヲ得サルカ如クナレモ是レ行文ノ不穩當ナルヨリ生スル疑問ニシテ附和隨行シ又ハ雜役ニ供シタル者ノ如キハ此目的ヲ有スルヲ要セサルナリ何トナレハ是等ノ者ハ多クハ人ニ威嚇セラレ瞞着セラレ詐欺セラレテ或ハ本心ニ背テ已ムヲ得スシテ附和スルモノアルヘク或ハ事ノ何タルヲ辨セスシテ隨行スルモノアルヘク眞ニ本心此目的ヲ有スル者ハアラサルヘシ特ニ雜役ニ供スル者ノ如キハ單ニ賃銀ヲ得ンカ爲メニ其群ニ加ハリタル者ニシテ此目的ヲ有スル者ノ如キハ全ク之レ無シト云フモ不可ナキ程ナルヘケレハナリ故ニ此疑問ハ法文ノ不穩當ナルヨリ生スルモノニシテ法律ノ意ハ此等ノ者ニモ一々其目的ヲ有スル

一ヲ要スト云フニ非ス其目的ノ如何ヲ問ハス内亂ニ關スルキハ已ニ
 内亂ノ一分子ヲ成ス者ト見做シテ之ヲ罰スルナリ佛文草案ニハ朝憲
 ヲ紊亂スルヲ目的トナシタル暴舉暴動ニ加ハリタル者ハ何々ノ刑ニ
 處ストアリテ其目的ノ如何ヲ問ハサリシナリ是レ至當ノ事ナリトス
 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處スト首魁トハ首領ニシテ衆人ヲ支配統御
 スル所ノ者ナリ首魁ハ必スシモ一人ニ限ラス數人アルコトアルヘシ故
 ニ事實上首領ト看得ヘキ者ハ皆首魁ナリ教唆者トハ彼總則ノ所謂數
 人共犯ノ教唆者ト同一ニ論スルコトヲ得ス總則ノ教唆者トハ或ル定マ
 リタル一個ノ罪ヲ教唆シタル者ニテ教唆者被教唆者ハ同一体ヲ成シ
 テ一ハ腦髓ノ働キヲ爲シ一ハ手足ノ働キヲ爲ス者ナリ故ニ其刑タル
 同一ナリトス反之本條ノ教唆者トハ或ル一定ノ所爲ヲ教唆シタルニ
 非ス廣ク内亂罪一般ニ就テ教唆シタル者ニシテ即チ演說檄文又ハ其

他ノ方法ヲ以テ人民ヲ激動シ兵ヲ擧テ政府ニ抗敵スルコトヲ教唆シタ
 ル如キ者ヲ謂フ總則ノ教唆者トハ全ク其性質ヲ異ニスル者ナレハ從
 テ總則ノ如ク教唆者被教唆者ノ刑ヲ同一ニスルコトヲ得ス是レ本條内
 亂罪ノ教唆者ハ死刑ニ處シテ現行者ノ受クヘキ刑ヲ科セサル所以ナ
 リ若シ内亂罪一般ニ就テ教唆シタルニ非スシテ群集ヲ指揮スルコトヲ
 教唆シタルカ又ハ附加隨行ヲ教唆シタルカ又ハ兵器金穀ヲ資給スル
 コトヲ教唆シタルカ單ニ内亂罪ノ一部分即チ一定ノ所爲ヲ教唆シタル
 者ハ本條ノ所謂教唆者ニ非スシテ總則ノ教唆者ヲ適用シテ本條二三、
 四ニ規定シタル現行者ノ區別ニ從テ其刑ヲ科スヘキモノナリ
 本法ニ於テハ首魁及ヒ教唆者ヲ死刑ニ處ス然レトモ國事犯罪ニ死刑
 ヲ科スルコトハ刑法學者ノ大ニ議論アル所ノモノナレハ今稍陳腐ニ屬
 スト雖モ簡單ニ其主義ヲ擧示セントス元來死刑ハ絶對ニ之ヲ廢止セ

ントスルノ議論アレモ暫ク保存スヘシト唱フル論者ト雖モ尙國事犯ニ付テハ之ヲ廢センコトヲ主張ス其論旨ニ曰ク元來國事犯ハ愛國ノ熱心ノ結果ナレハ素ヨリ死ヲ恐レサルモノナリ國運ヲ挽回センカ爲メ身命ヲ犠牲ニ供セントノ覺悟アル者ナリ若シ死刑ヲ恐レハ豈事敗ル、時刑罰我頭ヲ絶ツノ大事ヲ擧ケンヤ死刑ハ此決心アル者ニ向テ恐喝ノ功ヲ奏セス犯罪ヲ未發ニ警戒スルノ用ヲ爲サス只夫レ國事犯ハ政府ニ抵抗スル者ナレモ彼謀殺強盜放火ノ如キ悖逆暴惡ノ性質ヲ帶フル者ニ非ス政府モ一朝其主義ヲ變更シテ犯者ノ企圖シタル主義ヲ採用スルニ至ルコトアリ如此キハ昨日ノ罪人犯者ハ則チ今日ノ忠臣義士ナリ此時ニ當テ大赦ヲ行フト雖モ己ニ死刑ニ處セラレタルヲ奈何セン政府ハ其主義ニ服シテ其意見畫策ヲ聽ント欲スルモ復々活カス可カラサルヲ奈何セン是ヲ以テ國事犯者ニ死刑ヲ適用スルハ社

會ニ利益ナクシテ却テ回復スヘカラサルノ後悔ヲ取ルニ至ルノ結果ヲ生スヘシト是レ歐州ノ或ル國ニ於テ國事犯ニ死刑ヲ廢シタル所以ナリ然レモ我國ハ固ヨリ歐州トハ紀綱制度ヲ異ニシ人情風俗ヲ殊ニシ歐州ノ屢々革命ノ行ハル、カ如キニ非ラス然ラハ則チ已ニ普通罪ニ付テハ死刑廢スヘカラサル理由アリテ之ヲ採用シタル以上ハ國事犯ト普通犯トヲ區別スルノ必要ナキヲ以テ我刑法ハ斷然國事犯ニ死刑ヲ採用シタルナリ

一、二、三、四ニ規定シタル者ニ付キ其刑ヲ異ニシタルハ情狀ニ於テ輕重アルヲ以テナリ其如何ナル者カ一ニ入り二ニ入り三ニ入り又四ニ入ルヤハ事實裁判官ノ認定如何ニアリ茲ニ注意スヘキ者ハ其情輕キ者ハ何々ニ處ストアルコト是ナリ其情輕キ者トハ實ニ漠然タル語ニシテ其限界ヲ知ルコト能ハス此種ノ法文ハ本條ヲ除クノ外絶テ見サル所ノ

モノナリ蓋シ同シク事ニ參與シテ籌策ヲ回ラスノ一人トナリテ群集ヲ指揮スルカ樞要ノ職務ヲ爲スカ又ハ兵器金穀ヲ資給シ其他諸般ノ職務ヲ爲シタル者ニ付テモ各其情狀ヲ異ニシ互ニ輕重アル者ナレバ之ヲ同一ノ刑ニ擬スルコトヲ得ス又一々之レカ刑ヲ盛ラントスルルハ煩擾ヲ來タスノミニシテ到底爲シ得ヘカラサルノ業ナレハ之ヲ一項中ニ集メテ其情輕キ者ハ云々ト規定シ裁判官ノ認定ニ依テ之レカ區別ヲナシタルモノナリ然レモ是レ總則ノ酌量減輕トハ大ニ異ナル所アルヲ以テ混同セサランコトヲ要ス同シク裁判官ノ酌量認定ナレトモ總則ノ酌量減輕ハ裁判官假令酌量スヘキ者ト認定スルモ尙減輕セサルヲ得ル所ノ者ニシテ其減輕スルト否トハ全ク裁判官ノ自由ニ任ス之ニ反シテ本條ニ在リテハ其情輕キ者ト認メタル以上ハ必ス二三ニ規定シタル區別ニ從ヒテ有期流刑又ハ輕禁獄ニ處セサルヘカラス然

ラサルルハ大審院ノ破毀ヲ受クヘキ不法ノ裁判トナル而シテ其情輕キ者ト認メテ有期流刑又ハ輕禁獄ニ該シ尙ホ酌量スヘキノ情アルルハ更ニ總則ノ酌量減輕ノ規則ニ從ヒテ減等スルコトヲ得

第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其

他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

本條ノ所爲ハ其性質ヨリ見ルルハ内亂ノ豫備ナリ然レモ事重大ニ係ルヲ以テ内亂ノ豫備ト爲サスシテ別ニ一罪ヲ成ス者ト做シテ前條ト同刑ニ處スル旨ヲ規定シタルナリ

本條ニ曰ク兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠云々ト表面ヨリ此法文ヲ解釋スルルハ兵器彈藥等苟モ軍備トナルヘキ物品ヲ劫掠シタルルハ何人ノ所有ヨリ劫掠スルヲ問ハス凡テ本條ニ入ルルカ如クナ

レモ此ハ注目シテ解釋スルヲ要ス兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠スルトハ皆政府ノ軍備用ノ物品ヲ指シタル者ニシテ人民ノ私有ヨリ劫掠スルヲ謂フニ非ス之ヲ詳解スルモハ政府ノ既ニ軍用物品トシテ備ヘタル兵器彈藥其他ノ物品ヲ劫掠シタル者ト云フコトナリ故ニ軍備ナル文字ハ兵器彈藥船舶凡テノ文字ニ係ル所ノ者ニシテ例ヘハ陸海軍ニ於テ軍事ノ用トシテ備ヘタル所ノ兵器其他ノ物品ヲ強掠シタル者ヲ謂フナリ若シ夫レ人民私有ノ兵器彈藥其他ノ物品ヲ強奪掠取シ以テ内亂ノ軍備ト爲シタル者ハ決シテ本條ニ謂フ所ノ者ニ非サルナリ是等ノ罪ノ事ハ第二百二十五條ニ至テ説明スルコトアルヘシ是ヲ以テ本條ノ罪ヲ構成スルニハ必ス政府ノ軍備用ノ物品ヲ劫掠シタル者ニ限ル刑法草按ニ據リテ以テ其意ヲ明ニスルコトヲ得ヘシ草案第三百二十七條ニ政府ニ屬スル兵器彈藥金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シ

タル者又ハ陸海軍製造所若クハ軍營及ヒ政府ニ屬スル船舶ヲ劫掠シタル者ト規定シテ人民ノ有ニ係ル物品ヲ劫奪シタル者ニ非サルコトヲ明ニセリ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

本條ノ所爲ハ一種特別ノモノニシテ純粹ノ内亂罪ニ非ス寧ロ純乎タル謀殺罪ナリ然レモ事甚タ内亂ニ近似スルヲ以テ特ニ内亂ヲ起シタル者ト同ク之ヲ罰スルナリ故ニ本條ハ謀殺罪ノ例外ト云ハサルヘカラス草按ニハ此規定ナカリシニ斯ク規定スルニ至リタル所以ハ惟フニ此刑法編纂ノ當時要路ノ人ヲ謀殺スルノ舉屢々アリタルヨリ起ル者ニシテ即チ政略上ノ必要ニ出テタルモノナランカ

「政府ヲ變乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ云々」ト是レ例ヘハ通常ノ謀殺即チ一私人ヲ謀殺シタル者ニテモ其目的カ政府ヲ變乱スルニ在リタルキハ本條ノ罪ヲ構成スルニ足ルカ曰ク否被害者ハ必ス政府要路ノ人ナラサルヘカラス何トナレハ假令其目的内乱ニ關スルモ通常人ヲ殺シタルノ所爲ハ決シテ政府ヲ變乱スルノ事實ヲ生セサレハナリ故ニ本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ二元素ヲ要ス

第一 被害者ハ之ヲ殺シテ政府ヲ變乱スルニ足ルヘキ要路ノ人ナルヲ

第二 政府ヲ變乱スルノ目的ヲ有スルヲ
被害者ハ之ヲ殺シテ政府ヲ變乱スルニ足ルヘキ要路ノ人トハ國務大臣ノ如キ其人ノ一身國家ニ重大ノ關係ヲ有スル所ノ者ヲ謂フナリ縱令此等ノ人ヲ謀殺スルモ第二條件即チ政府ヲ變乱スルノ目的ヲ有ス

「ナクシテ只一己ノ怨ヲ報スルニ出テタル者ハ決シテ本條ノ罪ニ非スシテ通常ノ謀殺罪ナリ縱令政府ヲ變乱スルノ目的ヲ有スルモ要路ノ人ニ非サル者ヲ謀殺シタル者ハ亦通常ノ謀殺罪ナリ
本條ノ罪ハ固ヨリ一人ニテ之ヲ爲シ得サルニアラサレモ今茲ニ多數ノ人ヲ想像シタルモノナリ何トナレハ本條ニ兵ヲ擧ルニ至ラスト雖モ」ノ文字アルヲ以テ之ヲ知ルヲ得可ケレハナリ

「内乱ト同ク論シ」ノ文字ハ無用ナルカ如シ何トナレハ元來本節ハ内乱ニ關スル罪ヲ規定シタルモノナレハ本條ヲ此節中ニ置キタル以上ハ内乱ト同ク論スルハ勿論ノ「ニシテ若シ内乱ト同ク論セサルキハ此節中ニ規定スルノ理由ナケレハナリ然レモ我立法者ハ一層通常謀殺ノ例外タルヲ明ニセン」ヲ欲シテ斯ク記載シタルモノナルヘシ
已ニ内乱ト同ク論ス故ニ本條罪ハ其管轄通常ノ罪ニ異ナリ第百二十

四條ニ云フ如ク未遂犯ノ場合ニ於テモ本刑ヲ科シ又第二百五條ニ云フ如ク豫備陰謀ヲモ罰スルナリ但本條ノ豫備陰謀ヲ罰スルニハ如何ナル刑ヲ科スルヤノ問題ニ付テハ大ニ困難ヲ感スル所ノモノアレハ第二百五條ニ至テ説明スルコトアルヘシ

「教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス」ト此文字モ亦無用ニ屬スルカ如シ何トナレハ下手者教唆者ヲ死刑ニ處スルコトハ一般ノ規則ニヨリテ明カニシテ之レカ爲メニハ別ニ正文ヲ必要トセサレハナリ然ルニ特ニ茲ニ之ヲ記載シタル者ハ本條ノ罪ハ已ニ通常謀殺ノ例外トシテ内亂ト同ク論ストナシタル以上ハ之ヲ記載スルノ必要アリト思惟シタルニ由ル

本條ノ教唆者トハ彼總則ノ所謂教唆者即チ或一定ノ所爲ヲ教唆シタル者ノミニ限ラス第二百五一條ノ教唆者即チ内亂罪一般ニ付テ教唆

シタル者ヲモ包含スルナリ教唆者下手者ヲ死刑ニ處スト規定シタルハ本條ハ多數人ヲ想像シタレハナリ乃チ教唆者下手者ノ外尙ホ諸般ノ職務ヲナシタル者アルヘク若クハ附和隨行シタル者アルヘシ是等ハ死刑ニ處スルコトヲ得ス然ラハ則チ普通ノ刑ヲ以テ之ヲ處スルヤ否曰ク第二百五一條ノ各項ニヨリテ之ヲ罰スヘシ此ハ本條ニ明言セスト雖モ内亂ト同ク論スト云フヨリ生スル自然ノ結果ナリトス

「教唆者及ヒ下手者ハ死刑ニ處ス」トアルノミニシテ他ノ共犯人ニ付テハ規定ナキヲ以テ從犯者ノ如キハ普通ノ規則ニ從ヒ一等ヲ減セラル、ナリ而シテ從犯ニヨリ一等ヲ減セラル、カ又ハ其他ノ原由ニヨリ減等セラル、并ハ已ニ内亂ト同ク論スル所ノモノナレハ其受クル刑ハ服役ナキ流刑ナルコト明ナリ

第二百五十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ

本條ハ第一百十二條即チ通常ノ未遂犯ノ例外ナリ第一百十二條ニ曰ク「犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ケサル時ハ己ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス」ト此ノ如ク通常ノ未遂犯ニ於テハ本刑ヨリ減等セラル、ト雖モ前三條ノ場合ニ於テハ未遂犯ニ於ケルモ尚ホ本刑ヲ科セラル何故ニ斯ク前三條ノ罪ニ限り未遂犯ノ時モ尚ホ本刑ヲ科スルカト曰フニ前三條ノ罪ハ重大ニシテ國家ノ安危ニ關スル所ノモノナレハナリ

本條ハ大ニ説明ヲ要スルノ條ナリ本條ニ曰ク「前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス」ト今本條ヲ前三條ニ照合スルニ第二百一十一條ニ於ケル未遂犯トハ如何ナル場合ナルヤ解者曰ク第二百一十一條ノ罪ハ常ニ未遂犯ニシテ既遂犯ヲ想像セサルナリ該條ニ曰ク「政府ヲ

顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルヲ目的ト爲シ内乱ヲ起シタル者ハ云々」ト若シ既遂犯ヲ想像スル者トセン乎犯者ノ目的ヲ遂成シタル場合ヲ想像セサルヘカテス犯者目的ヲ遂成シタルモ如何ナル地位ニ立ツヤ已レハ主權者トナルニ非スヤ已レハ刑罰權ヲ握ル所ノ者トナルニ非スヤ主權者其己レノ有スル刑罰權ヲ己レノ身上ニ及ホスヤ是レ爲シ得ヘカラサルヲナリ由是觀之該條ハ決シテ既遂犯ヲ想像セスシテ常ニ未遂犯ノ場合ヲ指シタル者ナリ是レ本條ニ未遂犯ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科スト規定シタル所以ナリト余以爲ラシ是レ誤解ナリ余ノ主張スル所ハ全ク之ニ反シ第一百二十一條ノ罪ハ常ニ既遂犯ニシテ未遂犯ノ場合ナシトナス今左ニ其理由ヲ陳示セン余ハ第一百二十一條ノ罪ハ常ニ既遂ニシテ未遂ノ場合ナシト云フハ犯者ノ目的ヲ達シタルモ以テ既遂トナスニ非スシテ内乱ノ端緒ヲ開

キタル片即チ内乱ノ所爲ニ着手シタル片ハ己ニ内亂罪ノ既遂ナリトナスヲ以テナリ論者モ言フ如ク内亂罪ニ付テハ其目的ヲ遂成シ得ヘカラサルモノナリ其目的ノ遂成ハ想像スヘカラサルモノナリ何トナレハ犯者其目的ヲ達スル片ハ己レ主權者トナリテ至高ノ權利ヲ握取スルニ至ルヲ以テナリ故ニ刑法ナル者ハ根本ヲ我主權ノ固キニ執リ我主權ハ大磐石ノ上ニ在リテ萬古不易毫末モ犯者ノ爲メニ動かサレサルノ精神ヲ以テ之ヲ制定セサルヘカラス而シテ犯者ノ爲メニ我主權ヲ動かサレ我主權ヲ奪ハル、如キヲハ法律以外ノコニシテ法律制定ノ時ノ精神ノ與リ知ル所ニアラサルナリ己ニ犯者ノ其目的ヲ遂成スルコトヲ想像シ得ヘカラストナス片ハ其目的ヲ達シタル片ヲ以テ既遂トナスコトヲ得サルハ明々白々ノ道理ニ非スヤ然ラハ則チ此刑法ノ内亂罪ニ就テ其既遂ト認ムルノ点他ニ在ルコト知ルヘキノミ蓋シ内亂

ノ所爲ニ着手シテ内亂ノ端緒ヲ開ク片ハ此罪ノ既遂ト爲サ、ルヘカラサルナリ然ラハ則チ未遂犯ノ場合ナキヤ未遂犯ノ有無ニ付テハ疑ナキコト能ハサルカ如クナレモ余ハ未遂犯ナシト斷言スルヲ憚ラサルヘシ何カ故ニ之ヲ言フ曰ク余ハ其罪ノ性質ヨリ之ヲ言フ抑内亂トハ暴舉暴動ノ所爲ニシテ暴舉暴動ノ所爲タル種々ノ方法ヨリ成ル者ナレハ其範圍茫漠トシテ區域ノ一定セル者ニ非ス即チ此点ニ達スル時ハ既遂ニシテ此点迄ハ未遂ナリトノ區別ヲ爲ス能ハサルモノナリ故ニ今若シ第二百二十一條ノ罪ニ付テ未遂ノ場合ヲ想像セントセハ同謀者ノ群集ノ時ヲ以テスルカ銃砲一發ニテ終リタル場合ヲ以テスルカ銃砲一發ニテ終リタル場合ヲ未遂トナサハ十發ニテ終リタル場合ハ如何將タ一城廓ニ占據スルモ未タ交兵ニ至ラサル時ヲ以テスルカ交兵ニ至リタルモ一官兵ヲ殺傷シタルニ止マリタル片ハ如何是等ノ所

爲ハ皆以テ未遂ト爲ス能ハサルヘシ何トナレハ已ニ内乱罪ハ其目的ヲ達スル能ハルサモノト爲スルハ右等ノ所爲即チ内乱ノ所爲ニ着手シタル時ハ之ヲ以テ既遂ト爲サルヘカラサレハナリ即チ一步ヲ進メハ内乱ノ既遂トナリ一步ヲ退ケハ内乱ノ豫備トナル者ニシテ決シテ未遂ノ場合ナキモノナリトス

内乱罪ハ種々ノ所爲ヨリ成リテ普通罪即チ謀故殺罪ノ如キ被害者ノ位、地ニヨリテ既遂未遂ノ經界判然タルカ如キニアラサルコトハ以上説明スル所ニヨリテ明ナリト雖モ尙ホ之ヲ確ムル爲メ左ノ數罪ニ就テ見ル所アラントス

神祠佛堂等ニ對スル不敬ノ罪ノ如キハ未遂犯ナシ此等ノ罪ハ種々ノ所爲ヨリ成リテ未遂犯ノ場合ヲ想像シ得サルナリ何トナレハ手ヲ擧ケテ之ヲ打ツノ眞似ヲナスモ足ヲ投ケテ之ヲ蹴ルノ眞似ヲナスモ苟

モ其所爲ニシテ不敬タルニ於テハ直チニ不敬罪ヲ構成スル者ニシテ其進退ハ既遂罪トナルカ無罪トナルカノ二者ニ歸スル所ノ者ナレハナリ強姦罪ニ付テハ未遂犯アルモ猥褻罪ニハ未遂犯ナシ是亦種々ノ所爲ヨリ構成スル所ノ罪ニシテ如何ナル點迄ハ未遂犯ニシテ如何ナル點ヨリハ既遂犯ナルヤノ定度標準ナク他ノ罪ノ目的ヲ達シタルヤ否ヤニ由テ既遂未遂ノ區別明カナルカ如キニ非サルナリ故ニ猥褻ノ所爲アルヤ直チニ既遂犯トナリテ未遂ノ場合ヲ生セサルナリ内乱罪モ亦然リ其所爲タルヤ一定スル者ニ非スシテ着手アルヤ直チニ既遂トナリテ未遂ノ場合ヲ生セサル所ノモノナリ

己ニ第百二十一條ノ罪ニ付テハ未遂犯ナシトセハ本條ニ前三條ノ罪ハ未遂犯ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ストアルハ相符合セサルモノト謂ハサルヘカラサルナリ是レ不都合ノ條文ニシテ若シ刑法改正ノ日

アラハ改正ヲ要スルノ一トナルヘシ然レトモ強テ之レカ適用ヲ求メ
 ント欲セハ未遂犯罪ノ時ト曰フヲ以テ着手シタル時ト解釋セハ即チ
 可ナランカ

刑法起草者ホアアード先生ノ刑法草按註釋書ヲ閱スルニ内亂罪ニ
 付テ犯者ノ目的ヲ達スル場合ヲ想像シタル者ノ如シボアツナード先
 生ト雖モ亦誤謬ナキ能ハサルヲ以テ此等ノ誤謬ヨリ遂ニ本條ノ不都
 合ヲ見ルニ至リタル者ニ非サル歟

本條ハ第二百一十一條ニハ適用スルヲ能ハサルモ第二百二十二條第二百
 十三條ニハ適用シ得ル者トス第二百二十二條ニハ劫掠ト言フヲ以テ若
 シ劫掠ヲ遂ケサル片ハ未遂犯ナリ第二百二十三條ニハ謀殺トアルヲ以
 テ若シ謀殺ヲ遂ケサルトキハ未遂犯ナリ故ニ本條ハ第二百二十二條及
 二百二十三條ニ適用スヘキモノナリトス

第二百二十五條 兵隊ヲ招集シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂

ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第百廿一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス
 内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

總則中ニアル第百十一條ニ曰ク罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲
 スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレ
 ハ其刑ヲ科セスニ故ニ普通罪ニ在テハ豫備決心ハ之ヲ罰セサルヲ以
 テ原則トナシ之ヲ罰スルヲ以テ例外ト爲ス例外ノ場合ハ別ニ正條ヲ
 設クルコトハ法律編纂ノ要務ニシテ第百十一條ニ本條別ニ刑名ヲ記載
 云々ト云フ所以ナリ是レ本條ノ由テ起ル所ニシテ内亂罪ハ豫備陰謀
 ヲ罰スルナリ抑豫備陰謀ハ之ヲ罰セサルヲ以テ原則トナス何故ニ内
 亂罪ニ付テハ之ヲ罰スルヤト曰フニ己ニ未遂犯ノ章ニ於テ見タル如
 ク此等ノ罪タル其事柄重大ニシテ實ニ國家ノ安危人民ノ休戚ニ關シ

若シ一步ヲ誤ルルハ恐ルヘキ結果ヲ生スルニ至ルニヨリ之ヲ其未發ニ防クノ必要アルヲ以テナリ此規定タル各國刑法皆同一ニ出ツル者ノ如シ

本條ニ兵隊ヲ招集シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ云々ト此ハ内亂豫備ノ所爲ニ付テ重ナル類例ヲ示シタルノミ故ニ此他ニモ尙ホ豫備ノ所爲タル者アルヘシ其果シテ豫備ノ所爲タルヤ否ヤヲ知ルハ一ニ裁判官ノ認定ニ在リ

茲ニ一ノ重大ナル問題アリ即チ兵器金穀ヲ準備スル爲メ強盜ヲナシタルルハ之ヲ如何ニ罰スヘキヤ例ヘハ内亂ヲ起サントシテ檄文等ヲ以テ多衆ヲ嘯集シタルモ未タ兵器金穀ノ具備セサルヲ以テ之ヲ得んカ爲メ強盜ヲナシタル者アリトセンニ此所爲ハ普通ノ強盜ヲ以テ罰スヘキヤ或ハ本條ノ所謂内亂ノ豫備タルヘキヤ

之ヲ以テ強盜トナサントスル者アリ内亂ノ豫備トナサントスル者アリ之ヲ以テ強盜トナサンカ今若シ接戦ノ后敵地ノ人家ニ入りテ兵器金穀ヲ強奪シタル者ハ之ヲ如何ニ處スヘキヤ是レ内亂ノ當然ノ結果ニシテ決シテ強盜ト爲ス能ハサルニ非スヤ着手后ナルルハ之ヲ内亂トナシ豫備中ニアルルハ之ヲ強盜トナスハ其理由貫徹セサルニ非スヤ之ヲ以テ内亂ノ豫備トナサンカ内亂ノ豫備トナスルハ強奪セントシテ人ヲ殺傷シタル者モ亦内亂ノ豫備トナサルヘカラス強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處セラレ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處セラル、一ハ第三百八十條ノ規定スル處ナリ然ルニ右ノ場合ヲ以テ内亂ノ豫備トナスルハ第二百一十一條ノ刑ニ照シテ一等ヲ減セラル、ヲ以テ其刑ハ強盜ノ場合ヨリ輕シ同シク人ヲ殺シタル者ニシテ強盜ナルルハ其刑重ク國事犯ナルルハ其刑輕キハ何ノ理由ニ因ル歟是ニ由テ之

ヲ觀レハ兩說孰レモ不都合アルヲ免カレサルナリ更ニ左ニ兩說ノ當否ヲ詳言シテ然ル后予カ斷定ヲ下サント欲ス

第一說ハ如何ナル所爲ト雖モ内乱ノ豫備タルキハ本條ヲ以テ之ヲ問ハントスル者ニシテ第二說ハ假令内乱ノ豫備タルモ普通罪ノ刑ニ觸ル、キハ普通罪ノ刑ヲ以テ之ヲ罰セントスル者ナリ

第一說ハ其刑甚タ輕キニ失ス已ニ見タル如ク強盜ナルキハ人ヲ傷シタル者ニシテ尙ホ無期徒刑ニ處セラレ死ニ致シタルキハ死刑ニ處セラル然ルニ本條ニ依リ内乱ノ豫備トシテ之ヲ罰センカ其人ヲ傷シ人ヲ殺シタル者ハ附和隨行者ノ如キ者ナルキハ其刑タル僅ニ輕禁錮ナリ之ヲ強盜ト爲ストナサ、ルト其刑ニ於テ大差アルニ非スヤ何故ニ内亂ノ豫備タルキハ其刑普通罪ノ刑ヨリ輕キヤ内亂ノ豫備タルカ爲メニ重キ罪カ變ノ輕キ罪トナルハ何ノ理由ニ因ルヤ第一說ハ適理ノ

論ニアラサルヲ知ルヘキノミ第二說ハ假令内乱ノ豫備タルモ普通罪ノ刑ニ觸ル、キハ普通罪ノ刑ヲ以テ之ヲ論スル者ナレハ時ニ或ハ其刑輕キニ失スル場合ナキニ非サルヘシト雖モ概シテ之ヲ言フキハ其刑重キヲ以テ第一說ノ弊ハ則チ之ヲ免カルヲ得ヘシ然レトモ尙ホ論理ニ適セサル者アルヲ如何セン蓋シ内亂ノ豫備ノ爲メニ強盜ヲナシタル者ハ之ヲ強盜トナスモ内亂着手ノ后敵地ノ人家ニ入り兵器金穀ヲ強奪シタル者ハ之ヲ強盜トナス能ハサルヘシ同シク強盜ニシテ豫備ナルキハ普通罪トナリ着手后ナルキハ國事犯トナルハ何ノ故ソ普通罪ハ終始普通罪タルヘシ國事犯ハ終始國事犯タルヘク罪ナル者ハ中途ニシテ其性質ヲ變スヘキモノニアラス故ニ右兩說ハ孰レモ正鵠ヲ誤ルモノト謂サルヘカラス然ラハ則チ之ヲ如何ニ決スヘキヤ予未ダ他ニ定說ヲ見ス予曾テ此問題ニ付キボアソナード先生ニ質問セシ

「ア」リタリ先生モ亦確説アラサル者ノ如シ
 予固ヨリ淺學不才重大ノ問題ニ對シテ自ラ説ヲ立テントスルハ頗ル
 大膽ニ似タレモ斯ク々々ニ説ヲ爲スルハ稍誤謬ヲ免カルヘシト信ス
 ル者アルヲ以テ今其説ヲ左ニ開陳セン
 此問題ヲ決スルニハ其所爲ノ性質ニ由リ普通罪トナルト内亂豫備ト
 ナルトヲ區別セサルヘカラス所爲ノ性質ニ由リ或ハ普通罪トナリ或
 ハ内亂豫備トナルトハ如何ナルヲナルヤ其強奪ノ所爲ニシテ己レノ
 敵トスル政府ニ對シタルルル即チ政府ノ武庫火藥倉ニ入りテ兵器彈藥
 等ヲ強取シタルル(第二百二十二條ノ兵器金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シ
 タル者ト混スヘカラス)ハ是レ已レヲ利スルト同時ニ敵即チ政府ヲ害
 スルヲ以テ純粹ノ内亂豫備トナサ、ルヘカラス之ニ反シテ人民ニ對
 シタルルハ内亂ヲ起サントスル者ハ必スシモ人民ヨリ兵器金穀ヲ強

取セサルヘカラサル理由ナシ他ニ爲スヘキノ方法アルヘシ之ヲ爲サ
 スノ却テ爲スヘカラサルヲ爲ス是レ内亂ヲ遠因トシタル強盜ニシ
 テ内亂ニ直接ノ干係ナシ即チ單ニ自己ヲ利スル所爲ナルヲ以テ之ヲ
 普通強盜罪ノ刑ニ問ハサルヘカラサルナリ之ヲ要スルニ其所爲ニシ
 テ官府ニ對スルルルハ内亂ノ豫備トナシ人民ニ對スルルルハ普通ノ罪ト
 ナス斯ク決定スルハ至當ナリト思惟ス但シ是レ予一家ノ私説ニシテ
 大家ノ是認シタル者ニ非サルヲ以テ同シク誤謬ノ説タルヲ免カレサ
 ルモ亦未タ知ルヘカラサルナリ若シ夫レ假令人民ニ對スル金穀ノ掠
 奪ナルモ己ニ事起リ兵接スルノ後ニシテ内亂ニ欠クヘカラサル所爲
 即チ戰略ノ爲メ人民ノ家屋ヲ燒カサルヘカラサル場合ニ之ヲ燒キ糧
 米ヲ要スル場合ニ之ヲ掠奪スル如キハ是レ全ク内亂ト同一體ヲ成ス
 者ニシテ相離ルヘカラサル所爲ナルヲ以テ此場合ニハ全ク之ヲ内亂

ノ一部トナシテ普通罪ノ刑ヲ以テ之ヲ問フコトヲ得サルハ理論ノ然ラシムル所ニシテ固ヨリ明了ノ事ナリトス

第二項ハ陰謀即チ決心ヲ罰スルノ規定ナリ抑内亂罪ニ付テハ豫備ハ勿論決心尙ホ之ヲ罰スル所以ハ前已ニ見タル如ク其一タヒ發スルニ至ルキハ復タ回復スヘカテサルノ危険ヲ醸成スルヲ以テ立法者ハ特ニ之ヲ罰シタル者ナリ決心ハ如何ナル点ヨリ之ヲ罰シ得ルヤハ第十六條ヲ講シタルキ己ニ反覆辯明シタリ然レモ本條ノ決心ト第十條ノ決心トハ稍異ナル所アリ本條ノ決心トハ陰謀即チ佛蘭西語ノ所謂「コンプロ」ニシテ二人以上共ニ謀議決定シタル場合ヲ謂フ單ニ發議ニ止マリタルキノ如キハ之ヲ罪セサルナリ第十六條皇室ニ對スル場合ニ在テハ發議ニシテ相手人ノ未タ之ニ對セサルキト雖モ尙ホ之ヲ罰スルナリ是レ第十六條ノ決心ト本條ノ決心トノ異ナル点

ナリ我刑法草按ニハ發言ニシテ協議セサル者ト雖モ之ヲ罪スルノ規定アリシカ審査修正ノ際之ヲ削除シタリ蓋シ嚴ニ過シルヲ以テナリ一儲内亂ノ豫備陰謀ヲ爲シタル者ハ如何ナル刑ヲ以テ之ヲ罰スルヤト云フニ本條第一項即チ豫備ノ所爲ハ第二百一十一條ノ例ニ照シテ一等ヲ減シ第二項即チ陰謀ノ場合ハ減シテ之ヲ罪スルナリ第二百一十一條ノ例ニ照シテ此豫備陰謀ヲ罰スルハ實ニ困難ナリトス嘗テ第二百二十三條ヲ講スルニ當テ其豫備陰謀ヲ罪スルハ困難ヲ感スルノ事ナレハ本條ヲ講スルノ時ニ於テ之ヲ辯明スルコトヲ約シタリキ今乃チ之ヲ辯明セントスルモ他ニ良方法アルニ非ス惟第二百一十一條ノ例ニ照シ之ヲ罰スルハ實際ニ於テ至難ノコトナリト言フノ外ナキノミ何トナレハ豫備陰謀中ニ在リテハ第二百一十一條ニ謂フ如ク首魁教唆者又ハ群集ノ指揮ヲ爲シタル者又ハ兵器金穀ヲ資給シタル者又ハ附和隨行シタ

ル者トヲ區別シ能ハスシテ多クハ悉ク首魁トシテ罰セサルヲ得サル
カ如キコアルヘケレハナリ實ニ第二百一十一條ノ例ニ照シテ之ヲ罰ス
ルハ至難ト謂ハスシテ何ソヤ去レハ余ヲ以テ之ヲ觀ルルハ豫備陰謀
ニ就テハ別ニ之レカ刑ヲ定ムルヲ以テ至當ト爲ス者ノ如シ

第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ

行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上

三年以下ノ監視ニ付ス

本條ハ總則自首減輕ノ例外ナリ總則ニ於テハ自首者ニハ本刑ニ一等
ヲ減スル者ナレトモ本條ハ一等ヲ減スルノミニテハ未タ足ラストナ
シ其本刑ヲ全免シタルモノニシテ即チ宥恕全免ナリ何故ニ斯ク例外
トナシタルヤヲ尋ヌルニ己ニ論述シタル如ク内亂ノ罪タル一旦暴發
スルルハ復タ回復スヘカラサルノ害毒ヲ社會ニ流スヲ以テ我立法者

ハ自首者ヲ誘導スルニ宥恕全免ノ恩典ヲ以テシ而シテ之ヲ其未發ニ
防カントナシタル者ナリ此規定タル獨リ本邦ノミナラス各國刑法ニ
於テ見ル所ナリ殊ニ佛國ノ如キハ一般ノ自首減輕ハ之ヲ許サ、ルモ
内亂罪ニ付テハ之ヲ許セリ

佛國ノ如キハ一般ノ自首減輕ヲ許サス唯内亂罪ニ付テ之ヲ許シタル
ノミナレモ尙ホ學者ノ批難ヲ免カレス曰ク自首免刑ヲ以テ犯者ヲ誘
導スルハ是レ警察權ノ不完全ヲ表示スル者ナリ若シ警察權ニシテ完
全無瑕ナランカ犯者ヲ誘導スルノ要ナシ又佛國ノ共犯者ヲ告發シタ
ル者ヲ宥恕スル如キハ獨リ警察權ノ不完全ヲ表示スルノミナラス法
律カ相互ノ信義交情ヲ破ルコトヲ勸ムル者ナリト我刑法モ亦草按及佛
文草案ニハ佛國刑法ノ如ク共犯者ヲ通告シタル者ヲ全免スルノ規定
アリシカ修正ノ際之ヲ削除シタリ唯本條ノ宥恕全免ハ之ヲ保存スル

ニ至リシカ是レ論者ノ言ノ如ク仮令警察權ノ不完全ヲ表示スル者アルモ尙ホ他ニ利益ノ大ナル者ノ存スルアルヲ以テ我立法者ハ斷然之ヲ採用シタルナリ

監視ニ付スル所以ハ本刑ヲ全免シテ之ヲ解放スルキハ再ヒ惡事ヲナスノ危險アルヲ以テ之ヲ防遏センカ爲メナリ此監視ハ重罪ノ監視ナルヤ將タ輕罪ノ監視ナルヤハ本條ニ明記ナキヲ以テ之ヲ知ルコト得ス但本條ノ監視ニ付セラレタル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ再犯ヲ以テ論シ加重スルコトヲ得ルヤ否ヤ畢竟本條ノ監視ハ重罪ノ監視ニアラス又輕罪ノ監視ニアラスシテ一種特別ノ監視ト謂ハサルヘカラス故ニ再ヒ重罪輕罪ヲ犯スコアルモ再犯ヲ以テ之ヲ論スルコトヲ得ス再犯ヲ以テ之ヲ論スルニハ初犯ニ於テ本刑ヲ科セラレタル者ナルヲ要ス

第二百二十七條

内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者

ハ三年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

本條モ亦總則ノ例外即チ一般從犯ノ例外ナリトス本條ノ場合ヲ通常ノ從犯ノ規則ニ照スルハ或ハ犯罪トナラサルコトアラン然レモ本條ノ所爲ハ大ニ犯罪ノ組成ヲ補助シテ危險大ナルヲ以テ之ヲ罰スルノ必要アリ是レ茲ニ之ヲ規定シタル所以ナリ

第二百二十八條

内亂ニ乘シテ人ノ身体財産ニ對シ内亂ノ目的

ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ

從テ處斷ス

本條ハ内亂罪ト他ノ常事犯ト并發シタル場合ノ規定ニシテ此場合ハ數罪俱發ヲ以テ論スルコト一般ノ規定ニ由リテ明ナル所ナレハ特ニ本條ヲ掲クルノ必要ナケレモ我立法者ハ一層明了ヲ欲シテ斯クハ規定

シタルナリ

已ニ内亂ノ所爲ト云フキハ兵器武力ニ訴ヘテ或ハ公私有ノ財産ニ對シ或ハ公私人ノ身体ニ對シ損害ヲ加フル者ナリ例ヘハ交戰ニ際シテハ敵兵ヲ殺傷シ戰器ニ在テハ人家ヲ燒毀シ郵便電信ヲ妨碍シ鉄道ヲ破壊スルカ如シ是等ノ所爲タル内亂罪ニハ必要避クヘカラサル所ノモノニシテ即チ内亂罪其物ヲ組成スル所ノ者ナレハ之ヲ普通罪ニ問フコト得スト雖モ内亂ノ爲メ警察ノ嚴密ヲ欠クニ乘シテ内亂ノ目的ニ關セサル普通ノ重罪輕罪ヲ犯シタルキハ之ヲ普通罪ニ問ハサルヘカラサルナリ

右ニテ内亂ニ關スル罪ヲ講了シタリ本節ノ罪ヲ陸海軍刑法ニ比照スルキハ適用上大ニ困難ヲ見ルヘシ元來陸海軍刑法ニハ特別法ナリ特別法ハ普通法ヲ取消スノカラ有スルヲ以テ原則トナスカ故ニ普通刑

法ト陸海軍刑法ト如何ナル差アルモ適用上別ニ之レカ困難ヲ見サルカ如クナレハ決シテ然ラズ若シ陸海軍刑上ヲ取テ之ヲ對照セハ適用上大ニ不都合ヲ見ルコトアルヘシ予ハ今一々之ヲ辯明セス請フ諸君自ラ一考ノ勞ヲ取ラレヨ

第二節 外患ニ關スル罪

外患ニ關スル罪トハ外部ノ安寧ニ關スル罪ト云フ意味ナリ即チ外國交渉ニ關スル罪ナリ此表題ノ下ニハ三個ノ異質ノ罪アリ即チ第一、外國ニ與ミシテ本國ニ抗敵スル罪第二、外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル罪第三、局外中立ノ布告ヲ破リタル罪是ナリ此三個ノ罪ハ各其性質ヲ異ニスル者ナレハ之ヲ同節中ニ記載スルハ妥當ヲ欠クカ如クナレハ何レモ外患ニ關スル罪ニハ相違ナキヲ以テ之ヲ一括シテ本表題下ニ包含セシメタルナリ

我刑法ハ悉ク右三種ノ罪ヲ國事犯トナセリ是レ之ヲ第二章國事ニ關スル罪ノ中ニ規定シタルト之ニ服役ナキ刑ヲ科シタルトニ由テ之ヲ知ル我刑法ニ於テ服役ナキ刑ヲ科スルハ獨リ國事犯ノミ而シテ右三種ノ罪ニ科スルニ服役ナキノ刑ヲ以テシタリ我刑法ノ右三種ノ罪ヲ國事犯トナシタルヲ明了ナリ

理論上ヨリ之ヲ觀ルルキハ右三種ノ罪ハ果シテ國事犯ノ性質ヲ具有スルヤ否ヤハ曾テ講シタル所ナリシカ國事犯トハ直接ニ社會ノ組織權ニ害ヲ及ボス者ニシテ即チ我日本政府ヲ顛覆スルカ我日本政体ヲ變更スルカ其他朝權ヲ紊乱スルノ目的ヲ以テ政府ニ抗敵スル所ノ者タリ然ルニ本節ノ罪即チ右三種ノ罪ニ就テ詳ニ觀察ヲ下スルハ是等ノ罪ハ右ノ目的ヲ有スル者ニ非ス即チ社會ノ組織權ニ害ヲ及サントスル者ニ非ス但外國ニ與ミシテ我憲法ヲ破壞セントスル者ノ如キハ國

事犯ノ性質ヲ有スル者ナリト雖モ一般ニ外患ニ關スル罪ヲ見ルルハ己レ政府ニ怨ミヲ抱キテ之ヲ報ヒントスルニ出ツルカ或ハ利ノ爲メニ自國ヲ賣ントスルノ所爲ニ出ツルモノニシテ我組織權ヲ害セントノ目的ヲ有ルス者ニ非サルナリ殊ニ外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者局外中立ノ布告ヲ破リタル者ノ如キハ社會ノ組織權ニハ毫モ關係セサル所ノ者タレハ之ヲ國事犯ト爲ス能ハサルモノナリ故ニ本節ノ罪ハ純粹ノ理論ヨリ見ルルキハ決シテ國事犯ノ性質ヲ有スル者ニアラサルナリ然リ而シテ我刑法ノ之ヲ國事犯トナシタル所以ノモノハ素ト是レ一人一個ニ對スル罪ニ非ス社會ノ財產ニ對スル罪ニモ非ス又社會ノ警察權ニ對スル罪ニモ非スシテ本國一般ニ對スル罪ナリト云フノ理由ニ依レル歟

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戦中

同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附属シタル者ハ
死刑ニ處ス

本條ハ外患罪中最モ重大ナル者ヲ規定シタルナリ本條ノ罪ヲ構成ス
ルニハ左ノ二條件ヲ要ス

第一 日本人タルヲ

第二 有形的ニ兵器ヲ執ルヲ

第一日本人タルヲ 若シ我國ヲシテ外國トノ交際上治外法權ナルモ
ノ無ラシメンカ我刑法ノ規定スル所ハ其罪ノ如何ナル種類ヲ問ハス
皆ナ外國人ニ適用スヘキモノナリ獨リ本條ノ罪ニ至リテハ日本人ニ
非サルヨリハ之ヲ犯スヲ得ス外國人ニ對シテハ本條ヲ適用スルヲ
能ハサルナリ日本人ノ身分ヲ有スレハコソ本國ニ對スル罪ヲ構成ス
ルモノナリ夫ノ外國人ニシテ其自國ノ兵ニ加ハリテ我國ニ抗敵シタ

ル者ノ若キハ素ト是レ敵國人ニシテ其本國ノ爲メニ我國ニ抗敵スル
ハ本國ニ對シテ義務ヲ盡スモノナレハ日本ノ社會ヲ害スルモ本條ヲ
以テ罰スルヲ能ハサルハ勿論ナリ外國人其本國ノ爲メニナスニ非ス
シテ外國ニ與シテ日本ニ抗敵シタル者ニ於テモ亦然リ何トナレハ外
國ニ與スルト否トハ其人ノ自由ニシテ日本ニ服從セサルヘカラサル
義務アル者ニ非サレハナリ故ニ日本人タルノ身分ハ本條ノ罪ヲ構成
スルノ一元素ニシテ決シテ外國人ニ適用シ得ヘカラサルモノナリト
ス

日本人タルノ身分ハ如何ニシテ之ヲ得又如何ニシテ之ヲ失フヤハ民
法人事編ニ屬スル問題ニシテ刑法ノ關スル所ニ非サルナリ(人事編第
二章參照)

茲ニ注意スヘキヲハ一旦日本人タルノ身分ヲ棄テ、外國ニ轉籍シタ

ル者即チ日本人ノ身分ヲ失ヒタル者ニシテ本條ノ罪ヲ犯シタル者ハ
 本條ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ルヤト云フコト是ナリ曰ク罰スルコトヲ得
 ス夫レ日本ノ國土ニ生レ日本ノ教養ノ下ニ育成シタル者ニシテ父母
 ノ國タリ生育ノ土タルヲ忘レ日本ノ國籍ヲ脱シテ外國ニ轉籍スル者
 ノ如キハ其情最モ憎ムヘシト雖モ其人ノ便宜上己ムヲ得サルノ事情
 ニ出ツルカ又ハ自國ノ制度ノ下ニ服従スルヲ好マヌシテ外國ニ歸化
 スルハ其人ノ自由ニシテ敢テ禁制スルコト能ハサル所ノモノナリ是レ
 歐米各國法ノ其國人タル身分ヲ失フ場合ヲ認ムル所以ニシテ本邦ニ
 於テモ亦民法人事編第十二條ノ規定ヲ見ル所以ナリ已ニ日本ノ國籍
 ヲ脱シテ外國ニ轉籍シタル者ト認メタル場合ニ於テ其者本條ノ罪ヲ
 犯スルハ國籍ヲ脱スルサヘ其情憎ムヘキニ尙且ツ干戈ヲ我ニ向クル
 如キハ最モ重ク罰スルノ必要アルカ如クナレモ一旦日本國民タルノ

權利義務ヲ拋棄シテ日本人タルノ身分ヲ失ヒタル者ハ日本ノ保護ヲ
 受ケスシテ外國人トナルニ因リ通常ノ外國人ト同ク本條ヲ以テ之ハ
 罰スルコトヲ得サルナリ
 第二有形的ニ兵器ヲ執ルコト本條ニ曰ク外國ニ與シテ本國ニ抗敵云
 々ト此抗敵ノ文字タル其意義甚タ廣クシテ種々ナル所爲ヲ包含セシ
 メ得ルヲ以テ之ヲ一讀スルルハ有形上無形上如何ナル所爲ヲ問ハス
 皆本條ヲ適用シ得ルカ如ク從テ演說新聞其他言論ヲ以テ本國ニ抗敵
 シタル者モ亦本條ヲ以テ處罰スルコトヲ得ルカ如クナレモ決シテ然ル
 ニ非スシテ有形的ニ抗敵スルヲ要スルナリ即チ兵器ヲ執リ武力ヲ以
 テカシタル場合ヲ謂フモノナリ此ハ以下三條ニ照合スルト佛文章按
 ニ兵器ノ文字アルトヲ以テ之ヲ知り得ヘキナリ兵器ヲ執ルトハ必ス
 刀槍劍戟ヲ執リタル場合ノミニシテ其他如何ナル事ヲ爲スモ之ヲ包

合セシメサルカト云フニ或ハ實際兵器ヲ執ラサル場合モアルヘシ例
 へハ腕力ヲ以テスルカ瓦石ヲ以テシタル者ノ如キハ實際有形的ニ抗
 敵シタル者ニシテ兵器ヲ執リタル者ト毫モ異ナル所ナキヲ以テ是等
 ハ茲ニ包含セシメサルヘカラサルナリ

「外國ニ與シテ本國ニ抗敵」シ云々トハ獨リ外國ト本國ト開戦ノ際外國
 兵ニ加ハリタル場合ノミヲ指スニ非スシテ己レ外國政府又ハ其官吏
 ヲ教唆シテ兵ヲ出サシメ因リテ以テ本國ニ抗敵シタル者モ亦之ニ包
 含スルナリ「外國ト交戦中同盟國ニ抗敵」シ云々ト交戦ノ文字ハ其意義
 甚タ漠然タル者ニシテ如何ナル点ヨリ交戦ト言ヒ得ルヤハ明了ナラ
 サルヲ以テ種々ノ議論アリ然レトモ此交戦トハ實際未タ干戈ヲ交ヘ
 スト雖モ己ニ敵國ニ戰書ヲ贈ルカ又ハ某國ヲ以テ某國ト見做ストノ
 布告アリタルキハ交戦中ト稱スルヲ得ヘク又戰書ヲ贈ラサルモ開戦

ノ布告ナキモ己ニ干戈ヲ交ヘタルキハ是レ亦交戦中ト謂ハサルヘカ
 ラサルナリ同盟國トハ通常平時ノ場合ニ在テハ同盟條約國ヲ稱スル
 者ナレモ本條謂フ所ノ者ハ戰爭ニ關シテ通謀盟約シテ共ニ敵ヲ同フ
 スル所ノ國ヲ謂フナリ同盟國ニ抗敵シタル者ヲ以テ本國ニ抗敵シタ
 ル者ト同ク論スルハ同盟國ハ我國ト力ヲ共ニシ敵ヲ同フスル所ノ者
 ナレハ之ニ抗敵スルハ本國ニ抗敵スルト同一ノ結果ヲ來スヲ以テナ
 リ

「其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者」云々ト此語タル其意義甚
 タ廣クシテ苟モ本國ニ叛キテ敵兵ニ附屬シタル者ハ兵器ヲ執リテ抗
 敵セサル者ト雖モ皆此中ニ包含スル者トス故ニ背叛云々ノ文字ハ狹
 ク見ルヘカラス然レモ我國ノ醫師カ偶然敵兵中ニアリタルカ爲メニ
 其負傷者ヲ治療シタルカ如キ職工敵兵ト同所ニアリタルヨリ糊口ノ

爲メ雜役ニ供シタルカ其他脅迫セラレテ敵兵ニ附屬シタル者ノ如キハ本條ニ從フヘキ者ニ非サルナリ何トナレハ是等ハ偶然ノ所爲ニ出テタルカ糊口ノ爲メニナシタル者ニシテ本國ニ背キ敵兵ヲ援クルノ惡意アラサレハナリ若シ夫レ醫師故サラニ敵兵中ニ入りテ治療ヲ施スカ職工鋸カニ敵兵ニ入りテ軍器ヲ製造シ其他雜役ニ供シタルカ如キハ本條ヲ以テ問ハサルヘカラス

本條ノ罪ヲ犯ス者ハ死刑ナリ而シテ本條ノ罪モ亦第二百一十一條ノ如ク首魁教唆者アルヘク附和隨行者アルヘシ然レモ本條ハ之ヲ區別セス是レ苟モ父母ノ國ヲ忘レ父母ノ國ヲ害スル者ハ其各個人各極刑ニ處スヘキモノト爲シタルナリ

本條ニ疑アル者ハ交戰中ノ文字ナリトス次條以下ニモ此文字アル者ト無キ者トアリ此ハ交戰中ナルヲ要スルト交戰中ニアラサルモ罪ト

ナルコアルヲ以テノ故ナレハ輕々ニ讀過スヘカラス然レトモ本條ノ交戰中ノ文字ハ其必要ヲ見サルカ如シ何トナレハ戰時同盟國ハ交戰中ニ有リテ平時ニ有ラス故ニ同盟國ノ文字ハ交戰中ノ意ヲ表ハス所ノモノナレハナリ然レモ若シ此文字ナキハ平時條約國ト混スルノ恐アルヲ以テ之レカ明了ヲ得ンカ爲メニ斯ク交戰中ノ文字ヲ挿入シタル者ナルヘシ

第三百三十條

交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若ク

ハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥艦船其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

本條ニ交戰中トアリ故ニ交戰中ノ所爲ナルコヲ要ス交戰中トハ前條ニ於テ説明シタルカ如ク獨リ干戈ヲ交ヘ接戰ニ至リタルルノミナラス已ニ戰書ヲ贈ルカ又ハ開戰ノ布告アリタルルハ實際交戰ニ至ラサ

ルモ交戦中ト云フコトヲ得ヘクシテ其意義甚タ廣キ所ノ者ナリ然レモ
 開戦ノ布告モナク又未タ戦書ヲモ贈ラス惟平和ノ談判破レタルル
 如キハ未タ交戦中ト云フコトヲ得サルヲ以テ之ヲ無限ノ意味ニ解釋ス
 ヘカラス

敵兵ヲ誘導云々ト此ハ己レ自ラ案内者トナリテ有形的ニ敵兵ヲ誘導
 シテ本國管内ニ入レシメタルヲ要スルカ將タ有形無形ヲ問ハス即チ
 自ラ案内者トナリテ實ニ敵兵ヲ誘導シタル場合ハ勿論書面等ヲ以テ
 道路ノ順序ヲ指示シタルル如キモ亦本條ニ包含スルヤ曰ク本條ハ
 其所爲ノ有形無形ヲ問ハス其方法ノ如何ニ拘ラス苟モ敵兵ヲ誘導シ
 タルノ實アルルハ皆之ヲ包含ス故ニ書面口頭ヲ以テ誘導シタル者ノ
 如キモ亦本條ヲ以テ罰セラルヘキナリ

本條ニ本國管内トノミアリテ同盟國ノ文字ナキモ以テ敵兵ヲ誘導シ
 テ同盟國管内ニ入ラシメタル者ハ之ヲ罰スルコトヲ得サルナリ然レモ
 戦時同盟國ハ本國ト其利害ヲ同フスル所ノ者ニシテ同盟國管内ニ敵
 兵ヲ誘導シタルルハ本國內ニ誘導シタルルト同一ノ結果ヲ來スヲ以
 テ茲ニ之ヲ記載セサルハ其故ヲ解スルニ苦ムナリ是レ全ク脱漏ト謂
 ハサルヘカラス何トナレハ第百三十一條ニ本國及ヒ同盟國ノ軍情
 機密ヲ敵國ニ漏泄シ若シハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ
 通知シタル者ハ云々トアリテ同盟國ヲ本國ト同一ニ見做シタリ刑ノ
 輕キ第百三十一條ニシテ尙ホ同盟國ヲ掲載シタルニ刑ノ重キ本條ニ
 シテ之ヲ規定セサルノ理由アラサルヲ以テ之ヲ脱漏ト言フヨリ外ナ
 ケレハナリ佛文草案ニ據ルルハ日本又ハ日本ノ同盟國ノ管内ト明記
 シアルヲ以テ此意ヲ明ニスルコトヲ得

「本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥海船其他軍事ニ關スル土地

家屋物件云々ト此兵器彈藥海船ハ軍事ニ關スル物件ノ例ヲ示シタル者ニシテ此等ハ軍事ニ關スル者タルヲ要スレモ都府城塞ハ軍事ニ關シタル者ナルヲ要セサルナリ何トナレハ又ハトハ異別ノ者ヲ區別スルキ用井ル所ノ文字ニシテ軍事ニ關スル物タルヲ要スルハ又ハ以下ノ物ナルヲ知リ得ヘケレハナリ故ニ都府城塞ヲ交付シタル者ハ軍事ニ關セサル所ノ物ナルモ本條ヲ以テ之ヲ罰スヘシ而シテ軍事ニ關スル土地家屋物件トハ山川ノ要地武庫兵庫金穀等苟モ軍事ニ供スル者ハ皆之ヲ包含ス茲ニ疑ノ存スル者ハ軍事ニ關スルトハ軍事ニ供スルト云フノ意味ニシテ軍事ニ供スル物件ヲ交付スルトハ軍事ニ供センカ爲メニ交付シタル者ヲ謂フ者ナルヤ將タ軍事ニ供シツ、アル者即チ政府軍備用ノ物ヲ指スカ二者孰レナルヤ明了ナラス然レトモ予ハ軍用ニ供シツ、アル物即チ政府軍備用ノ物ヲ指スト解セサ

ルヘカラスト爲ス故ニ軍用ニ供センカ爲メニ交付シタル者ノ如キハ本條ヲ以テ罰スルヲ得サルナリ佛文草案ニ據ルキハ此意ヲ明ニスルヲ得ヘシ尤モ起草者ハ最初之ヲ脱漏シテ其后之ニ修正ヲ加ヘテ本國ヲ害シ外國ヲ利スル爲メニ交付シタル者トナシタリ是レ注意ノ至リタル者ニシテ斯クナカルヘカラサルモノナルニ之ヲ删除シテ本條ノ如クナシタルハ遺憾ト謂フヘキナリ

本條及ヒ以下二條ノ罪ハ自ラ前條ト異ナル所アリ前條ノ罪ハ己レ公然外國ニ與シテ本國及ヒ同盟國ニ抗敵スル者本條以下ハ所謂内應ナル者ニシテ隱然敵兵ヲ援クル所ノ者ナリ夫レ公然ノ害ハ之ヲ防グニ難カラスシテ其害ノ及フ所小ナリ之ニ反シテ隱然内面ニ起ル所ノ害毒ハ之ヲ防クニ易カラスシテ其暴發スルヤ及フ所ノ害大ナリ故ニ本條以下ノ罪ハ甚タ恐ルヘキ者ニシテ之ヲ犯ス者ハ其情最モ憎ムヘキ

所ノ者ナリ又前條ノ罪ハ日本人ニアラサレハ之ヲ犯スヲ得サルモ
 本條以下ノ罪ハ外國人ト雖モ之ヲ犯スヲ得故ニ本邦管内ニ在ル外
 國人ニシテ本條ノ罪ヲ犯スルハ本條ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラス然
 レモ外國人ニ本條ヲ適用スルニハ一般ノ外國人ト敵國人タルトヲ區
 別セサルヘカラス一般ノ外國人ハ我法律ノ下ニ保護ヲ受クル所ノ者
 ナレハ之ニ向ヒテハ直ニ本條ヲ適用ス可ク我法律ノ保護ヲ受ケサル
 敵國人即チ開戰布告后本邦管内ヨリ放逐セラレタル者ニシテ竊ニ本
 邦内ニ潛匿スルカ又ハ交戰中敵國ヨリ竊ニ來リテ本條ノ罪ヲ犯スル
 ハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ス何トナレハ此等ハ本邦ノ保護ヲ受
 クル者ニアラスシテ右ノ所爲ハ自國ニ對スルノ義務ニ出ツルカ又ハ
 外國ノ謀畧ニ出ツル者ナレハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得サルハ勿
 論ナレハ乃チ之ヲ處スルニハ俘虜ヲ遇スルノ道ヲ以テスルノミ

第三百三十一條

本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若

クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者

ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿

シタル者亦同シ

本條ハ前條ニ比シテ其刑輕シ是レ何故ナルヤト言フニ其害前條ノ如
 シ顯著ナラサルヲ以テナリ然レモ惡意ノ點ヲ以テスレハ更ニ前條ニ
 一層ヲ加フルナリ何トナレハ前條ハ其所爲有形的ノ者ナレモ本條ハ
 無形陰密ノ中ニ爲ス所ノ者ナレハ其背德卑劣前條ノ比ニ非サレハナ
 リ故ニ惡意ノ點ヲ以テスル片ハ更ニ其刑重キヲ加ヘサルヘカラサル
 カ如クナレモ加害ノ點小ナルヲ以テ其刑輕キヲ致シタリ前二條ヨリ
 一條毎ニ背德ヲ重スルモ一條毎ニ加害ノ點ヲ減スルヲ見ルナリ

本條ニ交戰中ノ文字ナシ故ニ交戰中ニアラサルモ本條ヲ以テ之ヲ罰ス然レモ敵國ノ文字アルヲ以テ敵國ヲ認ムル場合ハ多クハ交戰中ナレハ本條ノ罪ヲ犯スニハ大概交戰中ナルヘシ但交戰中ニアラサルモ敵國ヲ認ムヘキ場合ナキニ非ス即チ平和ノ談判破裂シテ未タ戰書ヲ贈ラス開戰ノ布告ナキモ早晚開戰ニ至ルヘキ時ノ如キ是レナリ此時ニ當テ本條ノ罪ヲ犯ス者アルモ本條ヲ以テ之ヲ罰ス可シ

本條ニ一ハ漏泄ト云ヒ一ハ通知ト云フ是レ別個ノ事ヲ云フニ非ス惟軍情機密ハ通常一般ノ人ノ知ラサル所ノ者ナレハ重キヲ置テ之ヲ漏泄ト云ヒ兵隊屯集ノ要地道路ノ險夷ノ如キハ本邦ニ在ル者ハ一般ニ熟知スル所ノ者ナレハ之ヲ通知ト云ヒタル迄ニシテ別ニ意味アルニアラサルナリ

借本條ノ罪ヲ構成スルニハ惡意即チ本國ヲ害シ敵國ヲ利スルノ意ア

ルヲ要スルカ將タ故意ノミヲ以テ足レリトスルカ余ハ本條ノ罪ヲ構成スルニハ必ス惡意アルヲ要ス其故意ニ出テタルモ惡意ナキモ本條ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ストナスナリ夫レ本條ノ罪ハ上文ニモ述ヘタル如ク陰密ノ中ニ害毒ヲ含ム所ノ者ナレハ其危險ノ大ナルハ勿論犯人ノ心事モ亦奸譎卑劣厭フヘク憎ムヘキ者ナレハ重ク之ヲ罰スヘクシテ隨ヒテ惡意ナキモ尙ホ之ヲ罰スルノ必要アルカ如クナレモ然レモ惡意ナクシテ偶然漏泄シ通知シタル者ノ如キハ其危險ハ惡意ヲ以テナシタル者ト同一ナル可キモ之ヲ以テ背德ノ点アリト謂フ可カラス無意ニシテ犯シタル者ハ道德ニ背クノ點ナキナリ道德ニ背クノ點ナキ者ハ刑法上責任アラサルコトハ動カス可カラサルノ原則ナリ又假令之ヲ罰ス可キ者トスルモ惡意ヲ以テ爲シタル者ト同一ニ無期流刑ニ處スルハ酷ニ過キテ不權衡ノ甚タシキ者ト謂ハサルヘカラス

故ニ余ハ惡意ナク故意ノミヲ以テ爲シタル者ハ本條ヲ適用スルコトヲ得スシテ無罪タルヘキ者トナスナリ

第三百三十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作

ヲ爲ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令

ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

本條ハ別ニ説明スルノ要ナシ但命令ニ違背スルコトハ本條ノ罪ヲ構成スルノ一條件ヲ成スヤ否ヤ命令違背ノコトハ一條件ト見做スヲ要セス蓋シ本條問フ所ノ者ハ軍備ヲ欠乏シタル者ヲ罰スルニ在リ其軍備ヲ欠乏シタルト否トハ自然ニ命令ニ違背シタルト否トヲ表彰スル者ナリ則チ軍備ヲ缺乏セサルキハ命令ヲ遵守シタル者ナルヘシ若シ軍備ヲ缺乏シタルキハ是レ命令ニ違背シタル者ナルヘシ然ラハ則チ此文字ナキモ其意ノ明カナルコトヲ得ヘキナリ

軍備ヲ缺乏シタル時云々ト此ハ實際缺乏ヲ告ケテ差支ヲ生シタル時ヲ云フ者ナルヤ又ハ實際缺乏ニ至ラサルモ工作ヲ爲ス者工作ヲ爲サス供給ヲ爲ス者供給ヲ爲サス惟其約束ヲ履行セサルキハ本條ヲ以テ罰スル者ナルヤ予ヲ以テ之ヲ觀ルニ工作者供給者其約束通り之ヲ履行セサルキハ直ニ本條ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ヘシ何トナレハ其約束ノ日ニ當テ之ヲ供給シ之ヲ工作セサルキハ常ニ軍備ノ缺乏ヲ致シタル者ト見ルヲ得ヘケレハナリ即チ陸海軍ニ於テ之レカ供給ヲ命シ之レカ工作ヲ命スルハ常ニ軍備ノ十分ナルヲ欲シテナリ其必要アリテ然ルナリ而ルニ其約束ノ日ニ之ヲ履行セサルキハ假令有形的ニ其缺乏ヲ致サ、ルモ無形的ニ缺乏ヲ致シタリト謂ハサルヘカラス一時片刻ノ遲延モ無形的ニ其缺乏澁滯ヲ來シタリト謂ハサルヘカラス若シ斯ク解釋セスシテ實際ニ缺乏ヲ生シタル場合ニアラサレハ之ヲ罰

スルヲ得スト云フ片ハ實際軍備ニ缺乏ヲ生シテ軍事上差支ヲ來シ
損害ヲ蒙リタル片ニアラサレハ之ヲ罰スルヲ得サルノミナラス軍
事上差支ヲ生セサル限りハ約束命令ヲ履行セサルモ尙ホ可ナリト云
フト同一ノ結果ヲ來スヘシ豈不都合ノ至リナラスヤ故ニ供給者工作
者其約束ヲ履行セサル片ハ實際缺乏ヲ告ケサルモ直ニ本條ヲ以テ之
ヲ罰スヘシ

委任ヲ受ケテ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ストハ例ヘハ兵器糧食買入
方受負ノ契約ヲナシタルカ如キ陣營屯所建築方ヲ引受ケタルカ如キ
者ヲ謂フナリ

第三百三十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑

ニ處ス其豫備ニ止マル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

本條ハ次條ト共ニ外患ニ關スル罪中ニ在リト雖モ前數條トハ大ニ其

而目ヲ異ニス前數罪ハ日本人及ヒ外國人カ我政府ニ抗敵シテ我國ヲ
害スル所ノモノニシテ本條及ヒ次條ハ外國ニ對スル罪ナリ外國政府
ニ抗敵スル所ノ者ナリ我國ハ間接ニ損害ヲ受クルニ過キス故ニ其性
質ヲ以テスル時ハ萬國公法ニ對スル罪中ニ入ル可キ者ナリ佛文草按
ハ萬國公法ニ對スル罪ナル一章ヲ設ケテ此中ニ局外中立ノ罪海賊ノ
罪及ヒ奴隸賣買ノ罪ヲ規定セリ然レモ日本文草按トナルニ當テ之ヲ
削除セラレタリ蓋シ其理由ハ我國ノ外國交渉ニ關シテ治外法權ノ未
タ其跡ヲ徹去セサル以上ハ該章ヲ規定スルモ之ヲ適用スルノ場合ナ
クシテ全ク無用ニ歸スルヲ以テナリ然レモ海賊及奴隸賣買ノ罪ハ暫
ク之ヲ措キ局外中立ヲ破リタル罪ヲ規定セサルニ於テハ甚タ不都合
ノ場合ヲ生スヘシ即チ局外中立ヲ破リタル者アリタル場合ニ於テ之
ヲ罰スルヲ得サルヲ以テ外國政府ハ必ス之レカ引渡ヲ請求スヘシ之

ヲ引渡サンカ情ノ忍ヒサルヲ奈何セン之ヲ拒マンカ外國交渉ヲ惹起スルヲ奈何セン是レ之ヲ規定セサルヲ得サル所以ニシテ再度ノ審査ニ當テ本條及ヒ次條ヲ現出スルニ至リタル所以ナリ而シテ之ヲ編入スルニ付キ別ニ一章ヲ置カスシテ本節内ニ規定セリ蓋シ本節ノ罪ニ似タルト本節内ニ編入スルキハ繁雜ヲ避クルノ便アルトヲ以テナルヘシ

外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者云々此ハ外國政府ニ向ヒテ戰端ヲ開クヲ指ス者ナリ即チ日本人ノ資格ヲ以テ政府ノ許可ナクシテ外國政府ニ抗敵シタル者ナリ故ニ外國間ノ交戰ヲ幫助シタルカ又仮令日本人ノ資格ヲ用井ルモ單ニ外國海岸ノ市民ヲ騷擾シタルニ止マル時ノ如キハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ス此等ハ皆外國ニ對シ戰端ヲ開キタル者ト云フヲ得ス故ニ本條ノ罪ヲ構成スルニハ第一外國

政府ニ抗敵スルヲ目的トナシタルヲ第二兵器ヲ携ヘ武力ニ訴ヘタルヲ要スルナリ

外國ニ對シ戰端ヲ開クトハ必ス外國政府ニ對スルヲ目的トシタル者ニシテ其人數ノ如キハ幾何ク大ナルモ惟外國人民ヲ喧騒シタルニ止マル時ノ如キハ外國ニ對シ戰端ヲ開キタリト云ヒ得サルヲハ以上ニ述ヘタルカ如シ而シテ斯ノ如ク解釋スル所以ノ者ハ佛文章按ニ據ル片ハ本條ノ意味ハ遠征即チ外國征伐ヲ企テタル者ナルノ意明カナルニ由ルナリ

其豫備ニ止マル者ハ云々ト豫備トハ如何ナル定度ニアル者ヲ指スヤ豫備ト着手トハ如何ナル点ニ於テ區別スルヤ我國ヨリ外國ヲ征伐スト云フ片ハ海波ヲ渡ラサルヘカラス已ニ内地ヲ發シテ船舶ニ乘リタル片ハ着手ナルヤ將タ豫備ナルヤ甚タ疑ハシ學說上ヨリ之ヲ見ル片

ハ實際彼地ニ航シテ開戦ニ至ラサルハ着手ト謂フヲ得サルカ如シ故ニ内地ヲ發シタリトテ未タ着手ト謂フヲ得スシテ豫備ナルヘシ佛文草按ニハ此点ニ於テ稍區別ヲ立テタリト雖モ是亦明了ナラス本條ハ不完全ノ條文ナリ蓋シ本條ノ罪ハ一人ニテ犯シ得サル所ノ者ニシテ必ス多數ノ人ヲ要ス多數ノ人ナルハ首魁、教唆、指揮、從行等ノ段階アルヘシ此段階ヲ區別セスシテ本條ノ罪ニ與シタル者ハ悉ク有期流刑ニ處スルハ大ニ刑ノ權衡ヲ失スル者ト謂ハサルヘカラス故ニ内亂罪ニ付テ第二百一十一條ニ規定シタルカ如ク本條ニ於テモ亦之ヲ區別スルヲ至當ナルヘシ佛文草按ハ之レカ區別ヲナシテ刑ノ輕重ヲ定メタリシカ之ヲ削除スルニ至リタルハ余其理由ヲ知ラサルナリ上來論シタル所ニ由テ觀ルハ日本人カ外國人ニ與シテ其政府ニ抗敵シタル時ハ本條ヲ以テ之ヲ論スルヲ得ス何トナレハ此者タル全

ク外國ノ内亂ニ與シタル者ニシテ私ニ外國ニ對シテ戰端ヲ開キタル者ニアラサレハナリ而シテ立法者ハ其處分ヲ全ク外國政府ニ委ネ假令内地ニ歸リ來ルモ之ヲ罰セサルヲトナサントシタル者ナリ

第三百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ萬國公法上ノ局外中立ヲ破ルノ罪ニシテ純粹ニ萬國公法ニ對スルモノナリ局外中立トハ外國間互ニ戰爭ヲナス場合ニ於テ我日本ハ之ニ關セザラント欲セハ局外中立ヲ布告スルナリ此布告ニ背キテ一方ヲ助勢スルハ本條ノ罪ヲナス者ナリ例ヘハ支那ト朝鮮ト戰端ヲ開キテ日本ハ局外中立ヲ布告シタリト假想センニ此場合ニ於テ支那或ハ朝鮮ニ加勢ヲナシタルカ如キ者はナリ

局外中立ヲ布告スルト同時ニ之ニ附屬スル禁令ヲ發スルコトアリ例ヘハ石炭糧食等ヲ交戰國ニ賣ルコトヲ禁スルカ如キ是ナリ此禁令ニ違背スル者ハ無論本條ヲ以テ之ヲ罰スト雖モ然レモ此禁令ハ或ハ萬國公法上局外中立ニ要スル條件ヲ漏スコアルヘシ即チ布告ノ禁令以外ニ局外中立ヲ破ルノ所爲アルヘシ此場合ニ於テ如何ニ此者ヲ處スヘキヤ換言スレハ本條ハ布告ノ禁令ヲ犯シタル者ニノミ適用スヘキ者ナルヤ將タ萬國公法上局外中立ノ一般ノ規則ニ背キタル者ニモ亦之ヲ適用スルヲ得ヘキ者ナルヤ局外中立一般ノ規則ニ背キタル者ニモ本條ヲ適用ストナス時ハ甚タ危險ナルカ如シ何トナレハ局外中立一般ノ規則ハ諸人悉ク之ヲ知ルト謂フヘカラス即チ知ラスノ之ヲ犯ス者アルヘキヲ以テナリ故ニ本條ハ布告ノ禁令違反ノ者ニノミ適用スト謂フノ安全ニ若カサルナリ夫レ然リ然レモ佛文草按ニ據ルモハ局外

中立ノ犯則トナルヘキ總テノ所爲ヲ罰ストアリ即チ本條ノ精神モ亦斯クノ如クナラサルヘカラスナリ且本條ハ萬國公法上局外中立ノ制裁ナルヘケレハ寧ロ斯克解スルヲ以テ至當ト爲スヘシ故ニ布告ノ禁令以外ニ於テ一般ノ規則ニ背クモハ本條ヲ適用スヘキナリ局外中立ノ布告ヲ破リタル者ニ向ヒテ本條ノ罰ヲ加フル所以ノモノハ犯者ノ爲メニ外國ニ於テ直接ノ損害ヲ受クルコトナシト雖モ若シ之ヲ不問ニ置ク時ハ往々外國交渉問題ヲ惹起シテ遂ニ忌ムヘキ紛紜ヲ來スコアルヘキヲ以テナリ

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

本條ハ説明ヲ要セス

第三章 誣謐ヲ害スル罪

刑法

前章ハ國ノ組織ニ關スル罪即チ國事犯ヲ規定セル者ニシテ本章ハ公衆ノ安寧ニ關スル罪即チ警察權ニ對スル罪ヲ規定セル者ナリ謗謔ヲ害スル罪トハ猶ホ公安ヲ害スル罪ト云フカ如シ此公安ヲ害スル罪ハ直接ニ社會ニ害ヲ及ホス者ニシテ國事犯ニ次キテ現ハルヘキ所ノ者ナリ

第一節 兇徒嘯衆ノ罪

本節ハ暴舉暴動ノ罪ヲ規定セル者ナリ兇徒トハ暴動ヲナスノ目的ヲ以テ多衆相集リタル跡ニ就キテ之ヲ謂ヒタル者ニシテ初メヨリ兇徒ノ名アル彼博徒ノ如キ者ノ相集リタルヲ謂フニ非ス故ニ良民モ暴動ノ目的ヲ以テ多衆相集リタル時ハ本節ノ所謂兇徒ナリ若シ之ヲ初メヨリ兇徒ノ名アル者ノ相集リタルモノナリトスルキハ第三百三十六條ノ官吏ノ説諭ヲ受ケテ解散シタルキハ是レ犯人ヲ解散セシムル者ト

云ハサルヲ得サルカ如キ不都合ヲ生スルナリ
 本節ノ罪ハ草案ニハ之レナカリシ即チ本節ノ一部ハ之ヲ内亂罪ニ包括シ他ノ一部ハ之ヲ官廳ニ對スルノ罪トナセリ而シテ審査修正ノ際ニ於テ本節ノ罪ヲ現出シタリ蓋シ本節ノ罪ハ細民小夫ノ竹鎗席簾ニ一時ノ暴動ヲ逞フセントスルニ過キスシテ國事犯者ノ如ク深謀アルニ非ス故ニ之ヲ内亂罪ニ包括スルノ不當ニシテ隨ヒテ本節ノ起ラサルヲ得サル所以ナリ

第三百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附加隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ四元素ヲ要ス

刑法

第一 兇徒多衆ナルヲ

第二 其目的暴動ヲ謀ルニアルヲ

第三 暴動ノ目的國事ニ關セサルヲ

第四 官吏ノ説諭アリタルヲ

第一 兇徒多衆ナルヲ 兇徒多衆トハ甚々漠然タル語ニシテ幾人ナル
 片ハ多衆ニシテ幾人ナル片ハ多衆ナラサルカ其限界ヲ知ルヲ能ハス
 是レ之ヲ法律ニ一定セスシテ其多衆ト認ムルヲ得ヘキヤ否ヤハ事實
 裁判官ニ一任シタル者ナリ蓋シ小人数ナルモ尙ホ多衆ト認メサルヲ
 得サルノ場合アルヘク又多人數ナルモ多衆ト云フヲ得サル場合ア
 ルヘク全ク時ノ情狀ヲ見ルニ非サレハ之ヲ知ルヲ能ハサルヲ以テナ
 リ故ニ裁判官ハ實際ニ臨ミテ其人數ノ如何ニ拘ハラス果シテ暴動ヲ
 爲シ得ルヤ否ヤヲ標準トナシテ多衆ナルヤ否ヤヲ判定スヘシ

第二 其目的暴動ヲ謀ルニ在ルヲ 暴動トハ如何ナルヲ爲ス者ヲ謂
 フヤ即チ次條ニ所謂官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ村市ヲ騷擾スルカ如
 キ又ハ家屋ニ放火シ財産ヲ毀損スルカ如キ凡テ公衆ニ對スル亂暴狠
 簿ノ所爲ヲ謂フ者ナリ而シテ此目的コソ本條ノ罪ヲ成スニ最モ必要
 ノ條件ナレ何トナレハ若シ此目的ナカリセハ假令幾万人相集マルモ
 良民タルヲ害セサレハナリ

第三 暴動ノ目的國事ニ關セサルヲ 暴動ノ目的國事ニ關シ社會ノ構
 成權ニ對スル片ハ全ク國事犯トナリテ本條ノ罪ニ非ス而シテ國事ニ
 關セサルニ於テハ其何ノ理由ヲ問ハス本條ヲ以テ之ヲ罰スヘシ其理
 由トハ或ハ富豪ニ迫テ負債償却ノ義務ヲ免カレントスルカ如キ或ハ
 貧困ヲ訴ヘテ賑恤ヲ強要スルカ如キ之ヲ茲ニ枚擧スルニ違アラス然
 レモ茲ニ其目的國事ニ關スル者ナルヤ否ヤヲ區別スルニ困難ナル場

合アリ例へハ兇徒多衆ヲ嘯聚シテ租税ノ輕減ヲ強要スル爲メ暴行脅迫ヲナシタリトセンニ此等ハ素ヨリ政府ノ顛覆朝憲ノ紊亂ヲ目的トスルニ非サレハ國事犯ノ性質ヲ有スル者ニ非サレトモ此場合ニ於テ政府ハ暴民ノ請願ヲ容ルレハ則テ可ナリ若シ之ヲ容レサルハ暴民益々激シテ飽クマテ暴動ヲ逞フセント欲シ遂ニ進テ政府ニ抵抗シ朝憲ヲ紊亂シ政府ヲ顛覆スルノ念慮ヲ起サスンハアラス此ノ如キ場合ニハ多クハ國事犯トナルヘシ夫レ此ノ如ク一步ヲ進ムレハ國事犯トナルノ場合アレハ果シテ國事ニ關セサルヤ否ヤヲ判定スルハ困難ナルヲアルヘシ是レ草案ニ於テ本條ノ罪ヲ國事犯中ニ編入スルニ至リタル所以ナリ然レモ斯クノ如キヲハ論究ノ密ナルヨリ生スル疑問ニシテ實際ニ於テ稀ナルヘケレハ深ク憂フルニ足ラサルヘシ故ニ稅額輕減ヲ目的トスル暴動ノ如キモ皆本條ヲ以テ之ヲ罰スヘシ

第四官吏ノ說諭アリタルヲ暴動ヲナスノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚スルモ官吏ノ說諭ナキカ又說諭ニ服シテ解散スルモ本條ノ罪ヲ成ササルナリ本條ヲ以テ罰スルハ官吏ノ說諭ヲ受クルモ尙ホ聽カスシテ暴動ヲ逞フセントスル者ニ限ルナリ斯ク官吏ノ說諭ヲ以テ罪ヲ構成スルノ一元素トナシ說諭ヲ受クルモ尙ホ解散セサル者ノミヲ罰スルハ何ソヤ蓋シ此多衆ノ者ハ皆無智愚昧ニシテ一時ノ感情ニ激セラレテ雷同附和スルニ過キス國事犯者ノ如ク深謀遠圖アルニ非ス只其所爲ヨリ見ルモ暴動ノ目的アルモ未タ暴動アリタルニ非サレハ之ヲ說諭シテ解散セシムルハ速ニ良民ニ復スル所ノ者ナリ而シテ之ヲシテ良民ニ復セシムルハ法律ノ切ニ望ム所ナレハ茲ニ此一條件ヲ置キテ官吏ノ說諭アルモ尙ホ剛愎執拗ニシテ肯セサル者ヲ罰ストナシタルナリ故ニ官吏ノ說諭ニ服シテ速ニ解散シタル者ハ本條ノ罪トナラ

ス

茲ニ所謂官吏トハ相當官吏即チ府縣知事、警察官ノ如キ警察權ヲ有スル行政官吏ヲ謂フ者ナリ故ニ偶、裁判官又ハ大藏省ノ官吏ノ如キアリテ説諭ヲナシタリト雖モ此等ノ官吏ハ警察權ヲ有スル者ニ非スシテ斯ル場合ニ説諭ヲナスノ權利義務アラサル者ナレハ未タ官吏ノ説諭アリタリト云フコトヲ得サルナリ

以上四條件ヲ具備シタルキハ本條ヲ以テ之ヲ罰ス而シテ之ヲ罰スルニハ首魁、教唆者ハ云々附和隨行者ハ云々ト區別シテ數人共犯ノ例ヲ用ヒス又第二百一一條ノ如ク密ナラス是レ本條ノ罰ハ多衆相集マリタルノミニシテ未タ暴動ニ着手セサレハ兇徒ノ所爲ニ段階アラサルヲ以テチリ又本條ニ暴動ヲ謀リ云々トアリ此謀リノ文字アルヲ以テ之ヲ陰謀即チ決心ヲ罰スル者ト解スヘカスヲ本條ハ有形上ノ所爲ヲ

罰スル者ナルコト勿論ナリ又本條ハ次條ニ比シテ豫備ノ所爲ナリ然レモ之ヲ以テ豫備ヲ罰スル者トナスヘカラス本條ハ之ヲ一罪トシテ罰スル者ナリ

第三百三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼

シ又ハ村市ヲ騷擾其シ他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者

ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕

懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ前條ニ一步ヲ進メタル者ナリ前條ハ本條ノ豫備ナルモ其危險ノ大ナルモノアルヲ以テ之ヲ一罪トシテ罰シタリ本條ハ即チ其實行ヲ爲シタル場合ナリ故ニ其刑モ亦重シ

官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ云々トハ暴動ノ例ヲ示シタル者ニシテ其

他家屋ニ放火シ財産ヲ毀壞シ人ヲ殺傷スル等ノ一アルヘシ此等ノ所爲アルキハ皆本條ヲ以テ之ヲ罰スル者ニシテ本條ニ其他暴動ヲ爲シタル者云々ト云フヲ以テ之ヲ知ルヘシ然レモ其數多ノ所爲アリタルキ即チ人ヲ殺傷スルカ家屋ヲ燒燬スルカ如キ凡テ普通ノ罪ヲ同時ニ犯シタルキハ數罪俱發ヲ以テ之ヲ論セサルヘカラサル一勿論ナリ是レ本節ノ内亂罪ニ異ナル所以ニシテ内亂罪ニ在テハ人ヲ殺傷シ家屋ヲ燒燬スルハ内亂罪ニ避クヘカラサル所爲ナレハ特ニ之ヲ罰スル一ヲ得スト雖モ此等ノ所爲ハ本節即チ暴動ノ罪ニハ必要ノ者ニ非ス之ヲ爲サレハ暴動ヲ爲ス能ハスト謂フニアラス故ニ數罪俱發一ノ重キニ從テ之ヲ罰セサルヘカラス

茲ニ一ノ注意ヲナスヘキ者ハ本條及ヒ前條ノ罪ニ未遂犯ノ場合ナキ一是ナリトス前條ノ罪ハ官吏ノ說諭ヲ受ケテ解散スルト否トニ由リ

テ成立不成立ヲ決スル者ニシテ固ヨリ未遂犯ノ場合ナシトス本條ノ罪ハ内亂罪ト同シク種々ノ所爲ヨリ成リテ一定セル者ニ非サレハ前條ノ一步ヲ進メテ暴動ニ着手スルキハ直ニ本條ノ既遂罪トナル者ニシテ道理上未遂犯ノ場合ヲ生セサルナリ

第三百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ

燒毀シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

前條ノ暴動ヲ爲スニ當リ他ノ普通罪ヲ犯スルハ數罪俱發ヲ以テ論スル一ハ前條ニ於テ説明シタルカ如シ故ニ人ヲ毆打創傷スルカ如キ財物ヲ強取スルカ如キ往來通信ヲ妨害スルカ如キ者ハ皆普通罪ニ照シ其重キニ從テ論スヘキナリ故ニ人ヲ殺死シ家屋船舶等ヲ燒燬シタル者モ亦數罪俱發ヲ以テ論スヘキ者ナレモ法律ハ此二罪ニ付テハ數罪

俱發ヲ以テ論スルヨリ尙ホ一層重ク罰センカ爲メ又首魁及ヒ教唆者ノ其情ヲ知テ制セサル者ヲ罰センカ爲特別ニ本條ヲ規定シタルナリ人ヲ殺死云々殺死スルトハ謀殺故殺ノミヲ云フ者ニシテ過失殺毆打殺ヲ包含セス何トナレハ過失殺毆打殺ハ素ト人ヲ死ニ致スノ意思アリタルニ非ス偶然其結果ヲ生シタル者ナレハ人ヲ殺死シタル者ト謂フコトヲ得スシテ之ヲ重ク罰スルノ必要アラス又通常毆打殺ハ重懲役ニシテ過失殺ハ罰金ニ過キス然ルニ假令暴動ノ際ナレハトテ急ニ死刑ニ入ル、ハ何ノ理由アルヤ不權衡モ甚タシト謂ハサル可カラス故ニ毆打殺過失殺ハ本條ニ包含セサルナリ

家屋船舶倉庫等ヲ燒燬云々家屋倉庫ハ人ノ住居シタルト否トヲ問ハス船舶ハ人ヲ乗載シタルト否トヲ區別セサルナリ茲ニ説明ヲ要スルノ點ハ此等ナル文字ナリトス此文字ハ物件數多アリテ一々列記スル

ノ繁雜ナルキ用非ル所ノ文字ニシテ法律上ニ於テハ一々物件ヲ列記スルキハ却テ脫漏ヲ恐ル、場合ニ於テ往々此字ヲ用非ルコトアリ然レモ此文字ヲ用非ルキハ其範圍廣大ニ失シテ限界一定セス如何ナル點迄其効力ヲ及ホスヤヲ知ルコト能ハスシテ往々不明了ノ場合ヲ生スルコトアルヲ以テ法律上ニ於テハ忌ムヘキ文字ト謂ハサルヘカラス本條ノ意味ハ家屋倉庫ニ類似スル者ト云フコトニシテ山林ニ堆積スル枯草ヲ燒キタルカ如キ或ハ微小ノ小屋物置ヲ燒キタルカ如キハ本條ヲ適用スルコトヲ得ス何トナレハ此等ハ第四百四條第四百六條ニ於テ重懲役輕懲役ヲ以テ之ヲ罰スレトモ之ヲ如何ニ重ク罰セントスレハトテ遽ニ死刑ニ處スルハ寧ロ嚴ニ過キテ不權衡ノ甚タシキニ至レハナリ故ニ本條ヲ適用スルニハ家屋倉庫ニ類スル貴重ノ財産ヲ燒燬シタル者ナルヲ要ス裁判官ハ實際ニ臨ミ深ク注意ヲ加ヘ此等ノ文字ヲ無限

ノ意味ニ解釋スヘカラス
 現ニ手ヲ下シ云々ト現ニ手ヲ下シテ人ヲ殺死シタル者及ヒ火ヲ放ツ
 者ヲ死刑ニ處スルハ是レ本條ヲ設ケテ普通ノ場合ノ例外ヲ示スヲ要
 シタル所以ナリ何トナレハ普通ノ場合ニハ人ヲ故殺シタル者ハ無期
 徒刑ニ處シ人ノ住居セサル家屋人ヲ乗載セサル船舶等ニ放火シタル
 者ハ無期徒刑重懲役ニ處スヘキニ本條ニ於テハ之ニ死刑ヲ科スルヲ
 以テナリ現ニ手ヲ下シ云々ト云フヲ以テ假令暴動ニ加ハルモ殺人放
 火ニ與ミセサル者ニハ本條ヲ適用セス其殺人放火ニ與シタル者ニハ
 數人共犯ノ規則ヲ適用セサルヘカラス而シテ現ニ手ヲ下シテ人ヲ殺
 死シタル者及ヒ火ヲ放ツ者ヲ重ク罰スル理由ハ暴動ノ際ニ在テハ犯
 スニ易ク防クニ難クシテ背徳加害ノ點通常ノ場合ニ比シテ重大ヲ加
 フルヲ以テナリ

第二項ノ首魁教唆者トハ本條ノ殺人放火ノ首魁教唆者ヲ謂フニ非ス
 シテ暴動ノ首魁教唆者ヲ謂フ者ナリ若ン本條ノ殺人放火ノ首魁教唆
 者ヲ謂フモノナリト云ハ、是レ無用ノ規定ノミ何トナレハ總則數人
 共犯ノ例ヲ以テ之ヲ論スヘキ者ナルヲ以テナリ故ニ總則ノ教唆者ヲ
 謂フニ非スシテ第二百一一條ノ教唆者ヲ謂フナリ情ヲ知テ制セサル
 者云々ト云フニ據ルモ亦之ヲ知ルヲ得ヘシ若シ暴動ノ教唆者ノ外
 尙ホ他ニ本條ノ殺人放火ノ教唆者アリタルキハ總則第五百五條ニ照シ
 テ處斷スヘキヲ勿論ナリ其首魁及ヒ教唆者ハ現ニ殺人放火ニ與セサ
 ルモ尙ホ下手者ト同一ニ重ク之ヲ罰スルハ何ノ理由ナルヤ夫レ首魁
 教唆者ハ總テ配下ニ屬シタル者ノ所爲ニ關係スル者ナレハ其所爲ニ
 付キ責任ヲ負ハサルヘカラサルハ勿論ナリ然レモ首魁教唆者ハ其配
 下ノ者ノ爲ス凡テノ所爲ヲ悉ク知ルト謂フヘカラス其知ラサル者ニ

向テ尙ホ責任ヲ負ハシムルハ不道理ナリ是レ情ヲ知テ制セサル者云々ト云フ所以ニシテ若シ其情ヲ知ラサルキハ責任ヲ負ハサルナリ本條ハ暴動ノ際云々ト云フヲ以テ廣ク之ヲ適用スルコトヲ得ルカ如ク即チ暴動ニ與カラサル者モ暴動ノ際ニ當テ殺人放火ヲ爲シタル者ハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ルカ如クナレバ本條ハ斯ク汎博ニ適用スル者ニ非スシテ暴動ニ與カリタル者カ暴動ノ勢ニ乘シテ殺人放火ヲ爲シタル場合ニ適用スル者ナリ故ニ暴動ニ與カラサル者ニシテ暴動ノ際ニ當テ殺人放火ヲ爲スモ本條ヲ適用スルコトヲ得ス又假令暴動者ナルモ自己ノ怨ミヲ以テ互ニ殺傷シタルカ如キニモ適用スルコトヲ得ス是等ハ皆普通ノ法條ヲ以テ處斷スヘキ者ナリ故ニ本條ヲ適用スルハ唯暴動者カ暴動ノ勢ニ乘シテ爲シタル所爲ニシテ其所爲カ暴動ニ相關連シタル場合ノミナリトス

本條ニ殺人放火ノ場合ヲ規定シテ毆打創傷ノ場合ヲ規定セス暴動ノ際ニハ毆打創傷ヲナスコト實際多カルヘシ此場合ニ於テハ如何ニ之ヲ罰スルヤ論者或ハ曰ク人ヲ毆打シ人ヲ殺死シ又放火スルハ暴動ノ常ナリ故ニ毆打創傷ハ暴動ノ罪トシテ第三百三十七條ヲ以テ之ヲ罰シ數罪俱發ヲ以テ之ヲ論セスト是レ不當ノ說ナリ何トナレハ之ヲ毆打シ人ヲ殺死シ家屋ニ放火スルハ暴動タルニ必要ノ所爲ニ非ス此等ノ所爲ナキモ暴動タルヲ得ルナリ即チ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強迫シ村市ヲ騷擾スルニ人ヲ毆打シ殺死シ家屋ニ放火スルハ必要ノ事ニ非ス已ニ必要避クヘカラサル所爲ニ非サルキハ是レ別個ノ罪ナリ然ラハ則チ數罪俱發ヲ以テ之ヲ論スルコト自然ノ道理ニアラスヤ且論者ノ說ノ如クナランカ第三百三十七條ノ附和隨行者ニシテ人ヲ毆打シ篤疾ニ致シタリトセンニ第三百三十七條末項ニ依テ之ヲ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ニ處スルニ過キス普通ノ場合ニ在テ人ヲ毆打シ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處セラル何故ニ暴動ノ際ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ其刑輕キヤ第百三十八條ニ於テ人ヲ故殺シタル者ヲ特ニ重ク罰スルヲ見ルルハ寧ロ之ヲ重クスヘキノ必要アルモ之ヲ輕クスヘキノ理由アラサルニ非スヤ而ルニ論者ハ之ヲ輕クセントス立法者豈斯クノ如ク前後矛盾ノ法律ヲ作ル者ナランヤ故ニ曰ク論者ノ説不當ナリト若シ暴動ノ所爲ノ外毆打創傷アリタルハ數罪俱發ヲ以テ之ヲ論スヘシ

第三節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

本節ハ官吏カ其職務ヲ行フニ當リ之ヲ妨害スル罪ニシテ即チ官吏カ法律命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其執行ヲ妨ケ又ハ官吏ヲ侮辱スル者ヲ罰スル者ナリ若シ之ヲ罰セザランカ法律命令ハ空文ニ屬シ公權ノ威嚴ヲ損シ社會ノ公安ヲ維持スル能ハサルニ至ル又一面

ニハ之ヲ罰シテ官吏ノ職務ヲ行フ者ヲ保護スルナリ

第百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政

司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲スヘカラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

本條及ヒ次條ハ腕力ヲ以テ執行官吏ニ抵抗シタル者ヲ罰スルノ條ニシテ本條ノ罰ヲ構成スルニ左ノ三條件ヲ要ス

第一 官吏其職務ヲ以テ法律規則又ハ官署ノ命令ヲ執行スル場合ナルヲ

第二 暴行脅迫ノ所爲アリタルヲ

第三 抗拒シタルヲ

第一官吏其職務ヲ以テ法律規則又ハ官署ノ命令ヲ執行スル場合ナル
ヲ 茲ニ所謂官吏トハ執行官吏即チ警部巡查憲兵ノ如キ者ヲ謂フモ
ノニシテ官衙勤務ノ一般ノ官吏ヲ指ス者ニ非ス何トナレハ法律規則
又ハ官署ノ命令ヲ執行スヘキ者ハ警部巡查憲兵其他二三ノ官吏ニ過
キサレハナリ法律規則ヲ執行スルトハ巡查現行犯人ヲ逮捕スルカ如
キ場合ナルヘシ官署ノ命令ヲ執行スルトハ巡查豫審判事ノ命令ヲ受
ケテ非現行犯人ヲ捕縛スルカ如キ收稅吏カ府縣知事ノ命令ヲ受ケテ
農工商ノ帳簿ヲ調査スルカ如キ場合ヲ謂フナルヘシ是等ノ官吏カ法
律規則命令ヲ執行スルニハ其職務ヲ以テ之ヲ爲スヲ要ス官吏ト雖
モ其職務ヲ以テ爲サス又職務ヲ以テ爲スモ法律規則命令ヲ執行スル
ニ係ラサルヲアリ此ノ如キ場合ニハ官吏ノ資格アルニ非ス一己人ノ

資格ヲ以テ爲ス者ト謂ハサルヘカラサレハ此者ニ向テ抵抗スルモ暴
行脅迫ヲ加フルモ本條ノ罪ヲ成サス官吏ハ其保護ヲ受クルヲ得サ
ルナリ

第二暴行脅迫ノ所爲アルヲ 暴行トハ腕力ニ訴ヘテ力爭スルヲ謂フ
例ヘハ毆打スルカ如キ凡テ粗暴ノ行爲ヲ指スナリ脅迫トハ刑法第三
百二十六條ニ記載スル所ノ事ヲ以テ脅迫スルヲ謂フ者ニシテ例ヘハ
官吏ヲ殺スヘシ家屋ニ放火スヘシ毆打創傷スヘシ財産ヲ毀壞劫掠ス
ヘシト脅迫スルヲ謂フナリ故ニ本條ノ罪ヲ構成スルニハ必ス暴行脅
迫ヲ以テ抵抗スルヲ要ス夫ノ言語辯論ヲ以テ執行ヲ拒ムカ又ハ逃避
シテ執行ヲ免カル、カ如キハ本條ノ罪ヲ成サ、ルナリ
第三抗拒シタルヲ 抗拒トハ法律規則若クハ命令ノ執行ヲ拒絕スル
ヲ謂フ者ナレハ執行ヲ受クル者ニ非サレハ抗拒ノアリ得ヘキヲナ

シ故ニ本條ヲ適用スルハ執行ヲ受クル者ニシテ其執行ヲ拒ミタル場合ナリトス例ヘハ巡查カ現行犯者ヲ捕縛セントスルニ當リ其犯者カ巡查ニ抗拒スルカ如キ巡查カ豫審判事ノ令狀ニ依テ非現行犯者ヲ逮捕セントスルニ當リ其犯者カ巡查ニ抗拒シタルカ如キ收稅吏カ府縣知事ノ命令ヲ受ケテ農工商ノ帳簿ヲ調査スルニ當リ其調査ヲ受クル者カ收稅吏ニ抗拒スルカ如キ場合ニシテ若シ他人カ來リテ巡查收稅吏ニ暴行脅迫ヲ加ヘテ其命令ヲ執行スルヲ得セシメサルカ如キ場合ニハ本條ヲ適用スルヲ得ス故ニ本條ハ單ニ執行ヲ受クル者ニシテ其執行ヲ拒ミタル者ニノミ之ヲ適用スヘキ者ナリトス然レモ茲ニ疑ハシキ點アリ即チ本條ハ單ニ執行ヲ受クル者ニシテ其執行ヲ拒ミタル者ニノミ之ヲ適用シテ一般ニ官吏ノ執行ヲ妨害シテ其執行ヲ得セシメサル者ニ適用スルヲ得サルヲハ上ニ述ヘタルカ如クナレモ本

節ノ表題ニ「官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪」トアルヲ見レハ立法者ノ精神ハ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害シタル者ハ其執行ヲ受クル當人ナルト否トヲ問ハス一般ニ本條ヲ以テ之ヲ罰セントスル者ノ如シ且ツ第百四十一條ニ於テ官吏ヲ侮辱シタル者ハ其執行ヲ受クル當人ナルト否トヲ區別セシメテ凡テ通常ノ誹毀罪ヨリ重ク之ヲ罰スルヲ以テ本條モ亦何人ヲ問ハス苟モ官吏ノ職務ヲ行フヲ有形的ニ妨害シタル者ハ凡テ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ至當トナサ、ルヘカラス否ラサレハ則チ誹毀ニ付テハ何人モ一般ニ第百四十一條ニ依リテ重ク罰セラレ、モ誹毀ヨリ重キ本條ノ罪ニ付テハ執行ヲ受クル以外ノ人ハ本條ニ依リテ之ヲ罰スルヲ得シテ普通ノ法條ニ問フニ至リ甚タ不權衡ナルノ結果ヲ生スヘシ、夫レ然リ然レモ本條ニ抗拒シタル者トアリ抗拒トハ執行ヲ受クル以外ノ人ニアリ得ヘカラサルヲナリ抗拒トハ受

身ノ地位ニ在ル者ノ働キヲ謂フ者ニ進ンテ爲ス者ノ働キハ抗拒ニ非ス執行ヲ受クル以外、人ノ爲ス暴行脅迫ハ同ク官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル者ナリト雖モ本條ノ所謂抗拒ニ非ス故ニ本條ヲ適用スルハ單ニ執行ヲ受クル者ニシテ其執行ニ抗拒シタル場合ノミナリ然レモ是レ本條ノ不完全ナルヨリ生スル所ノ己ムヲ得サル結果ニシテ宜ク改正スヘキ者ナルヘシ

第二項ハ暴行脅迫ヲ以テ官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ爲サシメタル者ヲ罰スルノ規定ニシテ此爲ス可カラサル事件ヲ行ハシムルトハ如何ナルコトヲ謂フヤ爲スコトヲ禁セラレタル事件ヲ行ハシメタルコトヲ謂フヤ將タ爲スヘキコトヲ爲サ、ル場合ニ之ヲ爲サシメタル者ヲモ包含スルヤ正文上ヨリ解釋スル片ハ單ニ爲スコトヲ禁セラレタル事件ヲ行ハシメタル場合ノミニ限ルカ如クナレモ其精神ハ即チ然ラスシテ爲

スコトヲ禁セラレタル事件ヲ行ハシメタル者ハ勿論爲スヘキコトヲ爲サ、ル場合ニ之ヲ爲サシメタル者ニモ亦之ヲ適用スルニ在リト謂ハサルヘカラス何トナレハ假令官吏力其爲スヘキコトヲ爲サ、ルモ人民ハ之ヲ爲サシムルノ權利ナシ然ルニ之ニ暴行脅迫ヲ加フルハ是レ社會公權ヲ蔑如スル者ニシテ之ヲ罰スルノ必要アレハナリ故ニ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシムルトハ爲スコトヲ欲セサル事件ヲ行ハシムル者ト解シテ其惡事ヲ爲サシメタル場合ハ勿論假令善事タルモ爲スコトヲ欲セサル事件ヲ行ハシメタル片ハ皆本項ヲ適用スヘキ者トス

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

本條ハ前條ノ罪ヲ犯シ因テ以テ官吏ヲ毆打創傷シタル者ヲ重ク罰スルノ條ナリ何故ニ官吏ヲ毆打創傷シタル者ハ重ク之ヲ罰スルヤ蓋シ

官吏ヲ保護スルト法律命令ノ執行ヲ確ムルトニ出テタルナリ然レモ
 官吏ヲ保護スルト法律命令ノ執行ヲ確ムルトノ目的ハ本條ノ規定ヲ
 以テ之ヲ達シ得ルヤ否ヤハ余ノ疑ハサルヲ得サル所ナリ
 抑々本條ニ官吏ヲ故殺シタル場合ヲ規定セス故ニ前條ノ罪ヲ犯スニ
 因リ官吏ヲ故殺シタルルキハ如何ニ之ヲ罰スルヤ毆打創傷ト雖モ尙ホ
 通常ノ場合ヨリ重ク之ヲ罰ス況ンヤ故殺ニ於テ乎若シ通常ノ場合
 ヨリ重ク之ヲ罰セサルルキハ權衡ノ平ヲ失スルニ非スヤ而シテ本條之
 ヲ規定セサルヲ以テ通常ノ法ニ照スヨリ外ナシ然ラハ則チ本條ヲ設
 ケテ官吏ヲ保護シ法律命令ノ執行ヲ確メンカ爲メ毆打創傷ヲ重ク罰
 スト雖モ尙ホ其目的ヲ貫徹スルヲ能ハサルニ非スヤ故ニ本條ノ目的
 ヲ達センカ爲メニハ故殺ノ場合ヲ規定スルヲ要ス然リ而シテ茲ニ
 故殺ノ場合ヲ規定セサル所以アルナリ蓋シ本條ニ故殺ノ場合ヲ規定

シテ通常ノ刑ニ一等ヲ加ヘントスルモ故殺ノ通常ノ刑ハ無期徒刑ニ
 シテ之ニ一等ヲ加フルルキハ死刑トナル而シテ加ヘテ死ニ入ル、ヲ得
 サルヲハ總則ニ定ムル所ノ原則ナレハ此ノ如ク規定スルモ遂ニ無用
 ノ空文ニ歸スルヲ以テナリ
 己ニ本條ニ故殺ノ場合ヲ規定セサル以上ハ普通ノ法ヲ以テ之ヲ論セ
 サルヘカラサルヲハ上ニ述タルカ如シ而シテ此場合ニハ第二百九十六
 條ヲ適用セントスル者多ク又實際ニ於テモ該條ヲ適用スル者ノ如シ
 是レ本條ノ不完全ナルヨリ生スル所ノ已ムヲ得サル弊害ナレモ該條
 ヲ適用スルノ大ニ不當ナル者アリテ存ス蓋シ該條ハ重罪輕罪ヲ犯ス
 ニ便利ナルカ或ハ己ニ犯メ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ヲ
 罰スルノ規定ニシテ故殺罪ノ外尙ホ他ニ一ノ罪ヲ想像シタル者トス第
 百三十九條ノ執行ヲ抗拒スル爲メ官吏ヲ故殺シタル者ハ其故殺ハ即

チ第三百二十九條ノ抗拒ノ所爲ニ抗拒ト故殺トハ別個ノ所爲ニ非ス
 即チ暴行モ脅迫モ毆打モ故殺モ皆抗拒其物ニ暴行脅迫毆打故殺ノ
 所爲ハ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スルノ罪ヲ成ス所ノ元素ニシテ唯タ
 其所爲ノ異ナルニ因リテ刑ノ輕重ニ別アルノミ第三百九十六條ノ故
 殺罪ノ外尙ホ他ニ一ノ輕重罪ヲ想像シタルカ如キニ非ス是ニ由リテ
 之ヲ觀レハ第三百二十九條ノ法律規則又ハ命令ノ執行ヲ拒ミテ官吏ヲ
 故殺シタル者ニ第二百九十六條ヲ適用セントスルノ不當ナルヲハ一
 見明了ナルニ非スヤ故ニ此場合ニハ不都合ノ譏ヲ免カレスト雖モ普
 通ノ故殺罪ヲ以テ之ヲ論スルヨリ外ナキナリ然レモ法律命令ノ執行
 ヲ拒ム爲メ官吏ヲ故殺スルカ如キハ多クハ第二百九十六條ノ重輕罪
 ヲ犯サンカ爲メカ或ハ已ニ犯シタル重輕罪ヲ免カレンカ爲メナルヘ
 シ例ヘハ現行犯者ノ逮捕セラレントノ巡查ヲ故殺スルカ如キ非現行

犯者カ豫審判事ノ令狀ヲ以テ捕縛セントスル巡查ヲ故殺スルカ如キ
 又酒稅規則ヲ犯シタル者カ收稅吏ヲ故殺スルカ如キハ皆其犯罪ヲ免
 カレンカ爲メナルヘシ然レモ第三百二十九條ノ法律規則命令ノ執行ニ
 抗拒スルニ當テ官吏ヲ故殺スル場合ナキニ非ス例ヘハ通常人カ犯罪
 ノ嫌疑ヲ受ケテ捕縛セラレントスルニ當リ已レハ犯罪人ニ非サルヲ
 以テ捕縛セラルルノ理由ナシトテ之ニ抗拒シ遂ニ殺意ヲ生ノ強テ捕
 縛セントスル巡查ヲ殺害シタル場合ノ如シ此場合ニハ第二百九十六
 條ヲ適用スルヲ得スシテ普通ノ故殺罪ノ刑ヲ以テ之ヲ罰セサルヘ
 カラス若シ夫レ已ニ第三百二十九條第四百十條ノ罪ヲ犯シタルニ因リ
 テ捕縛セラレントスルニ當リ之ヲ免カレンカ爲メ巡查ヲ故殺シタル
 者ハ第二百九十六條ヲ以テ之ヲ罰ス可キヲ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ」
 第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言

語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ
五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ
侮辱シタル者亦同シ

第三百三十九條ノ罪ハ法律命令ノ執行ヲ受クル者カ其執行官吏ニ對シ
テ有形約即チ暴行脅迫ヲ以テ其執行ヲ抗拒スルノ罪ニシテ本條ハ無
形的即チ形容言語ヲ以テ官吏ヲ侮辱スルノ罪ナリ而シテ本條ハ一般
ノ人民カ一般ノ官吏ニ對スルノ罪ニシテ執行ヲ受クル者ト否ト執行
官吏ニ對スル時ト否トヲ問ハサルナリ是レ本條ハ第三百三十九條ト同
シク官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪ノ節中ニアリト雖モ而モ各相異
ナル所ノ點ナリ

本條ノ罪ハ通常人ニ對スル誹毀罪、皇室若クハ神祠佛堂ニ對スル不敬

罪ト同一種ノ罪ニシテ侮辱ト云ヒ誹毀ト云ヒ不敬ト云フ皆ナ別個ノ
者ニ非ス惟其境遇ノ異ナルニ因リテ其名ヲ異ニスルノミ

本條第一項ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ四條件ヲ要ス

第一 官吏ノ職務ニ對スル

第二 官吏ノ目前ニ於テ侮辱スル

第三 官吏ヲ侮辱スル

第四 形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スル

第一官吏ノ職務ニ對スル 本條ニ官吏ノ職務ニ對シ云々トアレ
此語タル甚タ不穩當ノモノニシテ文字上ヨリ考フルハ實ニ解スヘ
カラサル所ノ者ナリ元來職務トハ一所爲一事件タルニ過キス然ルニ
此職務ニ對シテ侮辱スルトハ如何ナルヲ謂フヤ予ハ決シテ官吏其
人ニ關セスシテ職務其物ニ對シテ侮辱ノ成立シ得ヘカラサルヲ信

スルナリ職務トハ例ヘハ裁判官ニ在リテハ訟事ヲ聽斷シ警察官ニ在リテハ犯罪人ヲ逮捕スルカ如キヲ謂フナリ此聽斷此逮捕ニ對シテ侮辱スルトハ如何ナル場合ナルヤ其例ヲ發見スルコトヲ得サルヘシ故此語タル甚タ不穩當ノモノナリトス然レモ法理上ノ意味本條ノ精神ヲ推シテ以テ其意ノ在ル所ヲ知ルコトヲ得可シ蓋シ官吏ノ職務ニ對シ侮辱スルトハ官吏職務ヲ行フニ際シ又ハ職務ニ關シテ其官吏ヲ侮辱スル場合ヲ謂フモノナリ現ニ草案ニハ之ヲ明記シタリ

故ニ官吏ノ職務ニ對シ侮辱スルトハ第一ニ官吏ノ職務ヲ行フノ際之ヲ侮辱シタル者ヲ謂フモノニシテ其侮辱タルヤ敢テ其職務ニ干係シタルコト即チ官吏ノ資格ニ對スルニ非スシテ單ニ一己ノ私怨ヲ以テ官吏其人ヲ侮辱シタル時ニモ亦本條ヲ適用スルナリ例ヘハ裁判官ニ舊怨アル者アリテ其裁判官訟廷ニ於テ審判ヲ爲スニ際シ傍聽席ヨリ聲

ヲ放チ其裁判官ヲ罵詈シタル時ノ如キ是ナリ斯ノ如キ場合ハ犯人ノ意ハ敢テ官吏ノ資格ニ對シテ侮辱シタルニ非スシテ惟平素ノ私怨ヲ報センカ爲メニ出テタルナリ犯人ヨリ之ヲ觀ルキハ平人ヲ罵詈シタルト一般ノミ故ニ本條ノ正文上ヨリスルキハ本條ヲ適用スル能ハサル者ノ如シ何トナレハ官吏ノ職務ニ對シテ侮辱シタルニ非サレハナリ然レモ斯クノ如キ場合モ亦本條ヲ適用ノ之ヲ罰セサルヲ得サルナリ蓋シ犯人ハ官吏ノ資格ニ對シテ侮辱シタルニ非サルモ現ニ其人ハ職務ヲ行フ所ノ官吏ナリ官吏ハ法律規則及ヒ命令ノ代表者ナリ此官吏ヲ保護シテ法律規則及ヒ命令ノ執行ヲ確カメサルヘカラス否ラサレハ則チ何ヲ以テ世ノ公安ヲ維持シ官ノ威嚴ヲ保存スルコトヲ得ンヤ故ニ本條ハ犯者ノ目的原因ノ如何、事柄ノ職務ニ關スルト否トヲ問ハス苟モ官吏ノ職務ヲ行フニ際シテ之ヲ侮辱シタル者ニハ皆之ヲ適用

セサルヘカラサルナリ

次キニ官吏職務ヲ行フノ際ニアラスシテ職務ノミニ關シテ侮辱シタル時ハ如何例ヘハ路上ニ於テ裁判官ニ相遇フノ時又裁判官カ一私人ノ資格ヲ以テ宴會ニ臨ミタルノ時裁判官ニ謂テ曰ク足下ハ曾テ某事件ヲ審判スルニ當リ賄賂ヲ收受シテ被告人ヲ曲庇セリト是レ此場合ハ職務執行ノ際ニアラス其人ハ官吏ノ資格ニ非サルモ其侮辱ノ事柄タル現ニ職務ニ干係シテ官吏ノ名譽官權ノ威嚴ヲ傷害スル所ノ者ナレハ無論本條ヲ以テ之ヲ罰セサル可カラサルナリ

之ヲ要スルニ本條ハ官吏職務ヲ行フ際ナル時ハ其侮辱ノ事柄タル職務上ニ關スルト否トヲ問ハス又職務上ニ關シタル時ハ職務執行ノ際ナルト否トヲ問ハス皆之ニ包含スルナリ故ニ本條ノ職務ニ對シ云々ノ語ハ官吏職務ヲ行フノ際若クハ其職務ニ關シ云々ト廣キ意味ニ解

釋セサルヘカラサル者ナリトス

斯ク本條ノ職務ニ對シ云々ノ語ヲ解釋スルニ廣キ意味ヲ以テスト雖モ然レトモ此語ノ解釋ニ付テハ大ニ注意慎戒ヲ加ヘサルヘカラサル者ナリトス何トナレハ其解釋如何ニ由テ他ニ大關係ヲ生スルヲ以テナリ即チ侮辱罪ハ通常ノ人ニ對スルキハ誹毀罪トナル者ナレハ侮辱罪ノ範圍ノ廣狹ハ誹毀罪ノ範圍ノ廣狹ニ關ス而シテ侮辱罪ト誹毀罪トハ其刑ニ輕重アリ又誹毀罪ハ親告ヲ要スル所ノ者ナレトモ侮辱罪ハ即チ否ラス夫レ斯クノ如ク右ノ語ノ解釋ノ廣狹如何ハ重大ノ關係ヲ生スル所ノ者ナレハ大ニ注意ヲ加フルヲ要スルナリ而シテ余ノ之ヲ廣キ意味ニ解シタルハ敢テ輕忽速了ノ臆斷ニ非スシテ本節ニ付テノ法理本節ヲ設ケタル立法者ノ意思佛文草案及ヒ日本文草案第百六十九條ニ據リタル者ナレハ諸君請フ之ヲ諒セヨ

第二官吏ノ目前ニ於テ侮辱シタルト此條件ヲ正面ヨリ觀察スルモハ官吏ノ目前即チ官吏ト面相接シテ侮辱シタル者ノミチ罰シテ其他ノ場所ニ在リテ侮辱シタル者ハ之ヲ罰スルトチ得サルカ如シ例ヘハ裁判官ノ背後若クハ訟廷ノ戶外ヨリ形容言語ヲ以テ裁判官ヲ侮辱スルモ之ヲ罰スルトチ得サルカ如シ然レモ斯クノ如キ解釋ハ文字ニ拘泥シテ法理ヲ抹却スル者ナリ面前ニ於テ爲シタル所ノ侮辱罪ヲ構成スル者トセハ背后ニ於テ爲シタル所ノ侮辱罪トナラサルノ理由アラシヤ面前ニ於テ爲シタル侮辱ヲ罰スルノ必要アリトセハ窓戶外ニ於テ爲シタル侮辱ヲ罰スルノ必要ナシトナサンヤ故ニ目前ノ文字ハ現在ノ意味ニ之ヲ解釋スヘシ若シ官吏現在セサルモハ第二項ノ制裁ヲ受ク若シ第二項ニ入ラサルモハ是レ本條ノ罪ヲ成サ、ル者ナリ官吏ノ現在ニ於テ之ヲ侮辱スルモハ本條ノ罪ヲ構成スト雖モ尙ホ他

ニ一ノ要件アリ公然ナルト即チ侮辱シタル場合ニ第三者ノ有ルヲ要スルト是ナリ是レ本條侮辱罪ノ性質ヨリ流出スル所ノ要件ニシテ大ニ注目スヘキ點ナリトス抑、侮辱誹毀ノ罪ハ榮譽威嚴ヲ傷害スル所ノモノニシテ榮譽威嚴トハ他人(第三者)ヨリ我ニ對シテ有スル毀譽ノ觀念褒貶ノ思想ノ度ヲ謂フ即チ他人ノ我ヲ待遇スル關係ニシテ我ヨリ我ニ對シ及ヒ第三者ヨリ我ニ對スル者ニ非ス故ニ今侮辱誹毀ヲ受ケテ名譽ヲ毀損セリト謂フ時ハ必ス其間ニ第三者ノ介スルアリテ侮辱誹毀カ其第三者ノ我ニ對スル待遇上ニ影響ヲ與フル時ナラサルヘカラズ若シ夫レ第三者ノ介入ナクノ侮辱者被侮辱者相對スルノミナルモハ是レ侮辱ナキナリ何トナレバ他人ノ我ニ對スル待遇上ニ關係ヲ生セシテ恰モ我ヨリ我ニ對シテ侮辱シタルト同一般ニシテ榮譽ヲ毀損シタリト謂フトチ得サルヲ以テナリ詳言スレハ誹毀侮辱トハ他人

ノ我ニ對シテ有スル觀念ノ度合ニシテ他人ノ我ニ對シテ有スル觀念ノ度合ハ是レ誹毀侮辱ノ元素ナリ故ニ本條ノ官吏ヲ侮辱シタル場合ニ於テ如何ニ妄言ヲ弄シ嘲笑ヲ試ムルモ此場所ニ第三者ノ在ルコナクハ榮譽ヲ毀損セリト謂フヲ得サルヲ以テ本條ノ罪ヲ成サ、ルナリ是レ實ニ法理上然ラサルヲ得サル所ノ者ナリ故ニ此第二條件中ニハ官吏ノ目前ノ外尙ホ公然侮辱シタリト謂フノ一條件ヲ包含セシメサルヘカラス佛文草案及ヒ日本文草案ニハ皆公然ノ文字アリタレトモ現刑法ハ之ヲ削除シタリ是レ或ハ疑義ヲ生スルノ種子ヲ蒔キタルニ非サルナキ歟

第三官吏ヲ侮辱シタルト 官吏トハ行政司法ノ別ナク又其大小ヲ問ハス皆之ヲ包含ス而シテ其官吏ト稱スル區域ハ曩ニ講述シ盡シタルヲ以テ今復タ此ニ贅セス

第四形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スルト 官吏ヲ侮辱スルキハ官ノ威嚴ヲ汚損シ官吏ノ名譽ヲ毀傷スルヲ以テ之ヲ罰スト雖モ其侮辱タル必ス形容若クハ言語ヲ以テ之ヲ爲シタルトヲ要ス形容ヲ以テ爲ストハ擊ツ真似ヲ爲シ蹴ル狀ヲ示ス等凡テ輕侮ノ意ヲ表彰スルトヲ謂フ言語ヲ以テ爲ストハ官吏ノ惡事醜行ヲ指摘シ又ハ罵詈ヲ爲ストヲ謂フ惡事醜行ヲ指摘スルトハ官吏ノ陰事秘密ヲ發クトニシテ罵詈トハ馬鹿ト云ヒ痴漢ト呼フカ如キ凡テ惡口嘲弄ノ言語ヲ謂フ若シ夫レ形容言語ヲ以テ爲スニ非スシテ他ノ方法即チ文書ヲ以テ爲シタルカ如キハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルトヲ得ス故ニ例ヘハ官吏ノ面前ニ於テ侮辱ノ言語ヲ書面ニ寫シ示スカ如キ又面前ニ非サルモ郵書ヲ贈リテ侮辱シタル時ノ如キハ本條ヲ適用スルトヲ得ス何トナレハ文書ハ形容言語以外ノモノナレハナリ斯クノ如キ場合ハ稀ニアリテ多クアラサ

ルヘシ若シ之レアリタル時ハ其侮辱ノ點ニ於テハ形容若クハ言語ヲ以テ爲シタルト何ソ擇ハン而ルニ本條之ヲ規定セサルハ欠典ナルカ將タ故意ニ記載セサル者ナルヤ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ストセハ他ニ適用スヘキ條項ナシ立法者ハ之ヲ罰セサルノ主旨ナル乎我刑法ノ本尊根源タル佛國刑法ニモ亦文書ヲ以テ侮辱シタル者ヲ規定セサリシ其之ヲ規定セサリシハ蓋シ意味アリ曾テ刑法ヲ編纂スルニ際シテ文書ヲ以テ侮辱シタル者ヲ罰スルノ條項ヲ設ケントスル一論者アリ曰ク形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スル者ハ官權ヲ蔑如シ威嚴ヲ汚損スル者ナレハ之ヲ罰スルノ必要アリト雖モ文書ヲ以テ侮辱スル者ノ如キハ私カニ爲ス所ノ者ニシテ現ハニ官權ヲ蔑如スル者ニ非ス且其所爲タル陋劣卑野ニシテ大人君子ノ齒牙ニ懸クルニ足ラス隨ヒテ官ノ尊嚴ヲ毀損スルニ足ラス斯クノ如キ所爲ハ之ヲ罰センヨリハ寧

ロ不問ニ置キテ此輩ヲシテ自ラ愧死セシムルノ勝ルニ若カサルナリト此論遂ニ勝利ヲ得テ文書ヲ以テ侮辱シタル者ハ之ヲ罰セサルトトナセリ蓋シ我刑法モ亦此論旨ニ基キテ文書ヲ以テ侮辱シタル者ハ之ヲ罰セサルトトセルナリ是レ或ハ高尚遠大ニシテ其尊嚴ヲ保ツトテ得シ然レモ亦他ノ一方ヨリ觀察スルキハ大ニ不可ナル者アルヲ奈何セン即チ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スル者ハ多クハ事ニ際シテ一時ノ感情ニ激セラレテ唐突ニ出ツル者ニシテ敢テ深意謀慮アルニ非ス之ニ反シテ文書ヲ以テ侮辱スル者ハ熟慮細思ノ後ニ非サレハ之ヲ爲サス熟慮細思ノ後之ヲ爲ス者ト輕忽唐突ニ之ヲ爲ス者ト其惡意ノ大小果シテ如何惡意ノ大ナル者ヲ罰セスシテ却テ其小ナル者ヲ罰スルハ豈不都合ノ法律ナラスヤ權衡其平ヲ得タリト謂フトテ得サルニ非スヤ是ニ於テ乎佛國ニ於テモ亦爾后刑法ヲ改正シテ之ヲ罰スルニ至

レリ我刑法ハ之ヲ罰スルヲ得サルヲ以テ實際屢々不都合ヲ感セリト云フ蓋シ改正ヲ要スルノ一ナルヘシ
 侮辱トハ不敬ト同シク汎博ノ意味ヲ有スル所ノ者ナレハ其果シテ侮辱ナルヤ否ヤハ事實裁判官ノ認定如何ニ在リ
 以上ニテ第一項ノ説明ヲ了リタリ尙此ニ注意スヘキ一事アリ佛文案及ヒ日本文草案ニハ公然侮辱云々直接ニ侮辱云々ノ文字アリタレトモ現刑法ハ之ヲ削除セリ是レ公然ナラス直接ナラサルモ之ヲ罰スルノ主趣ナルカ以上解明セル所ニ由リテ本條ノ罪ヲ構成スルニハ侮辱ノ性質トシテ必ス公然ナラサル可カラサルトハ諸君ノ既ニ了知セル所ナリ其直接ノ文字ヲ削除セルハ間接ニ侮辱シタル者ヲモ罰スルカ爲メナルカ直接ノ文字ヲ削除セリトテ草案ノ精神マテ變改セリト謂フヘカラス故ニ例ヘハ裁判官現在セサル場合ニ於テ甲乙ニ謂テ曰

ク某裁判官ハ不正ノ人ナリ曾テ某事件ヲ審判スルニ當リ賄賂ヲ收受シテ被告人ヲ曲庇セリト如此場合ハ間接ニ侮辱シタル者ニシテ本條ノ間フ所ニ非ス然レモ今例ヲ換ヘテ裁判官訟ヲ聽クニ當リ傍聽席ニ在リテ甲乙ニ大聲ヲ以テ右ニ舉ケタル言語ヲ發シタルハ是レ之ヲ罰セサルヲ得サルナリ何トナレハ是レ間接ノ侮辱ニ似タリト雖モ甲ノ大聲ヲ以テ乙ニ右ノ言語ヲ發シタルハ裁判官ノ耳朶ニ達セントテ欲シタルモノニシテ乙ニ頼リテ裁判官ヲ侮辱シタルモノナレハ是レ直接ニ裁判官ニ向テ侮辱シタルト一般ノミ豈之ヲ罰セサルヲ得ンヤ故ニ現刑法ニ於テハ直接ノ文字無シト雖モ其意ハ即チ直接ナルヲ要スルナリ

以上ニテ全ク第一項ヲ講了シタリ以下第二項ニ向テ歩武ヲ進メン
 第二項ノ罪ヲ構成スルニハ第一項ニ舉ケタル條件中第一第三ノ者ヲ

要スト雖モ其官吏ノ目前ニ於テスルヲ及ヒ形容若クハ言語ヲ以テスルヲハ本項ニ要スル條件ニ非ス之ニ代ヘテ他ニ一ノ要件アリ即チ刊行ノ文書圖畫公然ノ演説是ナリ請フ以下此一條件ニ就キテ講説セン」刊行云々刊行トハ活版石版等總テ剗刷上梓シタル者ヲ謂フ既ニ刊行ト曰フ乃チ筆寫シタル者ハ本項中ニ入ラス何故ニ刊行ノ文書圖畫ヲ以テシタル者ノミヲ罰セサルヤ曰ク刊行ハ一時ニ多數ノ文書圖畫ヲ得ルヲ以テ廣ク傳播シ易シ即チ公衆ノ耳目ニ觸ル、コト速ニシテ公然ノ性質ヲ有スル者ナリ之ニ反シテ筆寫ハ公衆ニ流布スルヲ難クシテ公然ノ性質ヲ有スルヲハ刊行物ト同一視スルヲ能ハス是レ獨リ刊行ノ文書圖畫ヲ以テ爲シタル者ノミヲ罰シテ筆寫ノ文書圖畫ヲ以テ爲シタル者ヲ罰セサル所以ナリ然レモ是レ其實ヲ失ヒ理ニ悖ル者ト謂ハサルヘカラス何トナ

レハ筆寫ト雖モ亦公衆ニ傳播スルヲナシト爲サス若シ多數ノ筆耕者ヲシテ之ヲ作ラシメンカ數百數千ノ文書圖畫ヲ得ルヲ敢テ難キニ非ス或ハ之ヲ公衆ニ頒布シ或ハ路頭ノ墻壁ニ貼附スルハ之ヲ公衆ノ耳目ニ映セシムルヲ刊行物ヲ以テスルト異ナルヲナシ立法者何ヲ以テ之ヲ傳播ノ性質ナキ者トセルヤ是レ本項ノ大ナル闕點ナリト乃チ如何ニ筆寫ヲ傳播シテ侮辱ヲ公然ニ爲スト雖モ政府ハ肩ヲ擧メ手ヲ撰シ犯者ハ法網ノ外ニ嘻笑スルノミ實ニ屢々實際ニ於テ此手段ヲ以テ巧ミニ法網ヲ脱スル者アリテ之レカ處分ニ苦ムト云フ左モ有リナン宜ク改正スヘキノ一點ナリ

蒞翦版等ヲ以テ摺リタル者ハ刊行ノ文書圖畫ト謂フヲ得ヘキヤ是等ハ剗刷ニ附シタル者ト謂フヲ得サルヲ以テ刊行中ニ包含セス是亦一ノ闕點ナリ蓋シ刑法編纂ノ當時立法者ノ思想ニ浮ハサリシ者ナ

次ニ公然ノ演説云々公然ニナスヲ必要ナリ若シ公然ナラサルハ本
 項ノ罪ヲ構成セス而シテ如何ナル場合ハ公然ナルヤ刑法中公然ノ文
 字處々ニ散見スト雖モ其意味各相異ナレリ公然猥褻ノ罪ハ第三者ナ
 キモ公然ノ場所ニ於テ之ヲ爲スルハ罪トナル本項ノ公然ハ公然ノ場
 所ナルト公然ニ非サル場所ナルトヲ問ハス事實上ノ公然ナルトヲ要
 ス即チ第三者ノ介在スルヲアルヲ要スルナリ故ニ二人相對スルノミ
 ナル時ハ是レ公然ニ非サルヲ以テ本項ノ罪ヲ構成セス但シ其公然タ
 ルト公然タラサルトハ人數ノ多少ニ干係セス或ハ多人數相會スト雖
 正公然タラサルトアルヘシ例ヘハ親戚朋友ノ集會シタル時ノ如キ是
 ナリ人數寡ナシト雖正尙ホ公然タルヘキ場合アルヘシ面識ナキ人ノ
 在リタル時ノ如キ是ナリ故ニ公然タルヤ公然タラサルヤハ事實裁判

官ノ認定如何ニアリ

以上ニテ本條ノ説明ハ講了セリ以下本條ニ關スル二三ノ問題ヲ決セ
 ン

第一ニ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演説ヲ以テ官吏ヲ侮辱シタル時ハ
 本項ノ罪ヲ構成ス若シ偶像ヲ作爲シテ以テ官吏ヲ侮辱シタル時ハ如
 何是レ形容言語刊行ノ文書圖畫公然ノ演説ニ非サルヲ以テ本條ヲ通
 用スルヲ得スシテ通常ノ誹毀罪ノ刑(第三百五十八條第二項)ヲ以テ
 之ヲ罰スヘシ人或ハ云ハシ官吏ヲ保護スルカ爲メニ特ニ本條ヲ設ケ
 タル以上ハ官吏ニ對スル罪ハ凡テ本條ヲ適用セサルヘカラス而シテ
 本條ニ規定セサル事件ハ是レ欠點ニシテ欠點ハ執法者ヲシテ之ヲ補
 足セシムルヲ許サス故ニ他ノ正條ヲ引テ之ヲ適用スルヲ得スト
 是レ大ニ誤レリ何トナレハ本條ハ特ニ官吏ヲ保護スルカ爲メニ設ケ

タリト雖モ官吏タルノ故ヲ以テ一私人ノ資格ヲ失フト謂フヘカラス
 官吏タルノ保護ヲ受クルヲ以テ一私人タルノ保護ヲ受クルノ權ヲ剝
 奪セラレタリト曰フヘカラサレハナリ抑、官吏ト雖モ亦吾人ト同シク
 一人民タルニ相違ナシ則チ一人民トシテ權利ヲ傷害セラル、場合ナ
 キニ非ス此場合ニ於テ假令本條ノ保護ヲ受ケサルモ通常ノ法條ニ從
 ヒ一私人タル權利ノ保護ヲ受クルヲ得スト謂フハ何ソヤ蓋シ官吏
 タルノ保護ヲ受クルハ定限アル權利ノ小部分ニ過キス而シテ日常遭
 遇スル所ノ事件ハ多クハ一私人タルノ資格ニ關スル者ナリ若シ論者
 ノ說ニ從ハンカ官吏ハ定限アル一小部分ノ權利ノ保護ヲ受クルノ故
 ナリ以テ固有ナル權利ノ大部分ノ保護ヲ受クルノ權ヲ失却スル者ト謂
 ハサルヘカラス豈背理ノ至リナラスヤ故ニ曰ク偶像ヲ作爲シテ以テ
 官吏ヲ侮辱シタル者ハ本條ヲ通用スルヲ得サルモ通常ノ誹毀罪ノ

刑(第三百五十八條第二項)ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラスト但シ告訴ヲ
 俟テ之ヲ論スルコトハ辯ヲ須井ス(第三百六十一條)

第二ニ惡事醜行ヲ摘發シテ以テ官吏ヲ侮辱シタル時ハ本條ノ罪ヲ成
 ス而シテ之ヲ罰スルニハ其事實ノ有無ヲ問ハサル乎例ヘハ裁判官ニ
 向テ是下ハ賄賂ヲ收受セリト侮辱シタル者ハ其賄賂收受ハ事實眞ナ
 ルモ裁判官ハ賄賂收受罪ニ依リテ處刑セラレ、モ尙ホ之ヲ罰スルヤ
 此問題ニ付テハ二說アリ左ノ如シ

第一說 事實ノ有無ヲ問ハス之ヲ罰ス夫レ官吏ハ官憲ノ代表者ナリ
 官吏ヲ侮辱スル者ハ即チ官憲ヲ蔑如スル者ナリ官憲ヲ蔑如スル者豈
 其事實ノ有無ヲ問フヲ要センヤ官憲ヲ蔑如スル事ト侮辱事實ノ有無
 トハ全ク別箇ノモノナリ是ヲ以テ官吏ヲ侮辱シタル者ハ其事實ノ有
 無ヲ問ハス之ヲ罰スヘシ況ンヤ官吏ノ不正ヲ鳴ラサント欲セハ告訴

告發ノ手續アリ法律許ス所ノ至明ノ道アリ是レ之ニ依ラスシテ卑劣ニモ私ニ公衆ニ其惡事ヲ表白スルニ於テ乎抑、人ハ他人ノ惡事ヲ摘發スルノ權ナシ他人ノ惡事ヲ摘發スルカ如キハ背德卑劣ノ所爲ニシテ大人君子ノ爲スチ屑シトセサル所ナリ背德ノ所業ヲナシテ自ラ甘ンスル卑劣ノ徒豈之ヲ罰セサル可ケンヤ

第二說 事實ノ有無ヲ問フトチ要ス事若シ眞ナラハ之ヲ罰スルトチ得ス夫レ官吏ハ吾人臣民ノ權利ノ保護者ナリ公益ノ代表者ナリ官吏ノ一言一行ハ吾人ノ利害ニ關ス吾人ハ其惡事ヲ默視スルトチ得ス其不正ノ所爲ニ服從スルノ義務ナシ故ニ官吏ニシテ惡事醜行アリタル時ハ正ニ是レ吾人ノ權利ヲ侵害シ吾人ノ信用ニ背キタル者ナリ吾人ハ之ヲ告訴告發スルハ勿論其事實ヲ公然世上ニ表白スル亦何ノ妨ケアラシ其所爲或ハ卑劣野陋ニ涉ルノ譏ヲ免カレサルカ如シト雖モ之

ヲ以テ刑法上ノ責任ナリト謂フヘカラス論者ハ官吏ニ官憲ノ代表者ナリト曰フト雖モ官憲ニ不正ノ所爲ナシ官吏ノ不正ノ所爲豈官憲ノ代表ナランヤ是ヲ以テ惡事醜行ヲ摘發シテ以テ官吏ヲ侮辱シタル者ハ必ス其事實ノ有無ヲ問フヘシ而シテ事若シ眞ナラハ之ヲ罰スルトチ得ス

右第一說ハ我刑法ノ採用シタル所ノ主義ナリ佛文章按及ヒ日本文草按ハ共ニ事ノ眞正ナラサル時ニ非サレハ之ヲ罰セサリシ曰ク事實ヲ証明スルト能ハサル時ハ何々ニ處スト現刑法ハ之ヲ削除セリ是レ正ニ第一說ニ從ヒテ事實ノ有無ヲ問ハス之ヲ罰スルノ趣旨ナリ然レモ予ハ第一說ヲ排斥セン第二說ハ我刑法ノ採用セサルニモ拘ハラズ予ハ之ヲ贊成セン夫レ官吏ハ吾人ノ權利ノ保護者ニシテ社會公益ノ維持者ナリ官吏ニシテ若シ不正ノ所爲アラハ吾人豈之ヲ駭撃スルト能

ハサルノ理アラシク宜シク其罪ヲ鳴ラシ天誅ヲ加フヘシ固ヨリ告訴
 告發ノ道アリト雖モ然レモ其事ニシテ眞ナラハ之ヲ公衆ニ表白スル
 亦何ノ不可アラシク且事實ノ有無ヲ問ハストナス時ハ奇怪ノ結果ヲ
 見ル即チ裁判官賄賂ヲ収受セリト誹毀セラレタル場合ニ於テハ其事
 果ノ眞ナラシカ裁判所ハ僥倖ヲ得ヘシ何トナレハ犯者ハ事實ノ有無
 ヲ問ハスシテ罰セラレ、ヲ以テ其事實ハ曖昧ノ中ニ埋没セラレテ不
 正ノ所爲世ニ表現スルコトナク却テ世人ヲ其事實ノ虚ナルヲ疑ハシ
 ム可ケレハナリ之ニ反シテ其事果シテ虚ナラシカ裁判官ハ不幸ヲ感
 スヘシ何トナレハ其事實ノ眞僞ヲ証明シテ己レノ潔白ヲ表示スルニ
 由ナク却テ世人ヲシテ其事實ノ眞ナルヲ疑ハシムルニ至レハナリ是
 レ不正ノ官吏ニ僥倖ニシテ正直ノ官吏ニ不幸ヲ與フル者ニ非スヤ是
 ニ由リテ之ヲ觀レハ事實ノ有無ヲ論スルコト彼此ノ便益アリ加之事實

ノ審明ヨリ犯罪ヲ容易ニ知ルコトヲ得テ公益上大利益アリト是レ予
 ノ第二説ヲ通正ナリトシテ賛成スル所以ニシテ近時ニ至リテ大ニ其
 勢力ヲ加フルヲ見ル夫ノ明治二十年十二月發布ノ出版條例新聞紙條
 例ニ於テ私行ニ渉ル者ヲ除ク外事實ノ有無ニ因テ罪ノ有無ヲ斷定シ
 マルハ第二説ノ趣旨ニ據リタル者ナラン
 茲ニ第三百三十九條ニ遡テ一ノ疑問アリ即チ官吏不規則ノ執行ヲ爲サ
 ントスルニ當リ之レニ抗拒シタル者ハ第三百三十九條ヲ以テ之ヲ罰ス
 ルカ將テ正當防衛トナスヘキ歟例ヘハ巡查不規則ノ令狀ヲ以テ人ヲ
 逮捕セントスルニ當リ之ニ抗拒シタル者ハ其處分如何此問題タル佛
 國刑法ニ於テモ一個ノ難問ニシテ學者各其説ヲ異ニシ裁判所モ亦一定
 ノ説ナクシテ往々抵觸ノ裁判アリ乃チ大ニ之カ決定ニ苦マサルヲ得
 サルナリ今佛國ニ行ハル、説ヲ舉示センニ三説アリ左ノ如シ

スル不正ノ暴行ナリ人民豈此暴行ニ對シテハ正當ニ防衛ノ道ヲ爲サ
 ルコトヲ得ンヤ若シ人民ハ此不正ノ執行ニモ尙ホ默從セサルヘカ
 ラストセハ人民ハ政府ニ生命財産權利ノ保護ヲ委託シテ却テ殘害ニ
 遇フ者ナリ天下豈斯クノ如キノ理アラシヤ又若シ其不正ノ執行ニ抗
 拒スルヲ得ストセハ人民ノ正當防衛權ハ政府ノ威力ノ爲メニ地ヲ拂
 テ消散ス可シ則チ是レ野蠻殘酷ノ社會ナリト謂ハサルヘカラス故ニ
 不規則ノ執行ニ對シテ抗拒シタル者ハ無罪ナリ云々

第三說 學者ハ第一說第二說ヲ折衷シテ中庸ヲ採レリ曰ク第一說ノ
 官吏ノ所爲ヲ凡テ正當ノ者ト推測シ頑乎トシテ之ニ抗拒スルヲ許サ
 ス若シ之ヲ許スキハ社會ノ秩序紊亂スルニ至ルト曰フハ不當ナリ何
 トナレハ官吏ノ所爲ト雖モ悉ク正當適法ニ罪モナク過失モナシト
 謂フヲ得ス不正ノ官吏不正ノ所爲アルハ往々免カレサル所ナレハ

ナリ則チ官吏ノ所爲ハ凡テ正當ナリト推測スルハ誤レリ而シテ人民ハ
 此不正不當罪ノ現然タル者ニ對メ抗拒シ得サルノ理由アラシヤ人民
 ノ此正當ノ防禦ヲ許シテ不正ノ官吏ヲ保護セサレハトテ社會ノ秩序
 安寧ヲ維持スル能ハサルノ理由アラシヤ加之若シ第一說ノ如クナラ
 シニハ是レ法律自ラ犯罪ヲ認許スル者ト謂ハサルヘカラス例ヘハ巡
 査令狀ヲ携帶セシテ人ヲ逮捕スルキハ刑法ノ罪(佛國刑法第百十四
 條)ヲ成ス然ルニ之ヲ正當ノ所爲ト見做シ之ヲ防禦スルヲ許サ、ル
 ハ是レ法律自ラ犯罪ヲ遂ケシムルニ非スシテ何ソヤ故ニ第一說ハ不
 當ナリ然レトモ第二說ノ如ク官吏ノ不規則ナル執行ニ對シ人民ハ悉
 ク之ニ抵抗スルヲ得ト爲スモ亦不可ナリ例ヘハ巡査令狀ヲ携帶シ
 テ犯罪人ヲ捕縛セントスルニ當リ其令狀偶々規則ニ背キタル點アリタ
 リトテ之ニ抗拒スルヲ許シ正當ノ防禦ナリト爲スニ於テハ其危險

第一説 大審院ノ説ニ曰ク官吏規則ヲ遵守セスシテ不適法ノ執行ヲ爲スト雖モ職務上爲ス所ノ者ハ法律上豫メ之ヲ正當ノ所爲ト見做サルヘカラス反對ノ舉證アル迄ハ適法ノ所爲ト推測セサルヘカラス已ニ之ヲ正當適法ト推測スル以上ハ人民ハ之ニ服從セサルヘカラス之ニ對シテ暴行脅迫ヲ以テ抗拒スルハ是レ正當ノ執行ニ對シテ抗拒スル者ナリ豈抗拒罪ヲ成サ、ルヲ得ンヤ若シ然ラズンハ何ソ以テ官吏保護ノ實ヲ舉クルヲ得ン且夫レ不規則ノ執行ニ對シ抗拒スルヲ許スハ是レ人民ニ其執行ノ正不正ヲ判決スルノ權力ヲ與フル者ニシテ何ヲ以テ社會ノ秩序ヲ維持スルヲ得ン其正不正ヲ判決スルハ獨リ裁判官ノ權力ニシテ決シテ之ヲ人民ニ許スヘカラサル者ナリ人民ハ惟リ裁判所ニ其不正ヲ申立テ其執行ノ取消ヲ請求シ損害賠償ヲ受クルノ權アルニ過キス故ニ官吏ノ執行ニ對シ抗拒シタル者ハ其

執行ノ適法不適法ヲ問ハス皆有罪ヲ以テ之ヲ論ス云々

第二説 控訴院ノ説ニ曰ク官吏不規則ノ執行ヲナスニ當リ之ニ對シテ暴行脅迫ヲ以テ抗拒スルモ罪トナラス何トナレハ暴行脅迫ノ罪トナルハ他人ノ權利ヲ侵セハナリ若シ他人ノ權利ヲ侵スニ非スシテ我身ノ防禦ノ爲メ我權ノ使行ノ爲メナル時ハ暴行脅迫モ正當ノ所爲ニシテ毫モ咎ムヘキ者ニ非ス今官吏不規則ノ執行ヲ爲スニ當リ之ニ對シテ暴行脅迫ヲ加ヘタルハ正ニ是レ我身ノ防禦ノ爲メ我權ノ使行ノ爲メニシテ正當防禦ノ所爲ナリ抑官吏ハ人民ヲ支配スルノ權力アリ故ニ隨ヒテ人民ハ之ニ服從スルノ義務アリ然ルニ官吏自ラ法律規則ヲ遵守セス若クハ越權ノ處分ヲ爲スカ如キハ是レ官吏其人カ犯罪人ナルヘキ者ニシテ人民ヲ支配スルノ官吏ト謂フ可ケンヤ其所爲タル實ニ官吏ノ資格ヲ離レタル一個人ノ所爲ナリ人民ノ權利ヲ侵害

スル不正ノ暴行ナリ人民豈此暴行ニ對シテハ正當ニ防衛ノ道ヲ爲サ
 ハルコトヲ得ンヤ若シ人民ハ此不正ノ執行ニモ尙ホ默從セサルヘカ
 ラストセハ人民ハ政府ニ生命財產權利ノ保護ヲ委託シテ却テ殘害ニ
 遇フ者ナリ天下豈斯クノ如キノ理アラシヤ又若シ其不正ノ執行ニ抗
 拒スルヲ得ストセハ人民ノ正當防衛權ハ政府ノ威力ノ爲メニ地ヲ拂
 テ消散ス可シ則チ是レ野蠻殘酷ノ社會ナリト謂ハサルヘカラス故ニ
 不規則ノ執行ニ對シテ抗拒シタル者ハ無罪ナリ云々

第三說 學者ハ第一說第二說ヲ折衷シテ中庸ヲ探レリ曰ク第一說ノ
 官吏ノ所爲ヲ凡テ正當ノ者ト推測シ頑乎トシテ之ニ抗拒スルヲ許サ
 ス若シ之ヲ許スルハ社會ノ秩序紊乱スルニ至ルト曰フハ不當ナリ何
 トナレハ官吏ノ所爲ト雖モ悉ク正當適法ニ罪モナク過失モナシト
 謂フヲ得ス不正ノ官吏不正ノ所爲アルハ往々免カレサル所ナレハ

ナリ則チ官吏ノ所爲ハ凡テ正當ナリト推測スルハ誤レリ而シテ人民ハ
 此不正不當罪ノ現然タル者ニ對メ抗拒シ得サルノ理由アラシヤ人民
 ノ此正當ノ防禦ヲ許シテ不正ノ官吏ヲ保護セサレハトテ社會ノ秩序
 安寧ヲ維持スル能ハサルノ理由アラシヤ加之若シ第一說ノ如クナラ
 シニハ是レ法律自ラ犯罪ヲ認許スル者ト謂ハサルヘカラス例ヘハ巡
 査令狀ヲ携帶セシテ人ヲ逮捕スルキハ刑法ノ罪(佛國刑法第百十四
 條)ヲ成ス然ルニ之ヲ正當ノ所爲ト見做シ之ヲ防禦スルヲ許サハル
 ハ是レ法律自ラ犯罪ヲ遂ケシムルニ非スシテ何ソヤ故ニ第一說ハ不
 當ナリ然レトモ第二說ノ如ク官吏ノ不規則ナル執行ニ對シ人民ハ悉
 ク之ニ抵抗スルヲ得ト爲スモ亦不可ナリ例ヘハ巡査令狀ヲ携帶シ
 テ犯罪人ヲ捕縛セントスルニ當リ其令狀偶々規則ニ背キタル點アリタ
 リトテ之ニ抗拒スルヲ許シ正當ノ防禦ナリト爲スニ於テハ其危險

少ナキニ非ス何トナレハ長官ノ命令ヲ奉シ正當ニ職務ヲ執行スル罪モ過失モナキ巡查ニ迷惑ヲ蒙ムラシムレハナリ若シ此ノ如クナランニハ官吏保護ノ實擧カラスシテ社會ノ秩序安寧得テ期スヘケンヤ兩說何レモ一局ニ偏シテ未ダ中庸ヲ得タリト爲サス若シ法律ノ眞意ヲ達セント欲セハ左ノ如クナラサルヘカラス即チ官吏ノ所爲越權ニ涉ル時ト稍成規ニ闕ケタル點アルモ之ヲ越權ト謂フ能ハサル場合トナ區別シテ越權ニ涉ル時ハ是レ不正ノ明了ニシテ罪ノ現然タル者ナレハ人民ハ之ニ服從スルノ義務ナキヲ以テ之ニ對シテ抵抗スルモ是レ正當ノ防衛ニシテ罪ヲ以テ論スヘカラス例ヘハ逮捕官吏ニ非スシテ人ヲ逮捕スルカ如キ若クハ逮捕官吏タルモ令狀ヲ攜帶セスシテ人ヲ逮捕セントスルカ如キ、法律特許ノ場合ノ外夜中人家ニ入りテ人ヲ逮捕セントスルカ如キ、財産差押官吏裁判宣告書ヲ攜帶セスシテ差押ヲ

爲サントスルカ如キ場合ニ抗拒シタルハ是ナリ之ニ反シテ稍成規ニ欠ケタル點アルモ之ヲ越權ト謂フ能ハサル場合ニ於テハ之ニ抗拒スルヲ許サス何トナレハ是レ此不正ハ疑フヘク怒スヘキ者ニシテ且之ニ對シテ抗拒スル者ノ如キハ執行ノ不規則ヲ口實トシテ暴行ヲ逞フセントスル剛愎偏執ノ徒ニシテ正ニ官憲ヲ蔑如スル者ナレハ法律ハ看ス々々之ヲ不問ニ置クヲ得サルヲ以テナリ乃チ官吏ニ其執行ノ權ヲ證明シ得ル公正ノ書類ヲ攜帶スルニ於テハ其書類ハ稍成規ニ通セサル所アルモ之ニ對シテ抗拒スルヲ許サス其官吏ハ長官ノ命令ヲ奉シテ正當ニ職務ヲ行フ所ノ者ナルニ因リ之ヲ保護セサルヘカラサルナリ云々

諸君ヨ官吏自カラ法律ヲ遵守セス不規則ノ執行ヲ爲スニ當リ之ニ對シテ抗拒シタル者ノ處分ニ付キ佛國ニ於テハ右ニ掲ケタル三說アリ

テ就中第三説ハ近時學者ノ皆唱道スル所ニシテ大ニ勢力アルカ如シ
 本邦ニ於テハ未ダ右ノ問題ヲ實際ニ生セシテ聞カス若シ斯クノ如
 キ場合ニ遭遇セハ右第三説ノ主趣ニ從ヒテ之ヲ決定スルニ於テハ予
 ハ我法律ノ真意ヲ誤ラサランヲ信ス、此説ヲ駁スル者アリ曰ク令狀
 ナリ携帯セハ規則ニ迪セサルモ之ヲ正當ノ者ト見做ストセハ繪草紙ノ
 如キ者ニ記シタル者モ亦之ヲ正當ナリトシテ之ニ抗拒スルヲ得サ
 ルヤト是レ固ヨリ取ルニ足ラサル極端論ナレトモ一時勢力ヲ有シマ
 リキ然レモ固ト是レ至愚ノ説ニシテ決シテ成立スルヲ得ル者ニ非
 ス何トナレハ斯クノ如キ者ハ假令命令ヲ記シタルモ令狀タルノ性質
 ナ有スルヲ能ハサル所ノ者ニシテ決シテ令狀ト名ケ得ヘカラサルヲ
 ハ明了ナレハナリ但シ令狀ト認メ得ルヤ否ヤノ決定ハ事實裁判官ノ
 認定如何ニ在リトス

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

本節ノ表題ニ囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪トアレモ本節中規
 定スル所ノ者ハ獨リ此二罪ニ止マラスシテ他ニ囚徒ヲ逃走セシムル
 ノ罪及ヒ犯罪ノ證據ヲ隠蔽スルノ罪アリトス

第四百二十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下
 ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者
 ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

已決ノ囚徒逃走シタル者ハ云々ト云フヲ以テ監守又ハ獄丁カ獄舎ノ
 閉鎖ヲ遺忘シテ戸扉ノ開ケル時ニ當リ逃走シタル者モ尙ホ之ヲ罰セ
 サルヘカラス是レ甚ダ嚴ニ過キテ立法上非難スヘキモノナリ蓋シ囚
 徒ハ身鐵窓ノ中ニ拘束セラレテ毫モ自由ヲ得ヌ日夜幽愁ニ呻吟シテ

恰モ翼ヲ斷タレタル鳥ノ如シ其自由ヲ希望シテ已マサルハ人情ノ然ラシムル所其戸扉ノ開ケル時逃走スルカ如キハ亦已ムヲ得サルナリ而ルニ尙ホ是ヲシモ罰セントスルハ是レ人ニ責ムルニ忍フ可カラサル所ノ者ヲ以テ之ヲ忍フ可シト曰フ者ナリ今餓者ノ前ニ食ヲ置キ而シテ食ヘハ則チ罰スト曰ハ、誰カ之ヲ不當ト爲サ、ル者アラシヤ戸扉ノ開ケルニ因リテ逃走シタル囚徒ヲ罰スルハ何ソ之ニ異ナランヤ其不當ノ法律ナルヲ知ル可シ論者曰ク右例ノ如キ者ヲモ尙ホ之ヲ罰スル所以ハ現時我邦ノ獄舍ハ甚々不完全ニシテ容易ニ逃走シ得ルノ恐レアルニ因リ刑法ノ制裁ヲ以テ之ヲ豫防センカ爲メナリト噫是レ何ノ言ヒソヤ果シテ斯説ノ如クナラハ是レ己レノ非ヲ掩ハント欲シテ人ヲ呵責スル者ナリ一方ニ於テ逃走ヲ許シテ一方ニ於テ之ヲ罰スル者ナリ何ソ野蠻殘酷ノ法律ナルヤ刑法草案按ニ於テハ獄舍獄具又ハ

護送器具ヲ破壊シテ逃走シタル者ニアラサレハ之ヲ罰セザリシカ現刑法ハ之ヲ改正シテ右ノ如キ者ヲモ之ヲ罰スルニ至リタルハ予其何ノ故ナルヲ知ラス論者ノ所言或ハ立法者ノ主趣ニ適スル歟
第二項ハ獄舍獄具ヲ破壊シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ逃走シタル者ヲ罰スルモノナレハ至當ニシテ別ニ論スヘキ者ナシ
無期徒刑ノ囚徒逃走シタル場合ニ於テ本條ヲ適用スルモ實際之レカ執行ヲ爲ストヲ得サルヘシ然レモ裁判所ハ本條ニ依リ其逃走罪ヲ宣告セサルヘカラス而シテ此場合ハ監獄則ニ於テモ一ノ刑ヲ規定セルニ因リ一罪ニ二刑ヲ科スルニ至レモ是レ本條ノ不完全ナルヨリ生スル所ノ已ムヲ得サルノ結果ナリ草案ニハ此場合ハ監獄則ニ依テ處分スルヲ明記シタルヲ以テ毫モ此憂ナカリキ

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ

論セス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

再犯ヲ以テ論セストハ如何ナル意味ナルヤ已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯
スモ之ヲ再犯ト爲サスト云フノ意ナルヤ曰ク否ナ再犯ノ故ヲ以テ刑
ヲ加重セスト云フノ意ナリ何トナレハ已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯ス
ハ逃走罪ノ外囚徒トナリタル罪ノ確定裁判アリタルト勿論ニシテ一
罪ヲ犯シタル後逃走罪ヲ犯シタル者ナレハ逃走罪ハ再犯ニハ相違ナ
ケレハナリ若シ之ヲ再犯ト爲サスト云フノ意ナリトスル時ハ初犯ヲ
以テ論セサルヘカラス初犯ヲ以テ論スルキハ數罪俱發ノ例ニ從ハサ
ルヘカラス斯クノ如クナルキハ已決ノ囚徒逃走罪ヲ犯スモ或ハ其刑
ヲ科スルト得サル場合アルニ至ラン何トナレハ數罪俱發ハ重キ一
罪ニノミ刑ヲ科シテ輕キ罪ハ之ヲ論セサルヲ以テ若シ原犯ニシテ重
ク逃走罪ニシテ輕キハ之ヲ罰スルト得サルヲ以テナリ故ニ再犯

ヲ以テ論セストハ再犯ト爲サスト云フノ意ニ非スシテ再犯ヲ以テ論
スルト勿論ナレトモ惟再犯ノ故ヲ以テ刑ヲ加重セスト云フノ精神ナリ
ト解ス可シ但シ大ニ語弊アリト謂フ可シ

既ニ再犯ニハ相違ナシ何故ニ再犯加重ノ例ニ從ハサルヤ曰ク已決ノ
囚徒逃走スルハ獄舎ノ苦ヲ免カレント欲シテナリ若シ獄舎ニ在ル
トナクンハ逃走罪ノ生出スヘキトナシ而シテ獄舎ニ在ルハ已ニ犯シ
タル罪アルヲ以テナリ原犯ノ已ニ確定裁判アリタル者アルヲ以テナ
リ然ラハ即チ原犯ハ是レ逃走罪構成ノ元素ナリ若シ之ヲ再犯トシテ
加重スル者トナスキハ一方ニ於テハ元素ヲ罰シ一方ニ於テハ結果ヲ
罰シ到底一罪ニシテ二刑アリト謂ハサルヘカラス是レ再犯ノ故ヲ以
テ刑ヲ加重スルト得サル所以ナリ且囚徒ノ逃走スルハ大ニ怒スヘ
キモノアリ夫レ自由ヲ希望スルハ人情ノ至誠ナリ囚徒ハ罪ヲ犯シタ

ルノ結果ナリトハ云へ身鐵窓ノ中ニ拘束セラレテ幽愁無聊既ニ非常ノ位置ニ在リ此非常ノ位置ヲ脱シテ自由界ニ出テントスルハ人情至誠ノ發スル所亦嚴ニ責ムヘカラサル者アリ是レ亦再犯ノ故ヲ以テ刑ヲ加重セサルノ一原因ナラン歟

其刑期限内再ヒ逃走シタルハ再犯ヲ以テ之ヲ論ス何トナレハ刑期限内再ヒ逃走スル者ハ是レ逃走罪ヲ二度犯ス者ニシテ原犯ニ對スルハ再犯マラサルモ第一ノ逃走罪ニ對シテ再犯ニシテ其官憲ヲ蔑如スルト甚ク加重ノ情狀アル者ナレハナリ是レ固ヨリ至當ノトナリトス然レモ之ヲ刑期限内ニ限リタルハ不都合ナキニ非ス蓋シ刑期限内ト云フヲ以テ刑期外ノ罪ニ係ル者ハ再犯ヲ以テ之ヲ論スルトテ得ス然レモ逃走罪ハ再犯ヲ以テ之ヲ論セサルハ元來囚徒トナリタル原犯ニ對シテナリ然ラハ則チ其原犯以外ノ罪ニ對シテハ再犯マラサルヲ得

可カラサルハ道理上然ラシムル所ナリ(刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ之ヲ論スルヲ見ルモ再犯ヲ以テ論セサルハ獨リ原犯ニ對スルノミニシテ原犯以外ノ罪ニ對シテハ再犯ヲ以テ之ヲ論スルノ意ナルトテ知ルトテ得ヘシ)故ニ例ヘハ最初竊盜犯ニ因リ既ニ處罰シ了リタル者後復々詐欺取財罪ニ因リ囚徒トナレリ而シテ逃走ヲ爲シタルハ逃走罪ハ詐欺取財罪ニ對シテハ再犯マラサルモ竊盜罪ニ對シテハ再犯マラサルヲ得サルナリ然ルニ本條ニハ單ニ刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ之ヲ論スルトノミヲ掲ケテ右ノ場合ハ再犯ヲ以テ之ヲ論スルトテ掲ケサルハ立法者ノ旨意再犯ヲ以テ之ヲ論セサルニアルカ將ク闕點ナルカ兎ニ角再犯ヲ以テ之ヲ論スルトテ得サルナリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ本條ハ其實ヲ盡スト能ハスシテ理論ノ半部ヲ寫シ出シタル者ナリトス

第四百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百四十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

未決ノ囚徒トハ未タ裁判ヲ受ケサル囚徒又裁判ヲ受クルモ確定裁判ニ至ラサル囚徒ヲ謂フ入監中逃走シタル者云々ト云フヲ以テ若シ入監中ニアラサル時例ヘハ巡查ニ捕ヘラレ監獄署ニ到ルノ途次逃走シタル者ノ如キハ本條ノ制裁ヲ受ケス又入監中トハ正當ノ監倉ニ在ルヲニシテ警視廳ノ留置場ニ在ル如キハ之ヲ入監中ト謂フヲ得ス然レモ實際監倉中ニ在ラサル時例ヘハ裁判所ノ呼出ヲ受ケ監倉ヲ出テ、裁判所ニ至ルノ途次逃走シタルカ如キ場合ハ本條ノ所謂入監中ナリ何トナレハ監倉中ニ居ルヘキ身分ノモノナレハナリ

未決ノ囚徒未タ必スシモ有罪者ナラス或ハ無罪者モアラシテ無罪者モ

亦入監中逃走スルキハ逃走罪ヲ以テ罰セラル、ハ何ノ理由ナルヤ曰ク國民ハ裁判所ノ命ヲ奉スルノ義務アリ良民モ時ニ或ハ犯罪ノ嫌疑ヲ受クル場合ナキニ非ス已ニ嫌疑ヲ受ケテ正當ノ手續上入監ヲ命セラレタル以上ハ必ス其命ヲ奉セサルヘカラス若シ無罪者ナリトテ之ニ抗拒シ逃走スルヲ許スキハ何ニ依テ社會ノ公安ヲ維持スルヲ得ンヤ公益ノ爲メニハ私權ヲ犠牲トセサルヘカラストハ蓋シ是之ヲ謂ナリ是レ無罪者ト雖モ入監中逃走スル時ハ逃走罪ヲ成ス所以ナリ

本條但書ハ不妥當ノ語句ナリ何トナレハ本條ノ未決囚徒ハ有罪者ヲ想像シタルナルヘシト雖モ未決囚徒必スシモ有罪者ナラス無罪者ナルトキハ數罪俱發ヲ以テ論スルヲ得ス惟逃走罪一アルノミ已ニ有罪者ニ付テ數罪俱發ヲ以テ論スルノ規定ヲ要スル以上ハ無罪者ニ付テハ數罪俱發ヲ以テ論セサルヲ規定スルノ必要アレハナリ故ニ

原犯ノ罪ヲ判決スルニ當テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷スルハ原犯罪
アル場合ノミニシテ若シ原犯無罪ナルキハ逃走罪一アルノミ
茲ニ一問題アリ例ヘハ不法ニ人ヲ逮捕シテ監倉中ニ入レタル場合ニ
於テ獄舎ヲ破リ逃走シタルキハ如何是レ正當防禦ノ所以タルヲ以テ
之ヲ罰スルヲ得ス例ヘハ巡查令狀ヲ携帶セスシテ人ヲ逮捕監禁シ
タル場合ニ逃走シタルカ如キ是ナリ

第四百四十五條 囚人二人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百
十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

本條ハ説明ヲ要セス

第四百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給
與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ
重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚テ囚徒

ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

前條迄ハ囚徒逃走ノ罪ニシテ本條以下ハ他人ノ囚徒ヲシテ逃走セシ
メタル者ヲ罰スルノ規定ナリ

本條ノ罪ハ元來囚徒逃走罪ノ豫備ノ所爲ナリ豫備ノ點ヨリ之ヲ觀ル
キハ罰スルヲ得ス是レ總則第一百一條ノ規定ナリ然レモ其所爲タ
ル一種特別ノ性質ヲ帶有シテ危險ノ巨大ナルモノアルヲ以テ立法者
ハ別ニ一罪トシテ之ヲ罰シタリ又他ノ一方ヨリ觀ルキハ本條ノ罪ハ
囚徒逃走罪ノ共犯ナリ從犯ノ位置ニ在ル者ナリ正ニ總則第九條ニ
該當スル者ナリ斯ク其性質從犯タルモノナレモ立法者ハ之ヲ從犯ノ
例外トナシ一種ノ正犯トシテ罰シタリ其故何ソヤ總則從犯ノ例ニ從
フキハ其刑ハ正犯即チ囚徒逃走罪ノ刑ヨリ輕カラサルヲ得ス囚徒逃
走罪ハ元來犯者ノ情實大ニ恕スヘキモノアルヲ以テ其刑甚タ輕シ此

輕キ刑ヨリ更ニ一等ヲ減セサルヘカラス然ルニ他ヨリ幫助シテ逃走セシメタル者ノ如キハ其刑ヲ重クスルノ必要アルモ決シテ輕クスヘキノ理由ナシ若シ之ヲ輕クスルハ罪刑其權衡ヲ失フニ至ル是レ本條ノ罪ヲ以テ一ノ正犯トシテ罰スル所以ナリ併シ豫備ノ所爲ヲ正犯トシテ罰スルハ本條ノ場合ノミ若シ囚徒ノ他ノ重輕罪ヲ犯スニ當リ兇器其他ノ器具ヲ給シタル者ノ如キハ總則ノ從犯ノ例ニ從フ

第四百十七條

囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走

ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

本條ハ囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ノ手段ヲ以テ逃走セシメタル者ナレハ其危害前條ニ比シテ更ニ大ナリトス故ニ其刑重キヲ致シタリ別

ニ説明スヘキ要點ナシ

第四百十八條

囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシ

メタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

本條ハ看守者又ハ護送者ノ囚徒ヲ逃走セシメタル者ヲ罰スルノ規定ニシテ此等ノ者タル看守シ又ハ護送スルノ職務アルモノナレハ特別ニ注意スヘキノ職務アリ然ルニ其義務ニ背キテ逃走セシムル者ノ如キハ常人ノ刑ニ比シテ一層重カラサルヲ得サルナリ之ヲ本條ノ規定ト爲ス

本條ハ單ニ囚徒ヲ逃走セシメタル場合ノミヲ掲ケテ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル場合ヲ規定セス故ニ斯クノ如キ場合ハ常人ト同シク第四百十六條第一段ノ刑アルノミ而シテ同條第二段ノ場合即チ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ本條ニ依ル是レ本條ノ

不都合ナル點ナリ

第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ

遂ケサル者ハ未遂犯ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ説明ヲ要セス

第五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラ

サル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十

圓以下ノ罰金ニ處ス

懈怠ニ因リ云々故ニ懈怠ナキハ本條ノ罪ヲ成サヌ夫レ看守者又ハ護送者ハ囚徒ヲ警護スヘキ職務ナルニヨリ常ニ注意警戒スヘキモノナルニ其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル者ノ如キハ之ヲ罰セサルヘカラスト雖モ其懈怠ナキニ於テハ是レ人力ノ及ハサル所ノモノナ

レハ之ヲ罰スルヲ得サルナリ

本條ハ無意犯ナルニヨリ囚徒逃走ノ事實アル時ハ直ニ看守者護送者ニ懈怠アル者ト見做サ、ルヲ以テ其懈怠ナキニ於テハ看守者護送者ヨリ之ヲ證明セサルヘカラスト第四百十八條ハ有意犯ナルニ因リ其罪ヲ證明スルハ檢察官ナリ本條ノ罪ハ天災、不可抗力ヲ證スルハ看守者護送者ナリ

第五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタ

ル者ナルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ十

一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

本條ハ囚徒逃走罪ニ關シタル者ニアラスシテ犯罪人ヲ藏匿シ若クハ

隠避セシメタル者ヲ罰スルノ條ナリ故ニ本條ハ前數條トハ大ニ其性質ヲ異ニスル所ノモノナリ

本條ニ犯罪人云々ト有リ此犯罪人ノ文字ハ甚ク不妥當ナリ何トナレハ犯罪人トハ確定裁判ヲ經テ有罪ト認定セラレタル後ニ非サレハ下スト能ハサルノ稱呼ナリトス然レハ今茲ニ刑法上罪ヲ以テ論スヘキ所業ヲ爲シタル者アリテ逮捕官吏之ヲ捜査セントスル間ニ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者アルモ直ニ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得スシテ其藏匿若クハ隠避セシメラレタル者ノ有罪無罪ノ決スル迄ハ未決拘留ニ付セサルヲ得サレハナリ再言スレハ之ヲ藏匿シ隠避セシメラリトテ其藏匿若クハ隠避セシメラレタル者ハ未ク確定裁判ヲ經テ有罪無罪ノ決定シタルニ非サレハ之ヲ犯罪人ヲ藏匿若クハ隠避セシメラリト謂フヲ得サレハナリ例ヘハ茲ニ人ヲ殺傷シタル者アリ

トセハ其所爲タル刑法上罪ヲ以テ論スヘキ者ナリト雖モ然レモ其殺傷ノ所爲タル或ハ正當防衛ニ出テタルカ或ハ本屬長官ノ命ニ依リタルカ或ハ狂亂ノ爲メナルカ將テ實ニ惡意アリタルカ審判ノ未確定裁判ヲ經タル後ニ非サレハ之ヲ知ルニ由ナシ故ニ之ヲ藏匿シ隠避セシメラリトテ直チニ犯罪人ヲ藏匿シ隠避セシメラリト謂フヲ得サルヲ以テ其藏匿若クハ隠避セシメラレタル者ノ有罪無罪ノ決スル迄ハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ス而シテ若シ其藏匿若クハ隠避セシメラレタル者ノ現ハレ來ラサル時ハ久シキ歲月間未決監ニ拘留セサルヘカラス是ニ由テ之ヲ觀レハ本條ノ罪ハ未必條件附ノ罪ト謂ハサルヘカラス何トナレハ他人ノ有罪無罪ニ依リテ其罪ノ有罪ヲ生スルヲ以テナリ

以上ハ本條ニ犯罪人トアルニ因リ生スル所ノ結果ナリ是レ實ニ不條

理ノ甚ダシキモノナリトス蓋シ罪ナルモノハ其所爲アルヤ直ニ成立
 スル者ニ決シテ他人ノ所爲ニヨリテ其有無ヲ成ス者ニ非ス然ルニ
 本條ノ罪ハ他人ノ有罪無罪ヲ決スル迄ハ其成不成ヲ知ルニ由ナキナ
 リ豈刑法學上斯クノ如キ道理アラシヤ故ニ曰ク犯罪人ノ文字不妥當
 ナリト且本條ノ罪ハ元來犯罪人ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ノ
 ミニ限ラサルナリ苟モ犯罪ノ嫌疑ヲ受ケテ政府ノ搜索スル所トナリ
 タル者ヲ藏匿若クハ隱避セシメタル者ハ悉ク之ヲ罰セサルヘカラス
 蓋シ嫌疑者未ダ必スシモ有罪ナラスト雖レ已ニ嫌疑アル以上
 ハ政府ハ之ヲ糺彈シテ以テ其罪ノ有ル所ヲ審判セサルヘカラス然ル
 ニ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメテ捜査ヲ妨ケ司法權ノ實施ヲ煩勞ナ
 ラシムル者ノ如キハ固ヨリ其藏匿隱避セシメラレタル者ノ有罪無罪
 ニ論ナク之ヲ罰スルノ必要アリ是レ實ニ法理上然ラサルヲ得サルナ

リ故ニ犯罪人ノ文字ハ徹底不當ノ甚ダシキモノト謂ハサルヘカラス
 故ニ犯罪人ノ文字ヲ改メテ刑事被告人若クハ刑事上官署ノ捜査スル
 所トナリタル者トセハ或ハ其當ヲ得ルニ至ラン佛文草案ニハ犯罪人
 ト云ハスノ刑事被告人トアリタリ義理明晰滯滞スル所ナシ然ルニ現
 刑法之ヲ犯罪人ト改メタルハ予其何ノ故ナルヲ知ラス佛國刑法ハ犯
 罪人トアリテ適用上大ニ不都合ヲ感シテ常ニ議論紛々之ヲ改正セン
 トスルノ際ナリ我立法者ハ其覆轍ヲ蹈テ恬然タルハ何ゾヤ蓋シ我立
 法者ハ修正ノ際偶然ニ犯罪人ノ文字ニ改メタルマテニテ草案ノ精神
 ヲ變更シタルニ非サルヘシ然レ已ニ犯罪人トアル以上ハ之ヲ刑事
 被告人ト解スル丁能ハサルヲ如何セン
 藏匿トハ如何ナル丁チ謂フヤ例ヘハ逃走者ニ其飢餓ヲ救ハンカ爲メ
 一食ヲ與ヘタルカ如キハ藏匿ト云フ丁チ得ス藏匿トハ官ニ知ラシメ

サルノ意ヲ以テ故サラニ藏匿シタル者ヲ謂フ故ニ裁判官ハ本條ヲ解釋スル狹隘ナラサル可カラズ

第一百五十二條

他人ノ罪ヲ免カレシメントテ圖リ其罪證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ罪ハ前條ノ罪ト相類似ス前條ノ罪ハ犯罪人ヲ藏匿シ隱避セシムルニ在リテ本條ノ罪ハ其罪證トナルヘキ物件ヲ隱蔽スルニ在リ其異ナル所ハ唯目的物ノ人ト物トニアルノミ而シテ犯人ノ意思目的ハ敢テ異ナルヲナシ故ニ寧ロ之ヲ同性質ノモノト謂フヲ得ヘシ
他人ノ罪ヲ免カレシメントテ圖リ云々故ニ自己ノ罪證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ無罪ナリ何トナレハ凡ソ自己ノ罪證ヲ隱蔽スルハ是レ人情ノ自然ニシテ法律ノ責ムヘカラサル所ノモノナルヲ以テ

ナリ然レトモ他人ノ罪證ヲ隱蔽スル者ノ如キハ斯クノ如キ事情ノ存スルヲナキヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラサルナリ

本條ノ罪ハ第三百九十九條賊物ニ關スル罪ト大ニ相關係ス但之ヲ混同セサルヲ要ス賊物ニ關スル罪ト本條ノ罪トハ其所爲ニ於テハ異なる所ナシ乃チ同一ノ所爲ニシテ或ハ賊物ニ關スル罪トナリ或ハ本條ノ罪トナル之ヲ如何ニ區別セハ則チ可ナラン曰ク犯者ノ意思如何ヲ見ルニ在リ若シ犯者ノ意思ニシテ罪證ヲ隱蔽シ罪跡ヲ緝晦セシムルニ在ル時ハ本條ノ罪トナリ若シ其意思ニシテ自己ニ利益ヲ得又ハ犯罪者ニ利益ヲ得セシメントスルノ目的ナル時ハ賊物ニ關スル罪トナルナリ

賊物ニ關スル罪ト本條ノ罪トヲ區別スルハ上ニ述ヘタル如ク犯人ノ意思如何ヲ見ルニ在リ然レトモ此レヨリシテ一ノ奇怪ナル結果ヲ見

ル即チ贓物ニ關スル罪ハ其刑重ク本條ノ罪ハ其刑輕シ一所爲ニシテ法律適用上ニ於テ或ハ重ク或ハ輕クナルハ豈奇怪ノ觀ニ非スヤ然レモ是レ法律ノ不完全ヨリ生スル所ノ已ムヘカラサル結果ニシテ亦如何トモスルヲ能ハサルナリ

本條ニ他人ノ罪云々トアレモ此罪ノ文字ハ不妥當ナリ何トナレハ凡ソ罪ナル者ハ一旦成立スルヤ決シテ消滅スヘキ者ニ非ラサルヲ以テ之ヲ免カレメントシテ免カレシムルヲ能ハサレハナリ蓋シ本條ノ曰ハント欲スル所ノモノハ其罪ヲ免カレシメントチ圖リタル者ト謂フニ非スシテ其刑若クハ捕縛ヲ免カレシメントチ圖リタル者ヲ謂フナリ

第一百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

前二條ノ罪ヲ犯スト雖モ若シ其犯人カ自己ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セサルナリ是レ恰モ自己ノ罪證ヲ隱蔽スルト同様ニシテ大ニ恕スヘキモノアルヲ以テナリ然レモ若シ贓物ニ關スル罪ナル時ハ親屬ノ爲メニ犯スト雖モ之ヲ罰セサルヘカラス何トナレハ贓物ニ關スル罪ハ自己若クハ犯人ノ不正ノ利得ヲ目的トスル者ナレハ背德ノ甚クシキ者ニシテ毫モ右ノ如キ寬恕スヘキ事情ノ存スルヲアラサルヲ以テナリ

其罪ヲ論セストハ總則ハ所謂其罪ヲ論セスト同一ニシテ之ヲ犯スモ無罪即チ罪トシ論セスト謂フノ意ナルヤ將タ罪アレモ其刑ヲ科セスト謂フノ意ナルヤ文面上ヨリスルキハ全ク無罪ト謂フノ意ニ見ユルナリ總則ノ其罪ヲ論セストハ刑事上ノ責任ナキ場合ニシテ刑事上ノ責任ナシトハ罪ヲ構成スルコトナクシテ全ク無罪ヲ謂フ者ナリ本條

ノ其罪ヲ論セストハ其語句コソ同一ナレ其意味ニ於テハ大ニ之ニ反
 即チ無罪ト謂フニ非スシテ罪アレト其刑ヲ科セスト謂フノ意ニテ
 所謂宥恕全免ナル者ナリ故ニ其罪ヲ論セストノ語ニハ二様ノ意味ア
 リテ一ハ無罪ニハ宥恕全免是ナリ決シテ之ヲ混同スヘカラス又宥恕
 ニモ二種アリテ一ハ宥恕減輕ニハ宥恕全免是ナリ宥恕減輕トハ暴行
 チ受クルニ因リ直ニ怒ヲ發シテ暴行人ヲ殺傷シタル場合ノ如キ本夫
 ノ姦所ニ於テ姦夫姦婦ヲ殺傷シタル場合ノ如キ是ナリ宥恕全免トハ
 親屬相盜ノ場合ノ如キ本條ノ場合ノ如キ是ナリ
 何故ニ本條ノ其罪ヲ論セストハ無罪ヲ謂フニ非スシテ宥恕全免ヲ謂
 フ者ナリト爲スヤ總則ノ其罪ヲ論セスト異ナル意味ニ解釋スルハ其
 憑據何レニ在ルヤ是レ本條ノ罪ノ性質ヨリ斯クノ如ク解釋セサルヲ
 得サルナリ蓋シ總則ノ其罪ヲ論セサルハ刑事上ノ責任ナキヲ以テナ

リ刑事上ノ責任ナキ者ハ罪ヲ構成スルコトナキヲ以テ無罪ナリトス今
 本條ノ親屬ノ罪證ヲ隱蔽スル者ノ如キハ誰カ之ヲ刑事上責任ナキ者
 ト謂ハンヤ法律ハ惟人情ヲ酌ミテ其罪ヲ宥恕シテ之レカ刑ヲ科セサ
 ルニ過キス是レ本條ノ其罪ヲ論セストハ無罪ト謂フノ意ニ非スシ罪
 アレト其刑ヲ科セスト謂フノ意ナリト爲ス所以ナリ佛文草按ニハ現
 ニ其刑ヲ免ストアリタリ亦以テ立法者ノ意思罪アレト其刑ヲ科セス
 ト云フニ在ルコト知ルヘキノミ故ニ本條ノ其罪ヲ論セストハ法理上ヨ
 リスルモ立法者ノ意思ニ問フモ宥恕全免即チ罪アレト其刑ヲ科セス
 ト謂フノ意ナルコト明カナリ
 人或ハ曰ハン今斯クノ如ク之ヲ區別スルモ宥恕全免ト無罪トハ其結
 果ニ於テ差異アルコトナシ即チ實際上之ヲ區別スルノ必要ナキニ非ス
 ヤト然レト假令實際上區別スルノ必要ナキモ學問上之ヲ研究スルノ

必要アリ況ンヤ右ノ區別タル實際上重大ナル關係ヲ有スルモノアルニ於テチャ豈之ヲ區別スルノ必要ナシト曰ハンヤ今本條ノ所謂其罪ヲ論セストハ無罪即チ罪トシ論セサルノ意ナリトセハ若シ前二條ノ罪ヲ犯サンカ爲メニ人ヲ故殺シタル者ハ普通ノ故殺罪ニ問フテ無期徒刑ヲ以テ罰スヘキ者ニシテ之ヲ罪アレトモ其刑ヲ科セサルノ意ナリトセハ右ノ如キ者ハ重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ人ヲ故殺シタル者ナルヲ以テ第二百九十六條ヲ適用シテ死刑ニ處セサル可カラス夫レ斯クノ如ク其解釋如何ハ死刑無期徒刑ノ岐ル、所ナルヲ以テ之ヲ區別スルノ最モ必要ナルト見ルヘキナリ

茲ニ一ノ附言スヘキモノアリ人或ハ言ハン其罪ヲ論セストハ草案ハ如何ナルモ又法理ハ如何ナルモ元來罪トシ論セサルノ意ナルヲ枉ケテ之ヲ罪アレトモ其刑ヲ科セスト解釋スルハ是レ法文ヲ罔スルモノニ

非スヤト此駁撃タル甚々薄弱ニシテ反駁ノ價值ナキモノナリ論者ノ之ヲ無罪ト解釋スルハ何ニ基由スルカ其罪ヲ論セストノ語ハ我刑法上處々ニ散見セリ而シテ其意味悉ク同一ナリト謂フヘカラス或ハ無罪ヲ指ス場合アリ或ハ宥恕全免ヲ指ス場合アリ之ヲ決スルニハ一ニ其罪ノ性質ニ因リ法理ニ從ハサルヘカラス故ニ其場所ニ從テ一々法律ノ精神ヲ探ルトテ要ス予ノ本條ノ場合ヲ以テ宥恕全免ト解シタルハ法律ノ精神上ヨリシテ然ルナリ

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪

前節ハ本刑ノ執行ヲ遁ル、ノ罪ニシテ本節ハ附加刑ノ執行ヲ遁ル、ノ罪ナリ而シテ本節ハ之ヲ罰スルノ範圍ヲ狭クシ禁治産及ヒ沒收ノ執行ヲ遁レタル者ノ如キハ之ヲ罰セスシテ之ヲ罰スルモノハ惟剝奪公權停止公權及ヒ監視ノ執行ヲ遁レタル者ノミナリ

茲ニ一ノ注意ヲ乞フヘキ者アリ予曾テ期滿免除ヲ講スルニ當リ剝奪
 公權停止公權及ヒ監視ハ種々ノ權利ヲ剝奪スルモノナルヲ以テ有形
 上ノ執行ナシ有形上ノ執行ナキヲ以テ期滿免除ヲ得ルヲナシト云ヒ
 タリ而ルニ今本節ニ執行ヲ遁ル、罪トアルヲ觀レハ大ニ予ノ前說ト
 矛盾セル所アルカ如シ是レ敢テ矛盾セルニ非サルナリ夫レ此等權利
 ニ及フ刑ハ有形上ノ執行ナキヲ以テ之ヲ有形的ニ遁ル、丁能ハス隨
 テ期滿免除ノ原由トナルヘキモノナシ然リ而シテ其權利ヲ行ヒ其規
 則ヲ破ルトハ之ヲ爲ストヲ得ヘシ其權利ヲ行ヒ其規則ヲ破リタリト
 テ之ヲ以テ眞個ニ刑ノ執行ヲ遁ル、モノト速了スヘカラス此等ノ刑
 ハ假令其權利ヲ行ヒ其規則ヲ破ルモ無形的ノ執行ハ同シク無形裡ニ
 存スルヲ以テ決シテ其執行ヲ遁ル、丁能ハサル者ニシテ期滿免除ヲ
 得サルノ理由實ニ此ニ存ス然レモ已ニ其權利ヲ行ヒ其規則ヲ破ルニ

於テハ之ヲ罰スルノ必要アルヲ以テ一罪ヲ構成スヘキモノトス是レ
 本節ノ執行ヲ遁ル、罪ニシテ所謂執行ヲ遁ル、罪トハ其權利ヲ行ヒ
 其規則ヲ破リタルノ罪ト謂フノ意味ニシテ予カ所謂執行ヲ遁ル、モ
 ノニ非ス予カ說ト基因ヲ同フスル者ニ非ス故ニ諸君ハ本節ノ執行ヲ
 遁ル、丁(其權利ヲ行ヒ其規則ヲ破ル)ト期滿免除ノ原因ト爲ラサル
 丁トハ全ク別個ノ丁ナルヲ以テ之ヲ混同セサルニ於テハ予ノ說ハ敢
 テ本節ト矛盾セルニ非サル丁ヲ知ラルヘキノミ

第一百五十四條

公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル

者私ニ其權ヲ行ヒタハ者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處
 シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ニ注意ヲ要スヘキ者ハ「私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ」云々ノ語ナリ此
 私ニノ文字タル其意義甚々廣キモノニシテ其區域ヲ知ル丁能ハス然

レ此本條ノ私ニトハ之ヲ廣キ意味ニ解釋セヌシテ狹キ意味ニ解釋スルヲ可ト爲ス即チ詐僞ノ意ヲ含ム者ト解釋スヘシ自ラ進テ窃ニ行フ者ト解釋ス可シ故ニ例ヘハ茲ニ剝奪公權者アリ或ハ官廳ノ召ニ應シテ仕官シ或ハ勳章ノ下賜ヲ受ケ或ハ裁判所ノ命ニ因リ宣誓シテ證人トナリ或ハ市町村長ノ通知ニ因リ其命ニ從ヒ議員ノ投票ヲ爲シタル者ノ如キハ本條ヲ一見スルキハ皆之ヲ罰ス可キカ如シト雖モ然レモ是等ハ皆之ヲ罰スルヲ得ヌ蓋シ是等ノ者タル敢テ自ラ公權ヲ剝奪セラレタルヲ隱蔽シ以テ進テ需メタルニ非ヌシテ惟官廳ノ命ニ因リ市町村長ノ通知ニ因リテ之ニ從ヒタルノミ謂ハ、官廳又ハ市町村長ニ過失アルモノナリ然ルニ之ニ向テ汝仕官ヲ命シタルニ當リ、證人トナルヲ命シタルニ當リ、議員投票ヲ通知シタルニ當リ何ソ自ラ剝奪公權者ナルヲ自白セサルヤト曰ハ、是レ自己ノ過失ヲ人ニ歸セ

シムルモノナリ其之ヲ罰スルハ自己ノ過失ヲ掩蔽スル者ト謂ハサルヘカラス何ソ其レ不當ノ甚タシキヤ故ニ本條ヲ以テ之ヲ罰スルハ所働的ノ所爲ニ非ヌシテ能働的ノ所爲即チ自ラ剝奪公權者ナルヲ掩蔽シテ以テ進テ需メタル場合、其間ニ多少詐僞ノ行ハレタル所爲ナルヲ要スルナリ例ヘハ裁判所ニ於テ汝嘗テ罪ヲ犯シタルヲキヤ否ヲ問ハレタル場合ニ於テ無シト答ヘ以テ宣誓シテ證人トナリタルカ如キ或ハ履歷書ニ罪ヲ犯シタルヲ無キ旨ヲ記シ以テ官吏トナリタル場合ノ如キ是ナリ佛文章按ニ據ルキハ此意明了ナリ

尙ホ一步ヲ進メテ理論上ヨリ觀察ヲ下スルハ裁判所證人タルヲ命スルニ當リ剝奪公權者ニ非サルヤ否ヤヲ問ハレタル時僞テ剝奪公權者ニ非サル旨ヲ答ヘ以テ證人トナリタル場合ト雖モ尙ホ之ヲ罰スルハ不當ト謂ハサルヘカラス何トナレハ誰カ多衆ノ傍聽人ノ面前ニ於

テ刑餘ノ人ナルヲ自白シ以テ自ラ其耻辱ヲ示ス者アランヤ之ヲ責ムルハ是レ難キヲ以テ人ニ責ムル者ナレハナリ

第百五十五條

監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

本條ノ規定ハ監視規則ノ制裁タル可キ者ナリ故ニ本條ヲ了解センニハ監視規則ヲ想像セサルヘカラス而シテ本條ハ大ニ監視刑ノ良不良ニ關ス夫レ監視刑ハ素ト必要ノ者ナリ然レ其執行方法即チ監視規則ノ善不善ニ依テ或ハ却テ恐ルヘク思ムヘキ結果ヲ生セサルニ非ス何トナレハ監視規則ニシテ嚴密ニ過キンカ受刑者ハ其自由ノ束縛ニヨリ業務ニ專ラナルヲ得ス已ニ本刑ヲ脱シテ尙ホ本刑ニ在ルカ如ク且ツ屢々警察署ニ到リテ詳ニ之レカ調査ヲ受ケシムルカ如キニ於テハ世人ハ其罪人タルヲ嫌忌シテ之ヲ僱使スル者タモ無キニ至テ

職業ノ道ヲ失ヒ饑寒窮苦ノ余リ遂ニ規則ヲ破リテ本條ノ罪人トナルカ如キニ至ル可ケレハナリ是レ監視ハ犯罪ヲ豫防セントシテ却テ犯罪ノ門戸タルノ結果ヲ生スルニ至ルモノナリ故ニ監視規則ハ行政法ノ制定スル所ニシテ其之ヲ制定スルニ當テハ深ク注意ヲ加ヘテ簡易ニ失スルヲナク嚴酷ニ過クルヲナク其宜キヲ得サルヘカラサル者ナリトス

第百五十六條

前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

本條ハ第百四十三條ト同文法ニシテ再犯ヲ以テ論スルトハ再犯トセサルニ非ス再犯ニハ相違ナキモ再犯ノ理由ヲ以テ刑ヲ加重セスト謂フノ義ナリ而シテ再犯ノ理由ヲ以テ加重セサルノ所以モ亦第百四十三條ニ於テ説明シタル所ト同一ナレハ今復タ此ニ贅セス